

A2 (環北太平洋班)

文部科学省特定領域研究

**環太平洋の「消滅に瀕した言語」  
にかんする緊急調査研究**

長崎 郁

遠藤 史 編

**コリマ・ユカギール語  
例文付き語彙集**



**コリマ・ユカギール語例文付き語彙集**

長崎 郁・遠藤 史 編

**Kolyma Yukaghir Vocabulary with Illustrative Sentences**

Edited by  
Iku Nagasaki & Fubito Endo

The Project “Endangered Languages of the Pacific Rim”  
Suita, Osaka, JAPAN



## 序文

コリマ・ユカギール語 (Kolyma Yukaghir) の語彙集・辞書を作成する試みは、Schiefner(1871)の先駆的な業績を別にすれば、Jochelson(1926)の第 17 章 ‘Vocabulary’ にはじまる。ヨヘリソン自身の現地調査に基づくユカギール民族誌の一部をなすこの語彙集は、ツンドラ・ユカギール語のものを含めて 1,200 を超える数の語彙項目を収録し、英語とユカギール語双方による見出しを備えるなど、今日でもユカギール語研究の基本的な資料である。それ以来、今日に至るまで、その数は多くないとはいえ、コリマ・ユカギール語の語彙集・辞書はいくつか世に現れてきた。特徴から見て、それらは三つの種類に分けることができる：第一に、現地調査で採集した語彙を組織的に並べ、対訳を付けたものである。たとえば上記の Jochelson(1926)はアルファベット順の配列を採用した語彙集であり、一方 Endo(1997b, 2001)は語彙調査票の項目に基づいてある程度意味分野に基づく配列を採用し、多少の文法的情報を付加した語彙集である。第二に、現地におけるユカギール語教育に役立つことを目指した、学習者用の辞書である。以下で述べるユカギール語の危機的状況に対応して、近年はこの種の出版が多い。たとえば Kurilova(2001)はロシア語の見出し(アルファベット順および意味分野別)からコリマ・ユカギール語の単語を調べることができる小辞書であり、クレイノヴィチの文法概要(Krejnovich 1979)がリプリントされて付けられている。Nikolaeva and Shalugin(2002)はコリマ・ユカギール語からロシア語の単語を、またロシア語からコリマ・ユカギール語の単語を調べることができる小辞書であり、語義の他に多少の形態論的情報も得ることができる。

本書で编者たちが目指したのは、これらとは異なる特徴を持った、第三の種類語彙集である。すなわち、より詳しい解説や例文を含み、将来中規模あるいは大規模なコリマ・ユカギール語辞典を編集するための基盤となるような、またコリマ・ユカギール語資料の言語学的研究にも役立つような語彙集である。コリマ・ユカギール語に関してこの方向で編纂された著作は Angere(1957)しかない。このアンゲレの辞書は、現在までに出版されたうちでもっとも大規模なユカギール語の辞書であり、ユカギール語研究史の中での意義は小さくない。しかしその一方で、この辞書は資料のすべてを既存の文献(主としてヨヘリソンの研究)に頼り、現地調査による確認を欠いているために、いきおい資料中に出現した語をすべて見出しとして羅列する方向に向かわざるをえず、語彙項目自体の分析がまだ十分でないうらみがある。またこの辞書は、アンゲレ自身の歴史言語学的関心に基づいて、ツンドラ、コリマの両ユカギール語はもちろん、死語となった同系のオモク語やチュワン語の語彙さえも含んでいるので、辞書としてみる限り、やや雑多な内容になってしまっている。

アンゲレの辞書の志向したものを基本的には評価しつつ、しかしそれを今日の研究の

視点を取り入れて改良するために、編者たちは、資料を精選することにより、コリマ・ユカギール語の語彙集として一定の水準を持ったものを作成しようと試みた。この語彙集は量的に見ればそれほど多くの語彙を収録しているとは言えないけれども、本格的な辞書作成のための基本的な枠組みは本書の中に盛り込まれており、さらなる資料の検討によってデータを拡充し、さらに現地で理解される言語による部分を加えていけば、将来はより大規模で実用的なコリマ・ユカギール語の辞書作成が可能になると思われる。その意味で、本語彙集は将来のコリマ・ユカギール語辞書の「パイロット・バージョン」と言ってよい。

本書を作るために用いた主要な資料は二種類である。一つは、コリマ・ユカギール語の二巻本の民話テキスト集である Nikolaeva(1989)であり、もう一つは編者自身による現地調査資料である。前者は、現在話されるコリマ・ユカギール語の、最も充実したテキスト集であるという点で、研究上大きな意義を持つ。ただし民話テキストというジャンルの制約上、日常生活に関する語彙や表現は見いだしがたいこともあるので、編者自身による現地調査資料を加えてそれらを補った。また以上二種の言語資料は基本的に同じ方言に属するので、相互に資料をチェックするためにも有用であった。なお Nikolaeva(1989)の原文はキリル文字(ロシア文字を基にコリマ・ユカギール語に適するように若干改変)で書かれているため、本書ではそれを後掲の「ロシア文字転写一覧」に示した方式でラテン文字(音素表記)に転写した。今回の語彙集作成に当たってはコンピュータ上にこれらの資料のコーパスを構築し、資料中に現れた全部の語彙とその文脈を検討したが、それらの中からある程度確信を持って取り扱うことのできる語彙だけを選んだのは上に述べた通りである。

編者たちがこの語彙集によってより本格的なコリマ・ユカギール語辞書の「パイロット・バージョン」を作ろうと試みた背景には、近年特に進みつつあるコリマ・ユカギール語の危機的状況がある。これはもちろん、ユカギール語が直面する危機的状況の一端である。ユカギール語は北東シベリアにおいて非常に古くから話されてきた言語であり、17世紀以前にはその分布域はかなり広がったと推定されるが(Jochelson 1926)、帝政ロシア東方進出以後のユカギール人の急激な衰退に伴って、言語の勢力も衰えた。また、旧ソ連時代の統計によれば、20世紀後半には、ユカギール人全体に占めるユカギール語話者の割合も1959年の統計の52.5%(ユカギール人442人、ユカギール語話者数232人)から減少を続け、1979年の統計では37.5%(ユカギール人800人、ユカギール語話者数300人)、さらに1989年の統計では32.8%(ユカギール人1,100人、ユカギール語話者数360人)となった。これらの統計はユカギール語が全体としてなお衰退の傾向にあることをはっきりと示している。これに加えて、近年におけるユカギール語、中でも特にコリマ・ユカギール語の直面する危機的状況を明らかにすることになったのが、現地調査に基づくユカギール語の社会言語学的研究である Vakhtin(1992)である。

バフチンの研究は現地調査当時(1987年夏)における、ユカギール人の特に多く住む3つの居住地(アンドリュースキノ、コリムスコエ、ネレムノエ)におけるユカギール語の言語状況を、豊富なデータをあげて明らかにした。このうちコリマ・ユカギール語が話されているネレムノエでの言語状況を概観してみよう。当時子供を含めてこの村の人口は245人であり、そのうちユカギール人が133人(54.3%)を占め、ヤクート人55人(22.4%)、ロシア人46人(18.8%)などが続く(Vakhtin 1992:50-51)。言語についてバフチンはこのうちの89人に当たっている:コリマ・ユカギール語を第1言語とするのは9人(10.1%)で、その平均年齢は64歳、ヤクート語を第1言語とするのはやはり9人(10.1%)で、平均年齢59歳である。これに対しロシア語を第1言語とするのは71人(79.8%)で、平均年齢は28歳である(53-54)。またバフチンは、ユカギール人がどれくらい流暢にコリマ・ユカギール語を使うかも調査し、コリマ・ユカギール語の言語能力(degree of language competence)がほぼ50歳を境にして顕著に減少することを説得的に示している(63-64)。これ以下の世代ではコミュニケーションの主役はもっぱらロシア語となり、特に40歳以下の世代はすでにロシア語の流暢な話者である。以上から、コリマ・ユカギール語が大言語であるロシア語の影響に直接さらされていること、そしてその影響が若年層で圧倒的であることがわかる。バフチンの調査以来すでに10年以上が経過した今日、新聞・テレビなどのメディアを含めたグローバリゼーションの波にさえさらされるようになった現地でコリマ・ユカギール語が直面している危機を想像するのはさほど困難ではないだろう。

ネレムノエではこのような危機的状況に対応して、コリマ・ユカギール語の授業が1985/86年度より小学校で開始され(Vakhtin 1992:53)、現在では1~8学年まで全員必修となっている。教材としては1993年に1年生用の教科書が完成し(Spiridonov and Nikolaeva 1993)、最近学習者用辞書が加わった(Nikolaeva and Shalugin 2002)。しかし現在利用できる教材は実質上これだけであり、授業をさらに発展させるためには、コリマ・ユカギール語の理解力・運用力を高めるための教材の充実が必要であることは明らかである。そもそも1年生用の教科書と学習者用辞書だけでは、ユカギール文化の深い理解につながる民話テキストに親しむのは難しい。生徒たちがよりレベルの高い学習に進むことを可能にするためには、編者たちがもくろんでいるような、大規模なコリマ・ユカギール語辞書が将来求められることになるだろう。そのような辞書はまた大人たちにも、ユカギール人が育んできた豊かな言語文化を再認識させるはたらきを持つと思われる。そのような辞書を作成するためには、さらに資料を収集したり分析したりする努力が必要なのはもちろん、実用に耐えるために、辞書の中に文法的な情報を効果的に盛り込む方法も考えてみなくてはならない。本書巻末に収録した「接尾辞一覧」はそのような試みの一つであるが、おそらくは本文とのより有機的な連携が将来望まれる。また、この語彙集では名詞の複数形は形

態論的に予測可能である(cf. 長崎 1997)としてあえて記載していないけれども、実用的には Nikolaeva and Shalugin (2002)のように項目中に記載することも考えられてよいと思われる。このような改良すべき諸点は将来の課題としたい。

この語彙集を作成する過程で多くの人たちのお世話になった。ここにその方々の名前を記し、编者たちに力を貸してくださったことに対して心からの感謝の気持ちを申し上げたいと思う。アガーフィア・グレゴリーエヴナ・シャードリナさん(マガダン州スレドニエ・カンスク地区コリムスコエ村), ダーリア・ペトローヴナ・ボリーソワさん(同地区, セイムチャン村), 故ワシーリー・ガヴリーロヴィチ・シャルーギンさん(サハ共和国(ヤクーチア)ヴェルフニエ・コリムスク地区ネレムノエ村), アクリナ・エゴロヴナ・シャードリナさん(同地区, ネレムノエ村), アクリナ・ワシーリエヴナ・スリエプツォワさん(同地区, ネレムノエ村), そして, 编者たちの調査をさまざまな点で助けてくださった, 現地の村の皆様。ありがとうございました。

2004年3月

長崎 郁

遠藤 史



## Introduction

Kolyma Yukaghir vocabularies and dictionaries have been compiled since the publication of Waldemar Jochelson's vocabulary (Jochelson 1926, Chapter 17), apart from Schifner's pioneering work (Schiefner 1871) in this field. Jochelson's vocabulary, a chapter in his extensive ethnography of the Yukaghirs is based on his own materials collected during expeditions, contains more than 1,200 words of both Kolyma Yukaghir and Tundra Yukaghir together with English and Yukaghir entries, making it one of the most basic and necessary materials for studying Yukaghir. Since its publication, several other vocabularies and dictionaries of Kolyma Yukaghir have appeared. Seen from their characteristics, these works can be conveniently divided into three groups: The first consists of vocabularies which list the items collected in fieldwork together with their semantic equivalents in another language. The above-mentioned Jochelson (1926) is a vocabulary of this kind which arranges the items alphabetically. Another one of this kind, Endo (1997b, 2001) applies semantic arrangements to the items. The second group consists of school dictionaries with an educational purpose for the use of supplementary study materials in Yukaghir classes at local schools. Works of this group are published the most due to the endangerment the Yukaghir languages have faced in recent decades as mentioned below. Kurilova (2001) is a small school dictionary used for looking up Kolyma Yukaghir words; Russian entries are arranged alphabetically as well as semantically. A grammatical sketch by Krejnovich (1979) is reprinted as an appendix to this dictionary. Nikolaeva and Shalugin(2002) is another good example of this kind, which enables pupils to look up Kolyma Yukaghir words using Russian entries and Russian words using Kolyma Yukaghir entries. It also provides grammatical information, where necessary, for the entry.

The editors of this vocabulary intended to compile a vocabulary which can be included in the third group, that is, a vocabulary with illustrative sentences and, when necessary, detailed explanations which can serve as the basis of a comprehensive dictionary of Kolyma Yukaghir in the future. The only publication which was made with the same intention is, as far as we know, Angere (1957). The most comprehensive dictionary of the Yukaghir languages to date, this work has a great importance for the study of the language. Unfortunately, some of the materials

included in the Angere dictionary were taken from previously published materials such as Jochelson (1926) without being double-checked by Angere in his own field work, the final list being questionable. Another characteristic of this dictionary is the broad mixture of items. Angere, probably prompted by his own interest in the historical study of Yukaghir, included data from all the Yukaghir languages in this single volume, i.e. Tundra and Kolyma Yukaghir as well as their extinct cognates Chuwan and Omok.

In this new vocabulary, the carefully selected vocabulary items were double-checked producing a quality Kolyma Yukaghir vocabulary list. Although this vocabulary does not contain a large number of items, the basic framework essential for a comprehensive dictionary is included in this volume. It will be possible to compile a comprehensive dictionary of Kolyma Yukaghir using the framework by adding additional data from other sources with careful analysis. It is no exaggeration to say that this vocabulary is the “pilot version” of the comprehensive Kolyma Yukaghir dictionary to be compiled in the future.

The materials used for the compilation of this vocabulary were twofold. One is Nikolaeva(1989), the two-volume collection of Kolyma Yukaghir folktales with Russian translations, and the other is the material collected during the editors’ field trips which were conducted separately in the villages of Sejmchan, Kolymskoe and Nelemnoe between 1995 and 2003; it is worth noting here that these two groups of materials come from essentially the same dialect. The former is an important collection for those who wish to study Kolyma Yukaghir as spoken today, because it provides the most abundant and reliable linguistic data of the language. The data from both sources was compared to ensure that the analysis of each item was correct, supplementing the former with the latter because the vocabulary used in daily life occasionally cannot be found in folktales. The Cyrillic alphabet originally employed for the texts in Nikolaeva(1989) was transcribed into the Latin alphabet (or the phonemic representation) according to the system shown on pp.xv. A linguistic corpora of the data for this vocabulary was constructed which examined all the words found in the data in their contexts. Of the words selected vocabulary items’ existences and usages that could be confirmed were included. Some grammatical information of the vocabulary is also noted. For this reason the list of suffixes, derivational and inflectional, together with some inflectional paradigms is included in the appendix

(pp.101-109). A more sophisticated way to connect the information in the list with the entry in the vocabulary should be better sought in the future. The plural form of the noun is not listed for each entry because it is considered that the form is morphologically predictable (Nagasaki 1997). It may be better to include such information for educational purposes similar to Nikolaeva and Shalugin (2002). Needless to say, these points need further attention.

The main reason for the publication of the “pilot version” of the comprehensive Kolyma Yukaghir dictionary is because of the critical condition that the Yukaghir languages, in particular Kolyma Yukaghir, have faced in recent decades. Yukaghir has been spoken in northeast Siberia for centuries. According to Jochelson (1926), the area where Yukaghir was spoken was fairly wide before the 17<sup>th</sup> century. The area, however, shrank drastically after this, soon after the eastward expansion of the Russian empire. This was probably because of economic difficulties, famines and the spread of infectious diseases. The Soviet-Union national censuses revealed that in the 20<sup>th</sup> century, there was a constant decline of the ratio of Yukaghir speaking people. In the 1959 census, 52.5% of the Yukaghir people (232 people out of 442) spoke Yukaghir, while in 1979 only 37.5% of the people (300 people out of 800) spoke Yukaghir. Moreover, the 1989 census showed that 32.8% of the people (360 people out of 1,100) spoke Yukaghir.

Recently, the critical situation for the Yukaghir languages, especially Kolyma Yukaghir, was examined in detail when Vakhtin (1992) published a socio-linguistic study of Yukaghir. Vakhtin based his research on abundant data which he collected in 1987 in three settlements (Andryushkino, Kolymskoe and Nelemnoe) where many Yukaghirs inhabit. Consider the linguistic situation of Nelemnoe where Kolyma Yukaghir is spoken. According to Vakhtin (1992), the population of Nelemnoe is 245 including children, of which Yukaghirs account for 133 (54.3%), followed by 55 Yakuts (22.4%) and 46 Russians (18.8%) (Vakhtin 1992: 50-51). Vakhtin asked 89 people about the languages they spoke: The number of people who spoke Yukaghir as their first language was nine (or 10.1% of the people concerned) with an average age of 64. The number of people speaking Yakut as their first language was nine (or 10.1%) with an average age of 59, while the people speaking Russian as their first language was 71 (or 79.8%) with an average age of 28 (53-54). Vakhtin also investigated how fluently people spoke the languages using his own concept of DLC

or degree of language competence: He showed that the DLC rate for Yukaghir people speaking Kolyma Yukaghir decreased drastically for people under the age of 50 (63-64). People younger than 40, most of whom are fluent Russian speakers communicate mainly in this language. Now more than 10 years after Vakhtin's publication, the situation of endangerment which the Kolyma Yukaghir language is in can be imagined with little difficulty. From the time the Soviet Union ended, small villages such as Nelemnoe feel the influence of globalization including various media sources such as newspapers, magazines, videos, CDs and TV programs.

Faced with the critical situation of Kolyma Yukaghir, a class which teaches the language was launched in 1985/86, effectively making all school children from the year 1 to 8 study it (Vakhtin 1992:53). The Kolyma Yukaghir primer (Spiridonov and Nikolaeva 1993) was published later, and recently the school dictionary was published (Nikolaeva and Shalugin 2002). The published studying materials are, however, limited to these two books. Clearly, many more studying materials must be made available to children to promote and develop their language proficiency. It is difficult for the children to have access to Yukaghir folktales which can teach a deeper understanding of their own culture by using only these materials. The need for a publication of a comprehensive dictionary is urgent. Such a dictionary will enable the children to develop language skills to use and at the same time, give the adults self-confidence in their own cultural heritages.

We deeply appreciate the following people for their help and encouragement in the course of making this vocabulary: Agaf'ja Grigor'evna Shadrina (Magadan Region, Srednekansk district, Kolymskoe), Dar'ja Petrovna Borisova (Magadan Region, Srednekansk district, Sejmchan), the late Vasilij Gavrilovich Shalugin (Saxa Republic (Yakutia), Verkhnekolymsk district, Nelemnoe), Akulina Vasil'evna Sleptsova (Nelemnoe), Akulina Egorovna Shadrina (Nelemnoe), and last but not least, the people of Kolymskoe, Sejmchan and Nelemnoe who have helped with our research. For their friendliness and kind hospitality we are sincerely grateful.

March, 2004

Editors:  
Iku Nagasaki  
Fubito Endo

## 目次

凡例	xiii
ロシア語文字転写一覧	xv
コリマ・ユカギール語例文付き語彙集	1
接尾辞一覧	97
参考文献	108



## 凡例

各項目の構成は、見出し、品詞、語義・補足的情報、例文、派生語・イディオム、品詞、語義・補足的情報、例文となっている。

項目は見出しのアルファベット順 (a, b, č, d', d, e, g, i, j, k, l', l, m, n', n, ŋ, o, ö, p, r, s', s, š, t, u, x, ʒ) に並べられている。

● 見出し：Nikolaeva (1989) 収録のテキストで用いられている語彙のうち、資料を照合することによって語義がある程度明らかになったものを見出しとして立てた。それらに加えて、編者が現地調査において得た資料から、特に重要と思われる語彙も見出しに立てて補い、右上にアスタリスク (\*) を付した。名詞は主格の形を、動詞は語幹の形を見出しとした。なお、動詞の語幹の形は、ハイフンをその後につけて示してある。

括弧に入れて併記した形は、テキスト中で表記の異なるもの、接辞の付加に伴う音素交替による異形態である。表記の異なるものの代表的な例として、1) 母音の長短の違い：ill'aj-, (ill'aa-j-), 2) 短母音 (o と a, a と e, i と u) の違い：čovojo, (čovoje) ; jarxa, (jarxe) ; ižilbe, (ižulbe), 3) č, s', s の違い：aačii-, (aas'ii-, aasii-), 4) l' と l の違い：šöjl', (šöjl), 5) ʒ と r の違い：jaŋʒe, (jaŋre) が挙げられる。音素交替による異形態の例としては, ašiduu-, (ašidi-) ; pad-, (pan-, pat-) ; ajled'-, (ajlen-) ; leg-, (lej-, lek-, lem-, leu-) がある。また、括弧中の語は見出しとしても立て、矢印 (⇒) で参照項目を示した。

同音異義語がある場合には、番号を右上に示した。ある語形が異なった品詞に分類される場合も同音異義語と見なした：amde<sup>1</sup> 【名詞】死；amde<sup>2</sup> 【自動詞】死ぬ。

● 品詞：以下のような品詞区分を設けた。

【名詞】	【疑問詞】
【自動詞】	【数詞】
【他動詞】	【後置詞】
【固有名詞】	【前倚辞】
【代名詞】	【後倚辞】
【副詞】	【接続詞】
【指示詞】	【間投詞】

前倚辞、後倚辞に分類したものについては、これらを接辞と見なす記述もあるが、テキスト中で離して表記されていること、後倚辞については、屈折接尾辞の後ろに置かれた例があることから、接辞よりも独立性の高い要素と考えられる。

● 語義・補足的情報：語義はテキスト中の用例や、その他の資料での記述を照らし合わせて判断したが、現時点では暫定的なものもある。より正確な語義の把握は、今後の研究における課題としたい。

多義は 1), 2) のように番号を付けた。

《完了》は、動詞語幹末に完了相の接尾辞 -j が伴われていることを示す。《反復》は、反復相の接尾辞 -č (-s'), -čii (-sii), -du, -uj (-uu), -d'ii~nd'ii, -zii, -zu が伴われていることを示す。

(R) はロシア語起源の、(Y) はヤクート語起源の語彙であることを示す。ただし語源をつけたのは、現時点で明らかなもののみで、全ての語彙について確認したわけではない。

動植物名についてはロシア語名称も挙げるようにした。また、ほかに特筆すべき文法的情報がある場合には、それを括弧に入れて補った。

● 例文：語義・補足的情報の後に、見出し語の使いかたがよく分かる例をできるだけ挙げるようにした。見出し語にあたる言葉は、例文ではイタリック体で示してある。例文の大半はテキストから選んだが、適切なものがテキスト中になかったため、編者が現地調査で得た資料から挙げたものもある。

例文の末尾に付けられた記号は、テキストからの例文の場合 [1-002-03] のようになっている。これらのハイフンで区切られた 1 番めの数字は巻番号、2 番めの 3 桁の数字はページ番号、最後の 2 桁の数字は行番号を示している。また、[1-002-03~04] となっていれば、第 1 巻、2 ページ、3 行目から 4 行目にまたがった例、[1-002-31~004-01] となっていれば、1 巻、2 ページ 31 行目から 4 ページ 1 行目にまたがった例ということになる。さらに、編者の資料からの例では、[AG020517], [DP030813], [AGDP030809], [AG970727T1] といった記号が付けられているが、これらの最初の AG, DP は話者名を示し、その後続く 6 桁の数字は 2 桁ずつ西暦・月・日を示す。最後の T1 の T は物語であることを、その後ろの数字はその日に話してくれた何番めの物語であることを示す。

● 派生語・イディオム：▷, ◇ で示された要素は、それぞれ見出し語に関連した派生語とイディオムである。派生語については見出しとしても立て、矢印 (⇒) で参照項目を示した。



## ロシア文字転写一覧

а = a  
б = b  
в = v  
г = g  
ђ = ъ  
дь = d'  
д = d  
е = e  
ж = ж  
з = z  
и = i  
й = j

к = k  
ль = l'  
л = l  
м = m  
нь = n'  
н = n  
ң = њ  
о = o  
ө = ö  
п = p  
р = r  
съ = s'

с = s  
т = t  
у = u  
ф = f  
х = x  
ц = ts  
ч = č  
ш = ſ  
э = e  
ю = ju  
я = ja



コリマ・ユカギール語

例文付き語彙集



a

**aa-** 【他動詞】 1) ~をする : met nemdik *aateme tuõde?* 私はこれで何をしようか? [1-036-23].

2) ~を作る : *tabunpenjin čumu podarok aadelle, tadiimele* 彼ら全員に贈り物を作って贈った [1-022-30].

3) ~を集める.

◇ **jobul aa-** 匂いを嗅ぐ : *taat jobul aade prjamo met laji kies'* すると (オオカミは) 匂いを嗅ぎながら, まっすぐ私の方へ来た [2-040-21~22].

**aačii-, (aas'ii-, aasii-)** 【他動詞】 引っ張る, 引っ張り出す : *taat mondelle, ostool aat legulek aasiimele* (彼は) そう言ってテーブルの下から食べ物を引っ張り出した [1-072-30] / *xristos krieske, aas'iilooj* キリストは十字架に磔にされた [1-042-31].

**aade-** 【他動詞】 引っ張る, 引きずる : *tintarj jomgediis'e aadet kebes'* (彼は) その内臓を引きずって行った [1-060-15~16].

**aaj** 【副詞】 ~も, また, さらに, 再び : *juukedie aaj tude lukile mid'um* カワカマスも自分の矢をとった [1-032-08] / *pulundie aaj kebes'* おじいさんは再び行った [1-050-34].

**aal** 【後置詞】 ~の下に, ~の下で : *pol aal ariteti* 床の下に隠そう [1-078-14].

**aalben** 【名詞】 下の部分 : *tudel örd'ool lebie aalbedek injertemle, örd'ool lebie čerufedin* 彼は中間の土地の下を掘った, 中間の土地を沈めるために [1-110-31~32].

**aas'e** 【名詞】 家畜トナカイ (ロシア語で олень).

**aas'ii-** ⇒ **aačii-**.

**aasii-** ⇒ **aačii-**.

**aat** 【後置詞】 ~の下から : *taat mondelle, ostool aat legulek aasiimele* (彼は) そう言ってテーブルの下から食べ物を引っ張り出した [1-072-30].

**aažul** 【名詞】 棚.

**abudaa-, (abude-)** 【自動詞】 寝る, 横たわる : *i'e, siilepki ulumut abudaarji* (彼らは) 力尽きて, 横たわった [2-038-03~04].

**abude-** ⇒ **abudaa-**.

**abudej-** 【他動詞】 寝かせる.

**abut** 【名詞】 1) 袋, 入れ物 : *tebegej, me tet čovõjo abutn'it* テベゲイ, そら, お前のナイフと入れ物だ [1-088-32].

2) 巢穴 : *tarj jurguuge föjl'el, tamun meemee abut ool'el* (彼女は) その穴に入った, それはクマの巢穴だった [1-024-31~32].

3) 胞衣.

**abute-**, (**abutte-**) 【他動詞】注ぐ : jaalmid'e kruzkage *abutem* (彼は) 3度カップに注いだ [2-012-26~27] / d'e, taat tude legulgele fouroget jolovude lunbugenjin *abuttem* そして (彼は) 自分の食べ物を皿から元の場所に, 鍋に注いだ [1-074-25~25].

▷ **abuteč-** 《反復》.

**abutte-** ⇒ **abute-**.

**ad-** 【自動詞】頑丈だ : tintaŋ *adul igejepulgele ködum* その頑丈な紐を集めた [2-030-27~28].

**adaa** 【指示詞】そこで, あそこで, そこに, あそこに : met juöt, nemdik *adaa legitemle!* (彼女が) 何をあそこで食べさせているのか見よう! [1-076-03].

**adaat** 【指示詞】そこから, あそこから : met tetul *adaat löudet, adaat fejrejtejek!* 私はお前をあそこから落とそう, あそこから (お前は) 逃げるのだ! [1-104-23~24].

**adi** 【副詞】頑丈に, しっかりと : unmun'elbenpejin unmupegi omos' *adi uujiinul'elum* (彼は) 角を持つ者たちに角を素晴らしく, 頑丈に作ってやった [1-022-20~21].

**adil** 【名詞】若者, 青年 : pulundie uõgõod'e *adilgoot kudej* おじいさんは若い青年になった [1-056-22].

**adiŋ** 【指示詞】その, あの (話し手から離れた位置にあるものを指す).

**adis'** 【副詞】頑丈に, しっかりと.

**aduõ** 【名詞】息子 : irkid'e esiepegi tude *aduõjin moni* ある時, 彼の父親たちは自分の息子に言った [1-072-08].

**aduõn** 【指示詞】それ, あれ : far aateŋide, *aduõde časitejnunnum* 何かをするときは, それを触るのだ [1-114-28].

**avid'i** 【副詞】こっそりと : taat *avid'i juõ* そして (彼女は) こっそりと見た [2-032-19~20].

**avidi-** ⇒ **aviduu-**.

**aviduu-**, (**avidi-**) 【自動詞】隠れる : terikee, čugoon *aviduutejli* 妻よ, はやく隠れよう [1-056-34].

**avii** 【副詞】こっそりと : tudel *avii čovojodiek minmele* 彼はこっそりとナイフをとった [1-106-33~34].

**avite-** 【他動詞】隠す : titte uõrpegele pol aal *aviteŋaa* (彼らは) 自分の子供たちを床の下に隠した [1-078-15].

▷ **avites'-** 《反復》 : bjučjunbenget gudujde tude čuge *avites'ut*, tabunge nugunude xaŋiinum.

(若いシャマンは) 様々なものに変身しては彼 (年老いたシャマン) の道を隠し, そして見つけては追いかけた [2-022-18~19].

**avul** 【名詞】シャマンを助ける者 (助手).

- aʷurpe-** 【自動詞】苦しむ：taat aʷurpel'el (彼女は) このように苦しんでいた [1-022-02].
- aʷurpeli-\*** 【自動詞】難しい, 困難だ：tiŋ uuɟl metin aʷurpelič この仕事は私にとって困難だ [AG030816].
- aʷurperii-\*** 【他動詞】～に苦しむ：tet lemdik aʷurperiime? あなたは何に苦しんでいるのか? [AG030814].
- aʷurpef-** 【他動詞】苦しめる：met ningej foromok aʷurpefme 私はたくさんの人を苦しめた [1-102-30~31].
- aj-** ⇒ **ajii-<sup>2</sup>**.
- ajaa-** 【自動詞】喜ぶ：ajaaɟ, foromo čuge juöt (彼は) 人の足跡を見て喜んだ [1-072-12].
- ajbii<sup>1</sup>** 【名詞】影：tude ajbii juönul'elmele (彼は) 自分の影を見た [2-032-33~34].
- ajbii-<sup>2</sup>** 【他動詞】◇ and'e ajbii- 目を閉じる：and'e ajbiit ejrenjide – čumu jedi tite örd'ool lebiege: faaln'it, ulegen'it, jalʷiln'it, čobuln'it, pien'it (下界では) 目を閉じて歩くと, 全て見えた, 中間の土地のように：木と草と湖と海と山と (があった) [1-094-19~20].
- ajdaan** 【名詞】騒動：kimd'iimet – čomood'e ajdaan ootej (あなたたちが) 喧嘩すると, 大きな騒動になるだろう [1-046-25].
- ajdaann'e-\*** 【自動詞】騒ぐ.
- ajie-** 【他動詞】～を搔く：tabun juödelle, ibil'ede tude joogele ajiet irgufum (彼は) それを見て, 泣きながら自分の頭を搔いて穴をあけた [1-090-17].
- ajieze-\*** 【自動詞】自分の体を搔く：töwke ajiezej 犬は自分の体を搔いている [AG020522].
- ajii<sup>1</sup>** 【副詞】まだ, そのほかに, さらに, もっと：met legul ajii el patče 私は食べ物をまだ煮ていない [1-020-12] / ajii nadoŋooj igeje 紐がもっと必要だ [1-100-08].
- ajii-<sup>2</sup>, (aj-)** 【他動詞】射る, 撃つ, ～にぶつける：tamungele ajiiŋaa, kudedeŋaa (彼らは) それを撃った, 殺した [2-048-05] / tabudek ejele ajnaal'elŋile それを弓で射はじめた [1-070-28].
- ajl'e-** ⇒ **ajle-**.
- ajle-, (ajl'e-)** 【他動詞】洗う：mit uö ajleti 私たちの子供を洗おう [1-082-31].
- ajled'-, (ajlen-)** 【自動詞】自分の体, 顔を洗う：oozii mindelle taat ajlend'e, taat ajlend'e, taat juö – laxigi čirte čumu jied'elek. (私は) 水をとって顔を洗った, そして見た, その (オオカミの) 尾は糞だらけだった [2-042-01~02].
- ajlen-** ⇒ **ajled'-**.
- ajlii-\*** 【他動詞】禁ずる：met emej metkele ajliim numeget kewejdin 私の母は私に家から出るのを禁じた [AG030821].
- ajuu-** ⇒ **ejuu-**.
- ajuuɟ-\*** 【他動詞】侮辱する.

**al'**, (**al'e**) 【名詞】そば : *jouwodariidie al'dege xodooj* (彼は) 銃の袋のそばに横たわっていた [2-032-32~33].

**al'aa**<sup>1</sup> 【後置詞】 ~のそばで, ~のそばに : *ködtelle, tude al'aa peniim* (彼は紐を) 集めて, 自分のそばに置いた [2-030-28].

**al'aa**<sup>2</sup> 【自動詞】 溶ける : *taŋ pukel'e al'aa* その雪は溶けた [1-088-14~15].

**al'aaf-**, (**al'af-**) 【他動詞】 溶かす : *uolobe miejn'e irkill'en al'aafut* (私は) 錫と銅をいっしょに溶かすだろう [1-100-02].

**al'af-** ⇒ **al'aaf-**.

**al'be-** 【自動詞】 溢れる, 流れる : *ŋubed'egi čumut uus', leppugi čirčumu al'bej* (彼の) 心臓は全て動いているが, 血は全て溢れている [2-024-34] / *loŋdodege, oode xongoget ŋaxal'ej jollo olmon al'bej* (彼が) 踊っている間中, スポンの穴から黄色い泥がこぼれていた [1-052-05].

**al'bef-** 【他動詞】 注ぐ, 撒く : *kesiimele lebiegele tude oŋoolooge al'befum* (彼は) 運んで来た土を自分の立っているところに撒いた [1-112-29~30].

▷ **al'befej-** 《完了》 注ぐ : *taat al'befej'elum omos' aŋd'edin* そして (彼の) 良い目に注いだ [1-100-21].

**al'e** ⇒ **al'**.

**alandin** 【固有名詞】 アランディン : *odulpe molvodeget irkin siilend'e ŋoromok l'el'elul. tude n'uugi alandin ool'el* ユカギールの間, 1人の力の強い人がいた, 彼の名はアランディンだった [2-034-11~12].

**albe** 【名詞】 下, (山の) 麓.

**alboo-** 【自動詞】 負ける : *met albooje, met ukejmoziije* 私は負けた, 私は出て行かなければならない [1-070-19].

**alboozii-** 【他動詞】 負かす : *metkele met alboozii* (彼は) 私を負かした [1-110-16].

**aldu-\*** 【他動詞】 ~を呪う : *tudel mitkele aldum* 彼は私たちを呪った [DP030813].

**aldud'e-** 【自動詞】 呪う : *aldud'ede apl'itaj pon'ooj* 呪いながらアプリタイは残った [1-106-04~05].

**aldule\*** 【名詞】 蛙 (ロシア語で лягушка).

**alvaarn'e-** 【自動詞】 裸である : *ataxun alvaarn'eje ŋoromopol n'ekiejiini, n'exodile el mudejnuj* 2人の裸の人が競争している, どちらも追い越すことができない [2-058-21].

**alvude** 【副詞】 下の方へ : *taat alvude juödej* そして, (彼は) 下の方を見た [1-030-32].

**alvudoo-** 【自動詞】 下である.

◇ **alvudool lebie** 下界 : *kukul martl'uök mereŋ'elmele kuzuunjin, tabunget tudegele alvudool lebiejin čerefel'elum* 悪魔の娘を (彼は) 空へ飛ばした, だから (彼女は) 彼を下



- 界に沈めた [2-010-31~32].
- alɤuj\*** ⇒ olɤuj.
- alme** 【名詞】シャマン.
- amčii-** ⇒ amde<sup>-2</sup>.
- amdaa-** 【自動詞】死ぬ : bojs'e amdaaji (彼らは) すっかり死んでしまった [1-076-28].
- amde<sup>1</sup>** 【名詞】死 : taat mododege, amde kies'. そして (彼が) 暮らしていると, 死がやって来た [2-018-26].
- amde<sup>-2</sup>** 【自動詞】死ぬ : čumut moll'elji, amdej, joxiedege 皆言っていた, (彼女は) 道に迷って死んだと [1-026-07]
- ▷ **amčii-**《反復》死にかけている : me amčii, taat l'egen! (彼は) 死にそうだ, そうしておけ! [1-104-29]
- ▷ **amdoo-** 死んでいる.
- amdoo-** ⇒ amde<sup>-2</sup>.
- amladaj-** 【他動詞】《完了》飲み込む : terikiedie nosii amladajdelle, unqis' おばあさんは指貫を飲み込んで眠った [1-052-29~30].
- amlaj-** 【自動詞】《完了》(穴や水の中に) 落ちる, 潜る : pulundie tude prodanil'ge amlajl'el おじいさんは自分の氷穴に落ちた [2-032-31~32].
- ammal-** 【自動詞】泊まる : ataxlid'e ammali 二晩泊まった [1-062-09].
- amun** 【名詞】骨.
- anabuskaa** 【名詞】丸木舟.
- ančii-** ⇒ ann'e-.
- and'e** 【名詞】首長.
- and'ii-** 【他動詞】呼ぶ, 探す.
- and'iid'aa-** 【自動詞】呼ぶ, 探す : taa and'iid'aat iilepulgele nugum. (彼らは) そこで探し, いくつかを見つけた [1-038-26~27].
- andubus'aa** 【名詞】カモの一種 (ロシア語で утка-савка).
- anɤii-** 【他動詞】梳かす : irkin omos'e marxilek čereuroo joo anɤiit modoj 1人の美しい娘が銀の頭を梳かしながら座っていた [1-086-18~19].
- anɤiije\*** 【名詞】櫛.
- anil** 【名詞】魚.
- ◇ **anil tunmul\*** 鰓.
- anil ikčiiis'e** 【名詞】漁師.
- ann'e-** 【自動詞】話す, しゃべる.
- ▷ **ančii-**《反復》 : tan paj aaj legitede ančiiinnuj その女は再び食べさせながら言った [1-

076-05].

▷ **antaj-**, **antej-** 《完了》: *taat čibal' jekliet irkin bankak antajl* すると, 暖炉の向こうから缶が答えた [1-078-21~22] / *irkin nodo titimied'edek keldelle, al'dege modol, taat antes'* 一羽の鳥のようなものが来て (彼女の) そばにとまった, そして言った [1-032-27~28].  
**ann'erii-\*** 【他動詞】 ~について話す, しゃべる: *tittel aduongele ann'eriiŋaa* 彼らはそれについて話していた [AG020522].

**antaj-** ⇒ **ann'e-**.

**antej-** ⇒ **ann'e-**.

**anure-** 【他動詞】 愛する, 好む: *d'e, moni, - lemdik anureme, čumu min aduön kurulget* さあ, (彼は) 言った, 気に入ったものを全部とれ, あの納屋から [2-012-27~28].

**aŋa** 【名詞】 口.

**aŋanmuge\*** 【名詞】 唇.

**aŋanpuŋelbie\*** 【名詞】 鬚.

**aŋd'e** 【名詞】 目.

**aŋd'edabut** 【名詞】 内臓, 腸: *meemee aŋd'edabutteejle taat legiem.* (そのクズリは) クマの内臓を全部食べてしまった [1-060-21~22].

**aŋd'edoozii\*** 【名詞】 涙.

**aŋd'epuŋelbie\*** 【名詞】 眉.

**aŋd'ilaa** 【名詞】 タカ (ロシア語で ястреб).

**aŋil'** 【名詞】 1) (容器の) 口: *ukejdelle, tintaj fögiigele aŋil'deejle jovodajm* (彼女は) 出て行って, その袋の口を開いた [1-066-18~19] / *arpajdelle, taat loŋdaaj jekečan aŋil'ge* (彼は) 登って, 鍋のふちで踊りはじめた [1-118-13].

2) 河口: *nungeden aŋil'ge irkin čomood'e almek l'el'e čuöle omnii paraage* ラソハ川の河口に1人の偉大なシャマンがいた, 昔の人々の時代に [2-026-26].

**aŋsii-** 【他動詞】 探す: *taat čolvoraadiegele aŋsiidin kebes'* そして (彼は) ウサギを探しに行った [1-050-31].

**aŋsiid'e-** 【自動詞】 探す: *taat n'an'ulbenpe aŋsiid'aagi* そして悪魔たちは探しはじめた [09-204].

**apl'itaj** 【固有名詞】 アプリタイ: *kelid'e-apl'itaj taj faalge aaj joodelle modoj* 芋虫のアプリタイは再びその木に巻きついている [1-104-11].

**arann'e-** 【自動詞】 敏捷だ: *jaxtejool, loŋdojool, arann'ej, siilen'ulbenpek aŋsiinile, faxal'eŋjile* 歌い手, 踊り手, 敏捷で力のある者が探され, 集められた [1-028-21~22].

**aras** さまざまな: *aras legulgele čumu taa oostoolge egetem* さまざまな食べ物すべてテーブルに置いた [1-080-20].

**arasnoḡoo-** 【自動詞】1) さまざまな ; <разный (R) , ḡoo- 「～である」: aaj *arasnoḡood'e* legulek aamele (彼は) また様々な食べ物をつくった [1-082-27].

2) 他の: *olodelle, terikiedie tamun miestegen arasnoḡood'e xodon'ej fögiik peniimele* (袋を) 盗むと, おばあさんはその代わりに他の満杯の袋を置いた [1-064-08~09].

**arimel** 【名詞】底: *taat xodooj oozii arimelge* このように (彼は) 水底に横たわっていた [2-032-32].

**arnuuja** 【名詞】クズリ (ロシア語で *росомаха*).

**arouje** 【名詞】コクチマス (ロシア語で *ленок*).

**arpa-\*** 【自動詞】警戒する.

**arpaj-** 【自動詞】《完了》登る: *jaaljın arpas'* (彼は) 木に登った [1-062-17].

▷ **arpuj-** 《反復》: *taat arpujaanjı čande* そして (彼らは) 上へ登りはじめた [1-110-34].

**arpuj-** ⇒ **arpaj-**.

**arxaa** 【後置詞】～のそばで, ～のそばに: *nuöde, nuöde tude xaaxaa arxaa jaxaj* (彼は) 笑いながらおじいさんのそばに近付いた [1-052-06~07].

**arxaan** 【後置詞】～のそばに, ～のそばで: *xorobo arxaan ulege xodoolgele juöt jied'end'e ulegele el uujaanjı* (彼らは) 牛のそばに草があるのを見て, 糞のついた草に触らなかつた [1-044-08~09].

**ataaxii\*** 【名詞】蜘蛛.

**ataxl'd'e** ⇒ **ataxlid'e**.

**ataxleſki, (ataxloſki)** 【数詞】第2: *taat ataxloſki ukes', aaj jin'el'ge iges'* そして2人目が出て行った, また毘にかかった [1-058-17].

**ataxleſte, (ataxloſte, ataxfeſte)** 【数詞】第2: *čerez ataxleſte pod'erxoge kies' smerč* 二日後に死はやって来た [2-020-17] / *tii aatej ataxloſte anj'd'e* では二つ目の目を作ろう [1-100-20] / *tij mit unuj ataxfeſte jierge čomoolbenpelek l'enjil* そこの我々の川の二つ目の分岐点にオオシカがいる [2-004-21~22].

**ataxlid'e, (ataxl'd'e)** 【副詞】2度: *ataxlid'e ammali* 二晩泊まった [1-062-09] / *d'e, metul ataxl'd'e kimdaan'eriimek* (お前は) 私を2度も騙したな [1-064-37].

**ataxloo-** 【数詞】2 (である): *jaan foromo ataxlool luusiipelek, irkin jaxalek, perevodčikek*. 3人の人の2人はロシア人, 1人はヤクートの通訳だった [2-024-21] / *ataxloot taat modol'elji* (彼らは) 2人でこうして暮らした [1-116-12].

**ataxloſki** ⇒ **ataxleſki**.

**ataxloſte** ⇒ **ataxleſte**.

**ataxlum** 【数詞】両方.

**ataxfeſte** ⇒ **ataxleſte**.

**ataxun** 【数詞】 2 : *taŋ pajpe ataxun uön'el'el* その女には 2 人の子供がいた [1-032-22].  
**ataxun kun'el** 【数詞】 20.  
**atuludaj-** 【他動詞】 売る : *tabun, moni, – metin atuludajk* それを私に売ってくれと (彼は) 言った [2-040-02~03].  
**a300-\*** 【自動詞】 早い : *ajii a300j* まだ早い [AG021019].  
**a300n\*** 【副詞】 早く : *tittel a300n egieŋi* 彼らは早く起きた [AG030827].  
**a3uu** 【名詞】 言葉, 言うこと, 言語, 声 : *esiepegi ojl'ege, tittle emej a3uugele el mediinji* (彼らには) 父親がいなかったため, 母親の言うことを聞かなかった [1-032-23~24] / *kukkii vosemnadtsat' nodo a3uuk lejdiimele* アオカケスは 18 の鳥の言葉が分かる [1-028-01] / *a3uu medis' – aŋagi ojl'e* 声は聞こえるが, (彼の) 口はなかった [2-018-11].

## b

**baal** 【名詞】 波.  
**baratyr** 【名詞】 英雄, 勇士 ; < богатырь.  
**bard'inaa\*** 【名詞】 フサスグリ ; < смородина (R).  
**bebie** ⇒ *uön bebie*.  
**bejd'e** 【副詞】 あちこちで, どこにでも ; < безде (R) : *uörpepki bejd'e fubend'iinji* 子供たちはあちこち走り回った [2-048-09~10].  
**bejd'iet** 【副詞】 あちこちから : *tittle uörpegele edies'ŋaa, uörpepki bejd'iet kelumuŋi* (彼らは) 自分の子供たちを呼んだ, 子供たちがあちこちから来た [2-048-03].  
**bel'emledej-\*** 【他動詞】 用意する : < (Y) : *čomood'e sumaa bel'emledej* 大きな袋を用意しろ [AG030825].  
**berbekin** ⇒ *petr berbekin*.  
**bierii-\*** 【他動詞】 信じる ; < верить (R) : *met tetul bierii* 私はあなたを信じる [AG970800].  
**binne** 【副詞】 ~のようだ, 多分 : < видно (R) : *tudel xollume tii jaxatel binne* 彼はもうすぐここに到着するようだ [1-096-26].  
**bjučjun** 【代名詞】 様々な : *tan paraaget bjučjun end'oon jooŋii end'oonge* *amundeejle omos' peniiŋaa* その時から, 様々な動物, 森の動物の骨をきちんと置く [2-006-10~11].  
**bjučjunben** 【名詞】 様々なもの, 様々なところ : *bjučjunbenget gudujde tude čuge avites'ut, tabunge nugunude xaŋiinum* (若いシャマンは) 様々なものに変身しては彼 (年老いたシャマン) の道を隠し, そして見つけては追いかけた [2-022-18~19].

- bojs'e** 【副詞】すっかり, まったく; <во все (R) : *bojs'e amdaaji* (彼らは) すっかり死んでしまった [1-076-28].
- borodan'e-** 【自動詞】顎ひげをたくわえた; <борода (R) , -n'e 「~を持った」: *tamun kiejie baratr titimiej borodan'ej pulutek modol* その前に, 勇士のような, 顎ひげをたくわえた老人が座っていた [1-072-18].
- bostubuj\*** あなたにとって何もかもがうまく行きますように; <Бор с тобой (R).
- bude** ⇒ *budie*.
- buden** ⇒ *budien*.
- budet** 【後置詞】~の上から: *taat undörd'egen xondege – pie budet jaxtelek meduunul* そうして (彼が) 川の真ん中を行くと, 山の上から歌が聞こえた [2-010-20~21].
- budie, (bude)** 【後置詞】~の上に, ~の上で: *uöreptie, met budie imaaņik* 子供たちよ, 私の上に乗るなさい [1-078-29].
- budien, (buden)** 【後置詞】~の上に, ~の上で: *pulundiegele tude budien imdelle, taat köudejm* (彼は) おじいさんを自分の上に乗せて, そして運んだ [1-056-13~14].

## č

- čaa-** 【自動詞】少ない, わずかだ: *čaaje pod'erxo pon'ool'el, n'eleme el aatejek* わずかな日にちしか残っていない, 何も (お前は) できないだろう [1-092-27~28].
- čaača** ⇒ *čaačaa*.
- čaačaa, (čaača)** 【名詞】兄.
- čaaſet** 【副詞】今: *čaaſet kesiik* 今, 持って来い [1-066-12].
- čaaxa\*** 【名詞】凍った魚をナイフで薄く削いだ料理.
- čaazaa-** 【他動詞】減らす: *nugendeget faſxulpedeejle čaazaal'elſaa* (彼は) 手から指を減らされた [1-096-13~14].
- čad'ile** 【名詞】小道.
- čavaa-\*** 【自動詞】(川を) 渡る: *tudel ununģe čavaaj* 彼は川を渡った [AG020522].
- čavataj-** ⇒ *čavitej-*.
- čavati** 【名詞】染料: *fajde, sis'kedin, krieste embej, pojnej čavatiile čavataal'elum* (彼は) 横に, 縦に, 十字に, 黒と白の染料で塗った [1-028-10~11].
- čavatiin'anme\*** 【名詞】ハンノキ (ロシア語で ольха).
- čavide\*** 【副詞】逆に: *tudel čavide xoni* 彼は後ずさりした [AG021019] / *čumu čavide aanum* (彼は) 全て逆のことをやる [AG030827].

**čavitej-**, (**čavataj-**) 【他動詞】《完了》 触る, 塗る : *jar aateŋide, aduōde čavitejnum*  
何かをするときは, それを触るのだ [1-114-28] / *taŋ foromodie pulut monool tite uujl*  
*kiejie taŋ jodolbede čavatajille, uujgi kizooodege, čugoon čemerejm* その人が老人の言った  
ように仕事の前にその包みを触ると, 仕事は簡単で, すぐに終えた [1-114-30~31].

**čarize-** 【自動詞】 転がる : *taat arnuujaadie pukel'ege čarizej* すると, クズリは雪の上を  
転がった [1-060-27].

**čaj** 【名詞】 お茶 ; < чай (R) : *madaak! čaj oozek* 座れ! お茶を飲め [2-028-03].

**čajfile** 【名詞】 エゾライチョウ (ロシア語で рябчик).

**čamd'e** 【名詞】 オール.

**čand'il'** 【自動詞】 器用な.

**čande** 【副詞】 上へ, 上流へ : *taat arpujaaŋi čande* そして (彼らは) 上へ登りはじめた  
[1-110-34].

**čaŋ\*** 【他動詞】 守る : *tudel tude uorpegele čaŋum* 彼女は自分の子供たちを守っている  
[AG030821].

**čaŋdaa-** 【自動詞】 (舟を) 岸につける : *d'e marxipe taat čaŋdaal'elji* 娘たちはこうして接  
岸した [2-016-04].

▷ **čaŋdaj-**《完了》 : *čaŋdajdelle, pottuōŋin moll'elji* (彼らは) 接岸してポットウオに言っ  
た [2-016-08].

**čarčaxan** 【固有名詞】 チャルチャハン : *čarčaxan alme ool'el* チャルチャハンはシャマン  
だった [1-048-16].

**čas** 【名詞】 1 時間 ; < час (R) : *ataxun časŋoot kudej* 2 時間たった [2-020-02].

**čebil\*** 【名詞】 谷.

**čeginmoo-\*** 【自動詞】 深い.

**čejd'ie\*** 【副詞】 わざと.

**čejli-** ⇒ **čejluu-**.

**čejlukie-** ⇒ **čejluukie-**.

**čejluu-**, (**čejli-**) 【自動詞】 遠い : *čejlis' duu?* (そこは) 遠いのか [2-028-28].

**čejluukie-**, (**čejlukie-**) 【自動詞】 遠くなる : *xodit mit modol lebiepe taat čejluukiel'el?* な  
ぜ, 私たちの住む土地はこんなに遠くなったのだろうか [2-052-10].

**čekčil\*** 【名詞】 名人, 技, テントウムシ (божья коровка).

**čemedej-** ⇒ **čemerej-**.

**čemej-** 【自動詞】《完了》 終わる, 終える : *taat kerekepul odulpen'e kimd'iilpegi čemies'* こう  
してコリヤークとユカギールの戦いは終わった [2-036-36] / *jouleme leŋdet čemejdelle,*  
*irkinl'epki moni* 夜に食事を終えて, 彼らのうちの 1 人が言った [1-070-06].

**čemerej-**, (**čemedej-**) 【他動詞】《完了》終える : ataxlofte olɔujgele *čemerej'elum* (彼は) 二つ目の鍋を(注ぎ) 終えた [1-100-23] / *jerčebaale čemedejdelle, xaxiel parnaagele jōrileʃut eris' jōrileʃum* アヒルを(色を塗り) 終えて, アビはカラスに色を塗ったが, へたくそに色を塗った [1-028-09~10].

**čen-**\* 【自動詞】美しい : *čence n'aazube* 美しいスカーフ [AG970800].

**čenn'e** 【名詞】力 : *met čenn'e ulumuj* 私は力が尽きた [1-110-16].

**čepnu-**\* 【自動詞】くしゃみをする.

**čerej-** 【自動詞】《完了》沈む : *noj taat pon'ooj alɔdool lebiege čerej' end'oonpen'e* ノアは下界に沈んだ動物たちと残った [1-044-01~02].

▷ **čeruj-**《反復》 : *čerujde n'an'ulben noj mino xanjiñile*. 沈みながら悪魔はノアの筏を追った [1-038-07].

**čeref-** ⇒ **čerufe-**.

**čereʃe-** ⇒ **čerufe-**.

**čereuroo** 【名詞】銀 ; < cepe6po (R) .

**čeruj-** ⇒ **čerej-**.

**čerufe-**, (**čeref-**, **čereʃe-**) 【他動詞】沈める : *tudel örd'ool lebie aalbedek iğertemle, örd'ool lebie čerufedin* 彼は中間の土地の下を掘った, 中間の土地を沈めるために [1-110-31~32] / *taat jiezut noj minogi čomood'e ileje kelut ojilge jottet bojs'e čerefum* こうしてノアの筏が流れていくと, 強い風がやって来て, 流れに舞い上げて, すっかり沈めてしまった [1-038-08~09] / *kukul martl'uök mereʃ'elmele kuzuunjin, tabunget tudegele alɔdool lebieñin čereʃel'elum* 悪魔の娘を(彼は) 空へ飛ばした, だから(彼女は) 彼を下界に沈めた [2-010-31~32].

**čibal** ⇒ **čibal'**.

**čibal'**, (**čibal**) 【名詞】暖炉 : *terikiedie tañ toukediegele numeñin kesiidelle, čibal' jeklie ultem* おばあさんはその犬を家に連れて来て, 暖炉の向こうに繫いだ [1-068-17~18]

**čičči-** ⇒ **čiččii-**.

**čiččii-**, (**čičči-**) 【他動詞】汚れをとる : *čaačaa, - moll'el, - ediñ čilge metin kejk xaŋsaalek čiččiiteme* 兄さん, (彼は) 言った, その小枝を私にくれ, (私は) 煙管の汚れをとろう [2-034-38~2-036-01].

**čied'e** 【名詞】冬, 寒いところ : *čied'ege ejret jarxedelle pug'es'ege joŋzoot ed'iel'el* (彼女は) 寒さの中を歩いて凍え, 暖かいところで眠って生き返った [1-024-34].

**čied'eme** 【副詞】冬に : *meemee, čugurubie tabunget čied'eme joŋzooñi* クマ, シマリスは, そのため冬に眠る [1-042-15~16].

**čiekčie** 【名詞】名人.

**čilge** 【名詞】小枝 : kereke egiedelle, *čilge* felgedejdin xonut taa n'ovol'el コリヤークは立ち上がって、枝を折るために行って、そこで倒れた [2-036-04].

**činčedie** ⇒ *inq'd'ii činčedie*.

**čine-** 【他動詞】叩き割る, 叩き切る : *emejgi losilek činemele* (彼の) 母親は薪を割った [2-030-16].

▷ **činej-**《完了》: *čarčaxan taŋ čuul'd'ii pulutkele n'umud'iile joomenjin činejn'it taa kud-edem* チャルチャハンはそのおとぎの老人を斧で頭を叩き割って、殺した [1-092-09~10].

**činuf-** 【他動詞】叩き割らせる : *uölek juöfnul'elŋaa, losilek činufnul'elŋile, ooziinjin eguzul'el* (彼女は) 子供の面倒を見させられた, 薪を割らされた, 水汲みに行った [1-020-30~1-022-01].

**čirčege-** 【自動詞】跳ねる : *taŋ miestegen čirčegede londaanul'el* (彼は) その場所で跳ねながら踊った [1-034-31~32].

▷ **čirčegej-**《完了》: *jaxadelle taŋide, febis'ege molvriŋ čirčeges'* (彼は) そこに着くと、ノイバラの中へ飛び込んだ [1-104-07].

**čirčegetče** 【名詞】銃.

**čirčumu** 【代名詞】全て : *fubed'egi čumut uus', leppuŋi čirčumu al'bej* (彼の) 心臓は全て動いているが、血は全て溢れ出ている [2-024-34].

**čirte čumu** 【代名詞】全て : *d'e taŋ bočkale oozeŋum čirte čumu* その樽を全て飲ませた [2-014-14].

**čisto čumu** 【代名詞】全て : *almeŋki tiŋ ŋoromopulŋin čisto čumuŋin moni* (彼らの) シャマンはその人々全員に言った [2-006-03].

**čistoŋoo-** 【自動詞】清潔だ : <чистый (R), ŋoo-「~である」: *taat tintaŋ ŋoromo čistoŋood'e tarelkage omos'e legulgele peniidelle, taŋ toukeŋin tadiim* そしてその人はきれいな皿においしい食べ物を置いて、その犬に与えた [1-068-22~23].

**čitne-** 【自動詞】長い : *čuge čitnej* 道は長い [2-034-35].

**čitni-** 【他動詞】伸ばす : *tabunge xristos faan kries ovoodege, taa arpaŋdelle, krieske egjel'el ŋoukole, tude nugenpegele ŋajde čitniit* そのとき, キリストは木の十字架が立っているところに、そこに登って、十字架に背中を向けて立った, 自分の手を横に伸ばして [1-046-01~02].

**čobine** 【名詞】槍.

**čobul** 【名詞】海.

**čog-** ⇒ *čov-*.

**čov-**, (*čov-, čoj-, čov-, čou-*) 【他動詞】切る : *taat tintaŋ pulundie čovojole irideejle čovut*



irgufum そして、そのおじいさんはナイフで腹を切って穴をあけた [1-066-30~31].

▷ **čovoј-**《完了》切る : petr berbekin čovoјole čovoјm tude fajxulgele ピョートル・ベルベキンはナイフで自分の指を切った [1-102-08].

**čovoје** ⇒ čovoјo.

**čovoјo**, (**čovoје**) 【名詞】ナイフ.

**čovoјodabut** 【名詞】ナイフの袋.

**čoj-** ⇒ čov-.

**čolaj-\*** 【自動詞】増す : oozii ununge čolajl'el 川の水 (水かさ) が増した [AG030811].

**čolvaj-** ⇒ čolvо-

**čolvо-** 【他動詞】突く : jarxelek čolvomle (彼は) 氷を突いていた [2-032-20].

▷ **čolvaj-**《完了》突く, 押す : medin fōktege numege, taј paj n'aasin menmeges', jaal mindelle, n'aasin jaale čolvajm (彼女が) 家に入ると, (彼は) その女の前から跳びかかり, 棒を手にとって, 棒で突いた [2-046-28~29].

**čolvoroaа** ⇒ čolvoro.

**čolvoro**, (**čolvoroaа**) 【名詞】ウサギ (ロシア語で заяц).

**čolvoromeјnugi** 【名詞】タカ的一种 (ロシア語で ястреб-тетеревятник).

**čolo-\*** 【他動詞】足す : tudel metin čuule čolom 彼女は私に肉を足した [AG030811].

**čomanii** 【名詞】コクチマス (ロシア語で нельма).

**čommoози-** 【他動詞】大きくする, 増やす : Јoromole önmedeeјle čommoозim 人間には知恵を増やした [1-040-37~38].

**čommu-** 【自動詞】成長する : uōgi čommut meemeerpoот gudel'el (彼女の) 子供は成長すると, クマになった [1-026-09].

**čomo čovoјo** 【名詞】大きなナイフ.

**čomovote**, (**čomovote**) 【副詞】強く, 非常に : čomovote јouteј とても痛いだらう [1-098-34].

**čomovotele** 【副詞】強く, 非常に.

**čomoo-** 【自動詞】大きい : tamun čajfile ool'el, nodoget čisto čumuget čomool'el それはエゾライチョウだった, (エゾライチョウは) 鳥の中で最も大きい [1-044-15~16].

**čomovote** ⇒ čomovote.

**čomool** 【名詞】意志.

◇ **čomoole** ひとりで.

**čomoolben** 【名詞】オオシカ (лось, сохатый).

**čomooltaј** 【名詞】兄弟の中の一番年上の者.

**čomoon** 【副詞】とても : хаахаа, čomoon leјdool'd'e, metin tet čolvoroget xartek おじい

さん、(私は) とてもお腹が空いている、私にお前のウサギを分けてくれ [1-056-05~06].

**čomparnaa** 【名詞】ワタリガラス (ロシア語で ворон).

**čon-** ⇒ čov-.

**čorxo** 【名詞】平原, ツンドラ.

**čou-** ⇒ čov-.

**čoxčonjaa** 【名詞】シギ (ロシア語で кулик).

**čoxočaal**, (**čoxočal**) 【名詞】岸壁の下 : id'ii čoxočaal laŋi öngzejdelle, prolubuget tet sam oožek これからは岸壁の下に降りて、氷の穴から自分で (水を) 飲んでおくれ [1-078-06~07].

**čoxočal** ⇒ čoxočaal.

**čoxočo** 【名詞】岸壁 : čoxočoge arpaŋjidege, irkin luusiin numek owool'elul (彼らが) 岸壁に登ると、一軒のロシア式 (木造) の家がたっていた [1-070-27~28].

**čösle** 【名詞】手斧 ; < тесло (R).

**čuge** 【名詞】1) 道 : čuge čitnej 道は長い [2-034-35].

2) 足跡 : terikiedie taat kebes' čugedegen そしておばあさんは彼の足跡をたどって行った [2-032-18~19].

**čugooj** 【副詞】素早く, 速く : čugooj madaadelle, met čulgejdelle, kebes' (彼は舟に) 素早く乗り込み、(岸を) 突いて離れ、出発した [1-104-34].

**čugoon** 【副詞】素早く, 速く : terikee, čugoon ariduutejli 妻よ、はやく隠れよう [1-056-34].

**čugurubie** 【名詞】シマリス (ロシア語で бурнудук).

**čulgej-** 【他動詞】《完了》突く, 押す.

**čumu** 【代名詞】全て, 皆 : lebiele čumu mill'eljaa 土地を全て取られた [1-034-27] / almepki tiŋ ŋoromopolŋin čisto čumuŋin moni (彼らの) シャマンはその人々全員に言った [2-006-03].

**čumučii-** 【自動詞?】魚を釣る : nume jekl'ie joobii eguzul'elŋi, čumučiiit, ŋafil juöt (彼らは) 狩りをしに森を歩き回った, 魚を釣り, 罾を見ながら [2-010-16~17].

**čumus'en'** 【自動詞】鉤形に曲がった : joŋulgi čumus'en'i (彼女の) 鼻は鉤形に曲がっていた [2-026-32].

**čumut** 【代名詞】全て, 皆 : čumut moll'elŋi, amdej, ŋoriedege 皆言っていた, (彼女は) 道に迷って死んだと [1-026-07].

**čupre<sup>1\*</sup>** ⇒ čuŋze<sup>1</sup>.

**čupre-<sup>2\*</sup>** 【自動詞】口笛を吹く.

**čuprerii-<sup>2\*</sup>** 【他動詞】~を口笛で呼ぶ : tude töwke čupreriiemele (彼は) 自分の犬を口笛

で呼んだ [AG030816].

**čũʒe**<sup>1</sup> 【名詞】 思考, 知恵.

◇ **čũʒe ejref-** ⇒ **ejref-**.

**čũʒe**<sup>2</sup> 【自動詞】 考える : *taat čũʒej* そのように (彼は) 考えた [2-014-13].

▷ **čũʒej-**《完了》: *čũʒejdelle, jobodaŋil' jowos', meemecepek jõŋŋil* (彼が) 考えると, 扉が開いた, クマが入ってきた [2-024-23~24].

**čuõ** 【副詞】 すでに : *tintaŋ touke kudedi'elum čuõ* その犬は (彼を) すでに殺してしまった [1-080-37].

**čuõl'oo-** 【自動詞】 古い : *tude čuõl'ool terikegele uõrpen'it čumu kesiim* (彼は) 自分の古い妻と子供たちを全員連れて来た [1-086-26~27].

**čuõle** 昔, 古い : *čuõled omnii paraage čoomoolben čaal'el* 昔の人々の時代にはオオシカは少なかった [2-003-04].

**čuõn** 【後置詞】 ~なしで, ~せずに (*el+* 語幹 +*čuon* の形で用いられる) : *iile end'oon el legul čuõn l'eŋi, iile n'elegut l'eŋi* ある動物は食べ物なしでいた, あるものは互いを食べ合っていた [1-042-08] / *taat el lejde čuõn leŋdool'it iŋzuul'el* そして, (彼は) 食事せずに, お腹をすかせて眠った [1-020-16~17].

**čuõte** 【副詞】 いつも : *terikiedie čuõte unuŋget ooziik el'iimele* 妻はいつも川から水を運んだ [1-078-03~04].

**čurud'e** ⇒ **čuruud'e**.

**čuruud'e, (čurud'e)** 【副詞】 静かに, そっと : *alme čuruud'e egiej* シAMANはそっと立ち上がった [2-018-16].

**čuul** 【名詞】 肉.

**čuul'd'ii** 【名詞】 物語.

## d'

**d'e** 【間投詞】 そら, さあ : *d'e, moni, - lemdik anureme, čumu min aduõn kurulget* さあ, (彼は) 言った, 気に入ったものを全部とれ, あの納屋から [2-012-27~28].

**d'el'oonoŋoo-** 【自動詞】 緑色の ; <зелёный (R), цоо- 「~である」.

## d

**de** 【後倚辞】1) 疑問詞のあとに置いて、不定(「～」)の意味にする。

⇒ *kufkinde, n'exagide, xamil'ed'ede, xamunde, xodode, .*

2) ～も、～だけ(先行する語を強調する) : *id'ii de merujiit eguzuj* 今でも(彼女は)飛び回っている [1-034-09].

**del'be, (delbi)** 【副詞】強く : *del'be juus'edejk*. 強く息をしろ [1-060-14].

**delbi** ⇒ *del'be*.

**dorul\*** 【名詞】蝶.

**dorobo** ⇒ *doroobo*.

**doroobo, (dorobo)** こんにちは.

**dowre** 【固有名詞】ドウレ : *dowre teriken'i. promi'l'ajdin ejrej* ドウレが妻といた、狩りに行った [1-084-05].

**dubeglef** 【固有名詞】ドゥベグレシ : *irkin foromo l'ej. tabun n'uugi - dubeglef. teriken'i, nuuzugooŋi* 1人の人がいた, その名はドゥベグレシだった, 彼には妻がいた, 貧乏だった [1-076-10].

**duma-** 【自動詞】考える ; < думать (R) : *d'e taŋ foromo dumas'* その人は考えた [2-014-11].

**duri-\*** 【自動詞】ふざける, 騒ぐ ; < дурить (R) : *uoreptie duriŋi* 子供たちがふざけて騒いでいる [AG021015].

**duu** ～か(疑問を表す) : *jodod'ubelek nadoŋool duu?* リスが必要か [2-012-30].

## e

**e-e** はい, ええ(相手に対する同意を表す) : “*čolworo, čolworo, l'ejek?*” – *moni. “e-e, l'ej”, – moni* 「ウサギや, ウサギや, いるのかい?」(おばあさんは)言った。「ああ, いるよ」(ウサギは)言った [1-050-14].

**ed'-, (en'-, en-)** 【自動詞】生きている, 暮らす : *taat arouje irideget fojl'bul ed'ut löudis' lebiejin* そしてコクチマスの腹からネズミが生きのまま地面に落ちた [1-048-08~09] / *titten'e ed'ut modol'el tittle tite* 彼らと暮らして住んだ, 彼らのように [1-106-23].

**ed'ie-** 【自動詞】生き返る, 助かる : *čied'ege ejret jarxedelle pug'es'ege joŋzoot ed'iel'el* (彼女は)寒さの中を歩いて凍え, 暖かいところで眠って生き返った [1-024-34].

**ed'iete-** 【他動詞】生き返らせる, 救う : *xaaxaa, pasiiba, tetul met aaj ed'ietet* おじいさん, ありがとう, お前を私も救おう [1-056-08].

**ed'ul** 【名詞】1) 命 : foromo *ed'ul el'ed'oofin kies'oon ood'ek* 人の命を滅ぼすために (お前は) 来たのだ [2-028-14].

2) 暮らし : *taŋ pulutjin čumu pundul'elum tude ed'ulgele* (彼は) その老人に全てを話した, 自分の暮らしを [1-114-25~26].

**edej-** 【自動詞】《完了》 応答する.

**edie-** 【他動詞】 呼ぶ : *xaaxaa, tetkele pugedand'e ediem* おじいさん, お前を皇帝が呼んでいる [1-056-10~11].

▷ **edies'-, ediej-** 《反復》 : *iile nodo juuke l'engi, tamunpegele edies'tin kukkiik jannujile* 遠くにいる鳥もいた, それらを呼ぶためにアオカケスが送られた [1-026-34~1-028-01].

**edij** 【指示詞】 その, あの (話し手から離れた位置にあるものを指す) : *kudedejide, edij pufninagi čumu mid'ut* (彼を) 殺したら, (私は) あの獣皮を全て手に入れるだろう [2-014-12~13].

**eduön** 【指示詞】 それ : *omos'oodek aame, omos' eduön!* お前は良いことをした, それは良い! [1-116-03].

**ege-** 【自動詞】 立つ : *eksilget egedelle, joobii lanjide arpas'* (彼は) ボートから立ち上がって, 岸へあがった [1-106-16].

**egede-** 【自動詞】 覗く : *taat juödin erd'iet tii-taa egedennuj, tabane tit n'elemele el juö* このように (彼は) 見たくてあちこち覗いたが, 結局何も見えなかった [1-076-03~04].

▷ **egedej-** 《完了》 : *egedejdege, uyžool'el* (彼が) 覗くと, (彼女は) 眠っていた [1-052-31].

▷ **egend'ii-** 《反復》.

**egend'ii-** ⇒ **egede-**.

**egete-** 【他動詞】 立てる, 置く : *met ilukun xoxsil' ilukun miestege egetejik* 私の四つのひずめを, 四カ所に立てなさい [1-080-07~08].

▷ **egetej-** 《完了》 : *numege jaxadege, emd'egi legule oostoolge egetejm* 家に着くと, 妹は食べ物をテーブルに置いた [1-080-33] / *metul egetejk!* 私を立たせろ! [1-102-27~28].

▷ **egetes'-** 《反復》 : *jaxadelle, tude kiejie, jolaa n'emaalorude n'ugerege egetes'um kriespegele* (彼は) 着くと, 自分の前, 後ろ, 両脇に置いた, 十字架を [1-112-28~29].

**egie**<sup>1</sup> 【自動詞】 1) 立つ : *keldelle, taŋ polžis'e arxaa egiej* (オオシカは) やって来て, その葉のそばに立った [1-116-20~21].

2) 起きる : *ugujelme egieji* 翌朝 (彼らは) 起きた [1-054-23].

**egie**<sup>2</sup> 【他動詞】 覗き見る : *tabungele čolroraadie tibidanjil'gen egiem* それをウサギは煙穴から覗き見た [1-052-30].

**egie**<sup>3</sup> 【他動詞】 運ぶ, 連れて行く.

**egiere-** 【他動詞】 踏む : *murede igejedeget egierem* (彼は彼女の) 靴の紐を踏んだ [1-

050-28].

**eguzu-** ⇒ ejre-.

**ej-joo** 【間投詞】痛い.

**ej juuke** ⇒ ejjuuke.

**eje** 【名詞】弓 : tabudek *ejele* ajnaal'elñile それを弓で射はじめた [1-070-28].

**ejjuuke, (ej juuke)** 【副詞】近くに : taat monode jolaat kind'e *ejjuuke* gudej (彼女が) そう言うと, 月が近づいてきた [1-022-09~10] / titte arxaa omnii *ej juuke* ojl'elni 彼らのそばには, 人々は近くにいなかった [1-072-06].

**ejloo-** 【自動詞】広い : čomood'e *ejlool* čobulñin 大きく, 広い海へ [2-054-34].

**ejme**<sup>1</sup> 【名詞】値, 価格.

**ejme**<sup>2</sup> 【自動詞】見つめる : berbekin *ejmet* – juöl'elum tañ foromogeje, joonkisilde örd'ool irkin aņd'e'el n'aade ベルベキンはじっと見て, その人の額の中央に全部で目が一つしかないのを見た [1-096-05~06].

**ejmerii-** 【他動詞】見つめる : kind'e pod'erxoñin naar tudel kind'elek *ejmeriinul'elum* 月が明るいときには, いつも彼女は月をじっと見ていた [1-022-02].

**ejmej-** 【他動詞】支払う, 報いる : ed'ieje, nemele *ejmeſtem?* (私は) 助かった, 何でお礼をしようか? [1-116-02~03].

**ejmin** 【後置詞】向こう岸へ : ukejelle, unuñ *ejmin* juödejelle, čolworaadie tañide pöjle medej (彼女が) 外へ出て, 川の向こう岸の方を見ると, ウサギがそちらへ走っていくのが聞こえる [1-050-18~19].

**ejmulaaret** 【副詞】向こう岸に, 向こう岸で.

**ejmunde** 【名詞】半分 : mit nume *ejmunde* cuö pides! 私たちの家の半分はもう燃えてしまった [2-043-20].

**ejoo** 【間投詞】痛い : *ejoo, ejoo, amdeje, amdeje* 痛い, 痛い, 死んでしまう, 死んでしまう [1-066-07].

**ejre-** 【自動詞】行く, 歩く : kintek tiñ minole *ejretul?* 誰がこの筏で行くのか [1-036-18].

▷ **eguzu-** 《反復》 : tañ alme tii-taa *eguzut* čuöte erčooдек uujimele そのシャマンはあちこちに行って, いつも悪事を働いていた [2-022-03].

**ejref-** 【他動詞】行かせる, 運ぶ, 連れて行く : kerekepul taarile erpejepul and'epki *ejref-nul'elñaa* odolpegele kudedin コリヤークとエウエンの首長たちは (人々を) 行かせた, ユカギールを殺すために [2-034-06~07].

◇ **önme ejref-** 考える : önmelek *ejrefnul'elmele* čuöte 彼女はいつも考えていた [1-022-03].

◇ **čunze ejref-** 考える : xaaxaa, tet čunze el *ejreflek* おじいさん, お前は考えるな [1-

056-12~13].

**ejte-** 【他動詞】当てる, ぶつける: *tabunge imičume jovomut kukkiidiegele porle pajm, losilge ejtem* すると, 白鳥は怒って, アオカケスを蹴った, 火の中に投げこんだ [1-030-12~13].

◇ **önmege ejte-** 思い出す: *čuöte önmege ejtenul'elum pulut monodeejele "joloꝛude el end'ilek"* (彼は) いつも思い出していた, 老人が「振り返るな」と言ったことを [1-094-29~30].

**ejuu-, (ajuu-, jie-)** 【自動詞】命中する, ~の上に落ちる, 降る: *tan momufaa, juukedie lukilpegi pongube n'ugerejin, joojin ejuuji* その鯉(?) とカワカマスの矢はキジバシオオライチョウの脇腹と頭に命中した [1-032-09~10] / *pukel'e jies'* 雪が降った [2-012-35] / *menmegejdelle, tude terike budie jies'* (彼は) 飛び跳ねて, 自分の妻の上に乗った [2-030-31~32].

**ejuute-** 【他動詞】当てる, ぶつける: *peffejdege, tintaj touke aꝛa budie ejuutedege, losiljoon kudej* (彼が食べ物) を投げると, (食べ物) をその犬の口に当てると, (食べ物) は火になった [1-080-34~35].

**eksil** ⇒ *eksil'*.

**eksil', (eksil)** 【名詞】三枚の板でできた舟.

**el'ed'iejf-** 【他動詞】滅ぼす.

**el'ed'oo-** 【自動詞】滅ぶ: *met uörpe xodit el'ed'ooꝛi?* 私の子供たちはなぜいなくなったのだろうか? [1-058-24].

**el'ed'oof-** 【他動詞】滅ぼす: *foromo ed'ul el'ed'oof'tin kies'oon ood'ek* 人の命を滅ぼすために (お前は) 来たのだ [2-028-14].

**el'ie-** 【他動詞】運ぶ: *tabungele numeꝛin el'ieꝛam* (彼らは) それを家へ運んで来た [1-076-23].

**el'ii-** 【他動詞】運ぶ: *terikiedie čuöte ununget ooꝛiik el'iimele* 妻はいつも川から水を運んだ [1-078-03~04].

**el** 【前倚辞】否定 (否定文の動詞は否定法の人称接辞 (自動詞の人称接辞と同形, 3人称単数ではゼロとなる) をとる。また禁止文 (「~するな」) では禁止法 (2人称単数 *-lek*, 2人称複数 *-ꝛilek*) の人称接辞をとる): *tintaj legulget paabaagi legum. emd'egi el lej* その食物を姉は食べた, 妹は食べなかった [1-082-24~25] / *tudin uꝛꝛoo el tadiilek!* 彼に銃をやらなくてくれ [1-042-27].

**elenn'e-\*** 【自動詞】怠惰な: *elenn'eꝛ foromok* (彼は) 怠惰な人だ [AG021017].

**el l'e** ⇒ *el l'ee*.

**el l'ee, (el l'e)** いいえ: *epiegi moni: "idek, idek, idek, el keꝛteje, feꝛteꝛteꝛek!" "el l'ee, el*

fejrejteje”, – moni čolworaadie おばあさんは言った「だめだめ、やらないよ、(お前は) 逃げてしまおうだろう!」, 「いいや、逃げないよ」とウサギは言った [1-050-10~11].

**elil** 【名詞】荷袋.

**elite-** 【他動詞】積む, 取り付ける: tamunge tude ninbaa minmele, tabudek tude laxon pieriipoon *elitemle* すると(彼女は) 自分の裁縫用の板をとった, それを自分の尾羽としてつけた [1-034-02].

**embe-** 【自動詞】黒い: fajde, sis'kedin, krieste *embej*, pojnej čavataile čavataal'elum (彼は) 横に, 縦に, 十字に, 黒と白の染料で塗った [1-028-10~11].

**embumu-** 【自動詞】黒くなる: *embumul'eld'e. taat ŋoogen* (私は) 黒くなった, このままにしておけ [1-028-18].

**emd'e** 【名詞】弟, 妹.

**emd'ooltaŋ** 【名詞】兄弟の中で年齢が下の者.

**emej** 【名詞】母.

**emes'ke** 【副詞】突然: aaj taat legul aat ejredege tintan ŋoromo *emes'ke* ŋöktelle, tintan marxil'gele nugendeget mid'ut moni (娘が) 食べ物をつくって歩き回っている最中に, その人が突然入って来て, その娘の腕をつかんで言った [1-068-28~29].

**emi-** 【自動詞】暗い, 黒い: pen *emis'* 暗くなった [2-044-20] / poŋgube čumu pojnej *emid'e* ŋöriilen'i ... キジバシオオライチョウは全体に白と黒の模様がついている... [1-032-11~12].

**emid'en'-** 【自動詞】黒い: lunbuge molwo ŋarek *emid'en'ul* 鍋の中に何か黒いものがあった [1-118-19].

**emidej-** 【自動詞】《完了》暗くなる: pen *emides'* 暗くなった [1-094-38].

**emie** 【名詞】母.

**emil<sup>1</sup>** 【名詞】夜中: kebejdelle, ŋorwieje, ŋorwiedelle, *emilŋoot* kudej, emilŋoot kudedege, siile ulumuj (私は) 行くと道に迷った, 道に迷うと夜になった, 夜になると力が尽きた [2-040-16~18].

**emil<sup>2</sup>** 【自動詞】泊まる: ataxlid'e *emildelle*, xontiili 二晩泊まってから行こう [1-096-37].

**emilme** 【副詞】夜中に: *emilme* ködin aatej basar 夜中には(私たちは) うまく作れるかもしれない [1-024-13~14].

**emis'e** 【名詞】暗闇: *emis'elek* taa, irkin aŋd'e ködinmejtej (あそこは) 暗闇だ, 目が1つで丁度良いだろう [1-096-15].

**emledej-\*** 【他動詞】抱きつく: tudel metkele emledej 彼は私に抱きついた [AG021019].

**emtede-** 【他動詞】治療する; < (Y): taat *emtedel'elŋaa*, omolbaal'el そして(彼女は) 治療され, 治った [2-048-12].



- ▷ **emtedej**<sup>-1</sup> 《完了》: met aaj joul'eje, metul *emtedejk* 私も病気だ, 私を治療してくれ [1-076-17~18].
- emtedej**<sup>-2</sup> 【自動詞】《完了》治療する: met joul'et me *emtedejs'e* 私は病気で治療している [1-076-16~17].
- emul** 【名詞】島.
- en'** ⇒ **ed'**.
- en'd'e-**, (**end'e-**) 【他動詞】育てる: tet n'aas'e kunn'egen, foromo tetkele *en'd'egen* お前の顔を汚くしておけ, 人間がお前を育てるように [1-044-35~36] / čolxoraadiegele uõgpoon *end'egaa* (彼らは) ウサギを子供として育てていた [1-052-20~21].
- en-** ⇒ **ed'**.
- end'e-** ⇒ **en'd'e-**.
- end'oon** 【名詞】1) 動物, 獣: *end'oon n'eleme ojl'e* 動物は何もいなかった [1-094-21].  
2) 生きるもの: xajide met jaxatem nasiile *end'oon* どこへ私が行けるものか, やつとのことで生きているものが [1-032-29].
- endii**\* 【他動詞】大切にする: tet emej *endiik* あなたのお母さんを大切にきなさい [AG021015].
- ennume** 【副詞】はじめに.
- epie** 【名詞】祖母.
- erberej**\* 【他動詞】(木を) 挽く.
- erbinie**\* 【名詞】ナナカマド; < рябина (R).
- erčoon** 【名詞】悪いこと, 悪いもの: tet tii *erčoon aadin kies'ek* お前はここに悪事をはたらくために来たのだな [2-028-12].
- erd'ie-**, (**erid'ie-**, **erd'ii-**) 【自動詞】～したい: čuõte juõdin tetul met *erd'ieje* いつもお前に私は会いたい [2-052-09] / xorobo, xorobo, metke uõzool *erd'iej*. met uõzooeteje 牛よ, 私は眠い, 私は眠るだろう [1-086-12~13].
- erd'ii**\* ⇒ **erd'ie-**.
- erd'uore**\* 【他動詞】欲しい, 欲しがらる: tudel lemdik *erd'uoreml*? 彼は何を欲しがっているのか? [AG020522].
- ere** 【後倚辞】1) 疑問詞のあとに置いて, 不定(「～か」)の意味にする: taŋ kiejool čomoolben xodimie *ere molbis'eplek l'ejil meluttegen*, ... 先頭のオオシカには何か節のようなものが胸のところにあった [2-004-28~29].  
⇒ *xamunere*, *xaninere*.
- 2) ～も, ～だけ(先行する語を強調する): met toukelek *ere pajteme*, metkele uufejeejne 私は犬だけを殴ってやる, (犬が) 私を邪魔するなら [1-042-24~25].

**erel'ef-** 【他動詞】広げる : *aḡadeejle určilele erel'efum, nuōjoon tite* (彼は彼女の) 口を木切れで広げた, 笑っているかのように [1-054-09].

**eri** ⇒ *eruu-*.

**erid'ie-** ⇒ *erd'ie-*.

**erie-** 【他動詞】嫌がる : *tabungele el uuḡaa eriet* (彼は) それに触らなかった, 嫌がって [2-022-34].

**eris'** 【副詞】悪く, ひどく, 下手に : *jerčebaale čemedejdelle, xaviel parnaagele jōrileḡut eris' jōrileḡum* アヒルを (色を塗り) 終えて, アビはカラスに色を塗ったが, へたくそに色を塗った [1-028-09~10].

**erpeje** 【名詞】エウエン : *erpejepul midoopegi* エウエンたちの移動した跡だった [2-044-36].

**erulbe-** ⇒ *erulbe-*.

**eruu-**, (**eri-**) 【自動詞】悪い, 粗末だ : *igluḡe, met n'ier naḡaa eris'* 恐ろしい, 私の服はとても粗末だ [1-056-11~12].

**erulbe-**, (**erulbe-**) 【自動詞】悪くなる : *pengi eruulbel* (私は) 気分が悪くなった [2-050-11].

**es'kerii-** 【他動詞】襲う.

**esie** 【名詞】父.

**etergen** 【名詞】蟻.

## 9

**gin** 【固有名詞】ギン : *jaan n'emd'edie modol'elḡi, čumut terikell'elḡi. čomooltaḡpegi n'uugi lopčō, ōrd'ooltaḡ n'uugi loḡija, emd'ooltaḡpegi – gin* 2人の兄弟が住んでいた, 全員に妻がいた, 一番年上の者の名はロプチヨ, 真ん中の者の名はロシヤ, 一番年下の者の名はギンだった [1-070-02~04].

**golova** 【名詞】長老 ; < голова (R) .

**gornataa** 【名詞】オコジョ ; < горноста́й (R) : *tabunge gornataa moni* すると, オコジョが言った [1-050-33].

**gorod** 【名詞】町 ; < город (R) .

**gude-**, (**kude-**) 【自動詞】なる, 起こる : *pulundie uōḡood'e adilḡoot kudej*. おじいさんは若者になった [1-056-22] / *potopḡoot gudedege, noj, xodo monoopede tite, aam* 洪水が起こると, ノアは (彼らの) 言ったようにした [1-036-30] / *xodit tabun taat gude?* な

ぜ、それはそうなったのだろうか [2-004-13] / jaan n'emolxilhooot *gudej*, mit kimd'iilool  
私たちは3年間戦っている [1-110-15].

▷ **guduj-**《反復》: bjučjunbenget *gudujde tude čuge avites'ut*, tabunge nugunude xanjinum  
(若いシャマンは) 様々なものに変身しては彼(年老いたシャマン)の道を隠し、そし  
て見つけては追いかけた [2-022-18~19].

**gudel'e-**【自動詞】準備する、~しようとする: d'e, taat kebes' tanj aduögi *gudel'elle*,  
ununpegen, pien'ej miestepulgen, jalxiln'ej miestepulgen その若者は準備をして、山のある  
ところを、湖のあるところを行った [1-072-10~11] / petr berbekin *fejrejdin gudel'enuj*  
ピョートル・ベルベキンは逃げようとした [1-104-32].

▷ **gudel'ej-**《完了》: *gudel'ejk, tet mino juönuk, nemdik ajii uujootel, nemdik nadonool?*  
準備しろ、お前の筏を見ろ、何がさらになされるべきか、何が必要か [1-036-20~21].

**guduj-** ⇒ **gude-**.

**gul'aj-\***【自動詞】散歩する; < гулять (R).

## i

**ibier\***【名詞】炬.

**ibil'e-**【自動詞】泣く: tabunjin emejpegi *ibil'et ansiit avurpej* そのため母親は泣いて(子  
供たちを)探して苦しんだ [1-048-20~21].

**ibiligie\***【名詞】ミミズク(ロシア語で совка, сова).

**ibife-\***【自動詞】乳を吸う: tudel *ibifej* 彼はおっぱいを吸っている [AG020522].

**ibife-\***【他動詞】(乳を)吸う: tudel *ibijiile ibifem* 彼はおっぱいを吸っている [AG020522].

**ibifef-**【他動詞】乳を吸わせる: tude pulutek *ibifefmele* (彼女は)自分の夫に乳を吸わ  
せた [2-038-06].

**ibifii**【名詞】乳房, 乳.

**ibol**【名詞】丘.

**ičcena**【名詞】壁; < стена (R).

**ičii l'elle** すぐに: *ičii l'elle tude jekečan mindelle, ooziinjin subezej* すぐに(彼女は)自分  
の鍋をつかんで、水辺へ走った [1-118-05~06].

**id'ej-**【他動詞】計る: xadmudule samyj tudel *fajxulge id'ejt uujaajjaa pulutn'e* 指輪を自  
分自身の指で計って作った、おじいさんと一緒に [1-024-02~03].

**id'ejbe**【名詞】銃の測定器: terikee, uzoo *id'ejbege jaxaj duu?* ばあさん、銃は正しく狙  
われているかい(測定器に達しているかい) [2-028-32~33].

**id'ii** 【副詞】今, 今度 : taat *id'ii* lemdik kifsetul? では, 今度は何を (私たちは) 見せようか [2-024-25~26].

**idek** 【間投詞】だめだ! : *idek, idek, idek, el kejteje, fejrejtejek!* だめだめ, やらないよ, (お前は) 逃げてしまうだろう [1-050-10].

**igeje** 【名詞】紐.

**igejef-** 【他動詞】紐をかける : *uöreptie, jax, ukejdelle xaaxaanin tit xorobo igejefstelle, tadiinjik* 子供たちよ, そら, 出て行っておじいさんにお前たちの牛に紐をかけて, 渡しなさい [1-084-33~34].

**igie-** 【自動詞】(罨に) かかる : *nonoldege irkin xan'ilek igiel'elul* (彼の) 罨に1羽のワシがかかった [1-062-32].

▷ **igoo-** (罨に) かかっている : *čolʔoraadie taa igooj* ウサギがそこにかかっていた [1-052-17~18].

**iiče\*** ⇒ *iis'e*.

**iičejdamun\*** 【名詞】肘.

**ijjuu-\*** ⇒ *jou-*.

**iid'ien** 【後置詞】~そのものに : taat *jubed'e iid'ien čovojoje kiget kudedem* そして (彼は) 心臓を直接ナイフで刺して殺した [1-076-19~20].

**iide-<sup>1</sup>** 【他動詞】(罨に) 捕える : *čolʔoraadiegele taa fajilge iidem* (彼は) ウサギをその罨に捕えた [1-054-26].

▷ **ikčii-, iksii-**《反復》 : *pod'erxo ileklood'e karas'ek iksinumle* (彼は) 1日に4匹ずつフナを捕まえた [1-082-06].

**iide-<sup>2</sup>** 【他動詞】縫う : *kazdyj foromojin unmunde moʔole iidepigen* 各人に耳のついた帽子を縫わせなさい [2-020-15].

**iile** 【代名詞】ある, 一方の : *iile omnii legitenul'eṅaa, iile legulpegi ojl'et el legitenul'elṅi* ある人々は (彼に) 食べ物をやった, ある人々は食べ物がなく, (彼に) 食べ物をやらなかった [1-020-06~07].

**iilemede** 【副詞】ときどき.

**iiluge-joo** 【間投詞】恐ろしい!

**iiluu-** 【自動詞】美しい, 可愛い : *met iiluul, jouluul marxil', xanin tetul juöteme?* 私の可愛い, 愛しい娘よ, いつお前に会えるだろうか [2-052-17].

**iis'** 【副詞】長い間 : taat *jaxtet mododege, iis' jaxtej* そのように (彼女は) 歌いながら座っていて, 長い間歌った [2-016-23~24].

**iis'e, (iiče)** 【名詞】1) 先端, (木の) てっぺん : *ejredege faal iis'ege örulek meduul* (彼が) 歩いていると, 木のてっぺんで叫び声が聞こえた [1-084-05~06].

2) チョウザメ (ocērp).

**ikčii-** ⇒ **iide**<sup>-1</sup>.

**ikl'oo-** 【自動詞】固い : *ikl'ood'e čuul* 固い肉 [AG970800].

**iksii-** ⇒ **iide**<sup>-1</sup>.

**il'ci-\*** 【自動詞】しゃっくりする.

**il'de-**, (**il'ed'ie-**) 【自動詞】罵る, 言い争う : *tamunge parnaa jojomuj, xabieln'e il'deji, taat kimd'ieji* するとカラスは怒って, アビと言い争った, そして喧嘩をはじめた [1-028-11~12].

**il'ed'ie-** ⇒ **il'de-**.

**il'tie-** 【他動詞】叱る : *jouluge el il'tienulek* 可哀想に, (彼女を) 叱るな [1-068-34].

**ileje** 【名詞】風.

**ilejedej-** 【自動詞】《完了》風が吹く : *taat ilejedes'* すると, 風が吹いた [1-116-18].

**ileklefki** 【数詞】第4 : *taat ileklefki uk'es'* そうして4人目が出て行った [1-058-22~23].

**ilekloo-** 【自動詞】4 (である) : *xondelle, jaxadelle, juöm – tin čomoolben kiejool nojpegi ileklooj* (彼は) 行って, 着いて, 見た, そのオオシカの前脚は4本だった [2-004-37~38].

**ilekun**, (**ilukun**) 【数詞】4 : *ilekun uön'ej* (彼には) 4人の子供がいた [1-086-30].

**ill'aaj-** ⇒ **ill'aj-**.

**ill'aj-**, (**ill'aaj-**) 【他動詞】《完了》切り裂く : *aasiidelle, čomoolben irigele ill'ajm* (彼はナイフを) とり出して, オオシカの腹を切り裂いた [1-116-23].

**ill'e** 【自動詞】新しい (形動詞形として用いられる) : *tañ ejret, tañ bogatyj foromo d'e ill'ed uzoek mojmele, vinčesterek* (狩りに) 行ったとき, その金持ちは新しい銃を持っていた, ウィンチェスター銃だった [2-040-01~02].

**ill'oo-** 【自動詞】新しい : *xadunget foromo tii jaxaj, ill'ooj foromo bojs'e ood'ek tet* どこから人間がここに来たのだ, お前はまったく見たことのない人間だ [1-094-38~39].

**ilukun** ⇒ **ilekun**.

**imaa-** 【自動詞】乗る : *uöreptie, met budie imaanjik* 子供たちよ, 私の上に乗きなさい [1-078-29].

**imde-** 【他動詞】乗せる : *pulundiegele tude budien imdelle, taat köudejm* (彼は) おじいさんを自分の上に乗せて, そして運んだ [1-056-13~14].

**ime-** 【自動詞】乗っている : *d'e met tetke imet ejretče* よし, 私はお前に乗って行こう [1-102-29].

**imičume** 【名詞】ハクチョウ (лебедь).

**imgidiiče\*** 【名詞】腸.

**imie-** 【他動詞】乗せている：mied'iige anilek *imiel'elmele* (彼は) 櫓に魚を乗せていた [1-062-03].

**imil** 【名詞】首.

**immu-** 【自動詞】酔う：tadiidelle, tudel *immutej* (樽を) やると、彼は酔うだろう [2-014-12].

**imo-** 【自動詞】乗っている：juödege – puddege farek *imol* 見ると、その上に何かに乗っていた [2-004-29~30].

**imol\*** 【名詞】乗降用トナカイ.

**inabali-\*** 【自動詞】嫌な、不快な.

**inabalugii-\*** 【他動詞】嫌う、嫌悪する：tudel metkele *inabalugiim* 彼は私を嫌っている [AG970800].

**ijd'e-** 【自動詞】縫物をする：terikiedie *ijd'et modoj* おばあさんは縫物をしながら座っていた [1-050-08].

**ijd'ii** 【名詞】1) 躰：nojle *ijd'iipedeejle čounul'eljaa* (彼は) 足の躰を切られた [1-096-14].

2) 力：tetke el jaxujii *ijd'ii* お前には力が足りない [1-110-20~21].

3) 糸.

**ijd'ii činčedie** 【名詞】力：met *ijd'ii činčedie ulumuj* 私は力が尽きた [1-096-25].

**ijd'irgii\*** 【名詞】針、糸、指貫などの裁縫道具を入れるための小袋.

**ijer** 【副詞】別にして：d'e tabungele omol igejepulgele *ijer faxal'afum* その良い縄を別に集めた [2-030-25].

**ijeren** 【副詞】別にして.

**ijerte-** 【他動詞】掘る：tudel örd'ool lebie aalbedek *ijertemle*, örd'ool lebie čerufedin 彼は中間の土地の下を掘った、中間の土地を沈めるために [1-110-31~32] / *uŋgoonjik uön'e*, met nuubelek *ijerteiime* 眠っていなさい、子供と一緒に私は根を掘りに行く [2-030-02~03].

**ijerted'e-\*** 【自動詞】掘る.

**iji-** ⇒ **ijii-**.

**ijii-**, (**iji-**) 【他動詞】恐れる：tet lemdik *ijiime lebie budie?* お前は何が地上で恐いのか [1-104-20~21].

**ijl'i-** ⇒ **ijluu-**.

**ijl'ii-<sup>1</sup>** 【他動詞】1) 脅かす：čuul'd'ii pulut metn'e man'iit, jin'el'e aadelle, foromole *ijl'iit uldem* おとぎの老人は (私を) 畏に変えて、私と一緒に (人間を) おびき寄せて、人間を脅かして繋いだ [1-086-22~23].

2) 恐れる：kelid'elek elle fare *ijl'iil'eltem* 毛虫であっても何かを恐れるだろう [1-102-33].

**igl'ii-<sup>2</sup>** ⇒ **igluu-**.

**igl'oo-\*** 【自動詞】厚い, 太った.

**iglaa-** 【自動詞】驚く: *meeme iglaaj, taat moni* クマは驚いた, そして言った [1-042-26].

**igluge** 恐しい!: *igluge, met n'ier navaa eris'* 恐ろしい, 私の服はとても粗末だ [1-056-11~12].

**igluu-**, (**igl'i-**, **igl'ii-**) 【自動詞】恐しい: *navaa igluul'el!* とても恐しい! [2-044-10] / *igl'iis'e pajlis'e foromo ool'eld'ek.* お前は恐ろしくてずるがしこい人間だ [1-104-37].

**igroo-\*** ⇒ **ig3oo-**.

**igrood'e\*** ⇒ **ig3ood'e**.

**igruu-\*** ⇒ **ig3uu-**.

**ig3oo-**, (**igroo-**) 【自動詞】眠っている: *d'e taat ig3ooŋi* そして (彼らは) 眠った [2-044-10].

**ig3ood'e**, (**igrood'e**) 【名詞】毛布, 眠り (?): *d'e tude ig3ood'e jorodajdelle, taat adi juöm* (彼女は) 毛布をあけて, こっそり見た [2-044-25~26].

**ig3uu-**, (**igruu-**) 【自動詞】眠る: *taat el leŋde čuön leŋdool'it ig3uul'el* そして, (彼は) 食事せずに, お腹をすかせて眠った [1-020-16~17].

**irdie** 【名詞】(トナカイやオオシカの) 子供: *čomoolben irdie emej nojge xodoot juödej* オオシカの子が母親の足元に横たわって見ている [2-054-30~31].

**irguf-** 【他動詞】穴をあける: *taat tintaj pulundie čovojole irideejle čovut irgufum* そして, そのおじいさんはナイフで腹を切って穴をあけた [1-066-30~31].

**iridie\*** 【名詞】トナカイの仔.

**iril** 【名詞】腹.

▷ **irin'e-**【自動詞】妊娠している.

**irke-** ⇒ **irkie-**.

**irkej-** 【自動詞】《完了》驚く: *taat xonut oll'oodej čomood'e nodo merejdege, irkejt molind'aat el amdenj* こうして (彼らが) 行く途中で, 巨大な大きな鳥が飛びたつと, (彼らは) 驚いてもう少して死にそうになった [1-044-14~15].

**irkid'e**, (**irkind'e**) 【副詞】1) 1度: *irkid'e aadelle, janŋaa* 1度 (彼らは) 作って送った [1-024-03].

2) ある時: *irkid'e pulut moll'el* ある時, 老人は言った [1-024-13].

**irkie-**, (**irke-**) 【自動詞】1 (である): *irkiet jolomuj faxale terike* 1人で残った, キツネのおばあさんは [1-058-23].

**irkil'e** ⇒ **irkill'e**.

**irkill'aan** 【副詞】一緒に: *foromo titten'e irkill'aan modot, xoron'iit legitelge kis'oogi* 人間は彼らと一緒に暮らし, (彼らを) 守り, 食べ物を与えることを教えられた [1-040-29]

~30].

**irkill'e, (irkil'e, irkinl'e)** 【数詞】(いくつかのうちの)ひとつ : met maŋl'uorpeget *irkill'epki* min 私の娘たちの中から1人をとれ [1-054-21] / jouleme leŋdet čemejdelle, *irkinl'epki* moni 夜に食事を終えると、彼らのうちの1人が言った [1-070-06].

◇ **irkinl'ege** 一緒に : taa *irkinl'ege* amunpen'e petr berbekingele pude peŋŋejm そこで、骨と一緒にピョートル・バルベキンを外へ投げた [1-100-38~1-102-01].

◇ **irkill'egoon** 一緒に : taŋ oozii keldege, n'atn'uujaa *irkill'egoon* ŋögi その水が流れて来ると、カワメンタイと一緒に入って来た [2-024-18~19].

**irkill'en** 【副詞】一緒に : tii tittel amdelle, amunpegi tii pon'oonuj, a dux, aŋbiipegi *irkill'en* modonji ここで彼らが死ぬと、その骨はここに残る、そして魂、彼らの影と一緒に暮らしている [2-014-24~25].

**irkin** 【数詞】1) 1 : *irkin* pajpe, *irkin* köjpe ool'elji 1人の女の子, 1人の男の子がいた [1-048-15~16] / jaan foromo ataxlool luusiipelek, *irkin* jaxalek, perevodčikek 3人の人の2人はロシア人, 1人はヤクートの通訳だった。 [2-024-21].

2) 一方の, ある : d'e taat *irkin* paraage tudel xoni そしてあるとき, 彼は行った [1-106-10].

▷ **irkinde** *irkin* の強調 : *irkinde* foromo el nuuje, čumut unmun'eni! 1人の人間も(私は)見つけることができない, みな角がついている! [2-020-18~19].

**irkin kunil' kunil'eŋte** 【数詞】第100 : *kunil' kunil'eŋte* meemeek nukteme (私は) 100頭目のクマを見つけた [1-026-14~15].

**irkind'e** ⇒ *irkid'e*.

**irkinl'e** ⇒ *irkill'e*.

**irkufej-** 【他動詞】《完了》驚かす : foromole *irkufejt* kudesiitum (彼は)人間を驚かせて, 殺してしまうだろう [1-044-17].

**irkuže-\*** 【自動詞】震える : tudel jarxaat *irkužej* 彼は凍えて震えている [AG030825].

**is'kom, (ifkom)** 【副詞】いつも, 始終, ずっと : *is'kom* ŋovienunnuj (彼は)始終, 道に迷っていた [2-032-14] / taat unŋuunidege, toukepki *ifkom* me ojd'ej そして(彼らが)眠ったとき, (彼らの)犬はずっと吠えていた [2-044-07].

**isii** 【名詞】男性器 : titte *isii* mojt oŋooŋi (彼らは)自分の性器を持って立っていた [2-026-10].

**iskot** 【名詞】家畜 ; < скот (R) : *iskotpegi* kuriepedege el xonnu, taat ningej. 彼の家畜は彼の柵の中に入りきらなかった, それほど多かった [1-056-33].

**ismier** 【名詞】死 ; < смерть (R) : kie tebegej, xadi *ismierge* amdool'd'ek? 友よ, テベゲイよ, (お前は)どんな死に方で死にたいのか? [1-088-20].



**ispiir** 【名詞】アルコール；< спирт (R) : metin tet *ispiir* kesiik. irkin bočka *ispiir* kesiik  
私にお前は酒を持ってこい，酒を一樽持ってこい [2-012-20~21].

**ispor** 【名詞】議論，喧嘩；< спор (R).

**ispordo-** 【自動詞】議論する，喧嘩する：davaĵ, -moni, -*ispordosiili* さあ，議論しよう，  
と（彼は）言った [2-040-08].

**isto** 【数詞】100；< сто (R) : irkin alme *isto* n'emolviĵge modoj 1人のシャマンが1  
00年間暮らしていた [2-018-26].

**ifkom** ⇒ *is'kom*.

**izilbe<sup>1</sup>**, (*izulbe*) 【名詞】疲れ.

◇ **izilbe köude-** ⇒ *köude-*.

◇ **izilbe köpĉii-** ⇒ *köpĉii-*.

**izilbe-<sup>2</sup>** 【自動詞】疲れる：met juuket kies'e, *izilbeje* 私は遠くから来た，疲れた [2-028-02  
~03].

**izulbe** ⇒ *izilbe<sup>1</sup>*.

## j

**jaalmefki** 【数詞】第3：*jaalmefki* taat tottooj 3つ目はくっついている [1-106-30~31].

**jaalmefste**, (**jaanmefste**) 【数詞】第3：*jaalmefste* maŋ'uögi uk'es'. 3人目の娘が出て行っ  
た [1-058-21] / d'e, *jaanmefstele* aaj kelgek そら，三つ目も持って来い [2-014-05].

**jaalmid'e** 【副詞】3度：*jaalmid'e* kruzĵage abutem （彼は）3度カップに注いだ [2-012-26  
~27].

**jaaloo-** 【数詞】3（である）：*jaaloot* jolomuĵi （彼らは）3人で残った [1-058-17].

**jaan** 【数詞】3：*jaan* uön'ej omniik modol'elĵil 3人の子供をもつ人々が暮らしていた  
[1-074-20].

**jaanmefste** ⇒ *jaalmefste*.

**jad-**, (**jal-**, **jan-**, **l'al-**, **l'an-**) 【他動詞】送る：tabun tetin moni, keĵl'ood'e omos'e n'iergele  
*jangen* 彼はお前に乾いた良い衣服を送るようにと言った [1-056-19~20] / metkele  
kerekepul taajle erpejepul aĵsiidin *jannum* （彼は）私をコリヤークとエウエンを探すた  
めに送った [2-034-25].

**jaĵadaj-** ⇒ *jaĵide-*.

**jaĵid'e\*** 【名詞】杖.

**jaĵid'ii-** ⇒ *jaĵide-*.

**javide-** 【他動詞】裁つ : taŋ xaargele *javidelle*, tude nume jootejmele (彼は) その皮を裁断して, 自分の家を囲んだ [1-112-21~22].

▷ **javadaj-** 《完了》.

▷ **javid'ii-** 《反復?》 裁つ : xaar mindelle, *javid'iim* (彼は) 皮を手にとって裁断した [1-112-21].

**javil** 【名詞】 1) 岸 : mit *javil javilgin xontiili*, taa uujaatej 私たちは湖の岸へ行こう, ここで作ろう [1-024-14].

2) 縁, 端 : losil *javilge mododege*, n'umud'iile jowoge pajm (彼が) 炉の端に座っていると, 斧で背中を殴った [2-014-15] / ukejnidege, pulundie tintaj lunbuge *javilge jaxtaaj* (彼女たちが) 出て行くと, おじいさんはその鍋の縁で歌いはじめた [1-068-04~05].

**javče** 【名詞】 卵 ; <яйцо (R).

**jajvadaj-** 【他動詞】 《完了》 裁つ : taŋ paj iis' el l'e tude kutiegele mindelle, *jajvadajm*, örd'oodegen *jajvadajm* その女は少しすると, 自分の住居の覆いを手にとって断った, 真ん中から裂いた [1-032-32~33].

**jal-** ⇒ **jad-**.

**jalvil** 【名詞】 1) 湖 : irkin *jalvilge* ningej omniik ed'ut madaal'elñil ある湖のそばに多くの人々が暮らしていた [1-020-03~04].

2) (シャマンの) 太鼓 : tude *jalvil* mindelle, taat pajtem (彼は) 自分の太鼓を手にとり, そして叩いた [1-030-18].

**jalvin'e-** 【自動詞】 (シャマンが) 儀式を行なう : mojolupkaa alme ool'el, jowomulle, taat *jalvin'aal'el* 梟はシャマンだった, 怒ってそして儀式を行なった [1-030-17].

**jalvin'erii-** 【他動詞】 (シャマンが) ~に対して儀式を行なう : metul *jalvin'eriik*. amdelnjin me l'eje 私に儀式を行なってくれ, (私は) 死にそうだ [1-060-20].

**jamul** 【名詞】 上流 : pen pod'erxottege, jurgud'ieje el'ed'ooge, unuŋ *jamulge jaxaŋi* 夜が明けると, 星が消えると, (彼らは) 川の上流へ着いた [1-070-26~27].

**jan-** ⇒ **jad-**.

**janid'e\*** 【名詞】 出汁, ブイヨン.

**janre\*** ⇒ **janze**.

**janze, (janre)** 【名詞】 雁.

**jara-** 【自動詞】 泳ぐ : iril molvo taat ejrefstege, ooziigen *jaradege* – arouje *amladajm* (ネズミが藁を) 腹の中に入れて運び, 水の中を泳いでいる時にコクチマスが (ネズミを) 飲みこんだ [1-048-04~05].

**jarxa, (jarxe)** 【名詞】 氷.

**jarxe<sup>1</sup>** ⇒ **jarxa**.

**jarxe**<sup>-2</sup> 【自動詞】凍る, 凍える : *čied'ege ejret jarxedelle pugese'ege jonzoot ed'iel'el* (彼女は) 寒さの中を歩いて凍え, 暖かいところで眠って生き返った [1-024-34].

▷ **jarxaj**-《完了》: *taat subeziej, keldege tuisn'el oozjiige jarxajl'el* そして(彼は) 走り出した, (彼は) 来ると, 籠と一緒に水に凍りついた [1-090-12].

▷ **jarxuj**-《反復》.

**jarxantibo**\* 【名詞】雹.

**jarxore**- 【他動詞】凍らせる : *tabungele ugutejdelle, pude jarxorem* (彼は) それを出して, 外で凍らせた [1-054-08~09].

**jarxuj**- ⇒ **jarxe**<sup>-2</sup>.

**jax** 【間投詞】そら, ほら.

**jaxa**- 【自動詞】到着する, 達する, 届く : *pen pod'eroxottege, jurgud'ieje el'ed'ooge, unuj jamulge jaxaji* 夜が明けると, 星が消えると, (彼らは) 川の上流へ着いた [1-070-26~27] / *irkin taatmie emilge mend'elek jaxal* あるそのような夜に知らせが届いた [1-024-22].

◇ **önmege jaxa**- 思い出す : *önmege jaxatej, nojpoon ejret tet jonzool* (あなたは) 思い出すだろう, どうしてあなたが行く途中で忘れたのかを [2-052-32].

▷ **jaxujii**-《反復》: *tetke el jaxujii in'd'ii* お前には力が足りない [1-110-20~21].

**jaxadaas'e** 【名詞】馬.

**jaxal** 【名詞】ヤクート人 : *jaan foromo ataxlool luusiipelek, irkin jaxalek, perevodčikek* 3人の人の2人はロシア人, 1人はヤクートの通訳だった。 [2-024-21].

**jaxlegude** ⇒ **jaxlugude**.

**jaxlude** 【副詞】後ろに, 元来た方に : *tittel kebejni jaxlude* 彼らは引き返した [1-044-32~33].

**jaxlugude, (jaxlegude)** 【副詞】後ろに, 元来た方に : *tii ojl'e, jaxlugude kebejl'el* ここに(彼は) いない, 引き返したようだ [1-044-32].

**jaxte**<sup>1</sup> 【名詞】歌 : *xodo omos'e jaxte tuön!* なんて素晴らしい歌だ, これは! [1-070-18].

**jaxte**<sup>-2</sup> 【自動詞】歌う : *met juöt, kintek jaxtel?* 私は見よう, 誰が歌っているのか [2-010-22].

**jaxte**<sup>-3</sup> ⇒ **joxte**-.

**jaxtejool** 【名詞】歌い手.

**jaxterii**- 【他動詞】~について歌う : *jaxtet d'e tij marxil' musinbengele, čumu jaxteriim* 歌ったとき, この娘は様々なことを全て歌った [2-016-25~26].

**jaxujii**- ⇒ **jaxa**-.

**jed-, (jede-, jedi-, jen-)** 【自動詞】見える, 現われる : *tottuuloogi id'ii jennuj ataxun tuis mojt* (彼女が月に) くっついているのが今, 見える, 籠を二つ持って [1-022-12].

▷ **jedej-**《完了》: irkin foromoge tudaaj jedejil'el lebien pugil' ある人のところに、かつて、土地の主が現れた [2-012-19].

**jede-** ⇒ jed-.

**jedi-** ⇒ jed-.

**jedie** 【名詞】叔母.

**jedugude** 【副詞】反対の方向へ、別の方向へ: mino ejmunde end'oonn'et *jedugude* kebes' 筏の半分は動物といっしょに反対の方向へ行った [1-036-35~36].

**jedul** 【名詞】雷.

**jedutej-** 【他動詞】《完了》 見せる: taat xodoodege taj jaxadaas'e tude ulegele nojle kerpet xristoskele *jedutejm* そうして (キリストが干し草の中に) 横たわっていると、その馬は彼の干し草を足で振り払ってキリストが見えるようにした [1-044-24~25].

**jeduu-** 【自動詞】見える、現われる: terikee, met prodanjil'ge navaa omos'e pajk *jeduul* 妻よ、私の氷の穴にとっても美しい女が現れた [2-032-26].

**jekečan** 【名詞】小さな釜.

**jekl'ie** ⇒ jeklie.

**jekl'ien** ⇒ jeklien.

**jekl'iet** ⇒ jekliet.

**jeklaa** 【副詞】さらに向こうへ、さらに遠くへ: čerejdelle xollume, oozigi aaciitem, *jeklaa* xontej, lebie jedejtej (中間の土地が) 沈むとすぐに水が引くだろう、(水は) さらに遠くへ行くだろう、地面が現れるだろう [1-036-26~27].

**jeklie, (jekl'ie)** 【後置詞】~の向こうで、~の向こうに: terikiedie taj toukediegele numenjin kesiidelle, čibal *jeklie* ultem おばあさんはその犬を家に連れて来て、暖炉の向こうに繫いだ [1-068-17~18].

◇ **nume jeklie** 狩りをしに: *nume jeklie* ejrej pooreme (彼は) 春に狩りをしに行った [2-028-20~21].

**jeklien, (jekl'ien)** 【後置詞】~の向こうで、~の向こうに.

◇ **nume jeklien** 狩りをしに: taat *nume jeklien* ejrejidege meeme čuge ningejbedek. そして狩りに行くと、クマの足跡がたくさんあった [2-044-05].

**jekliet, (jekl'iet)** 【後置詞】~の向こうから: taat čibal' *jekliet* irkin bankak antajl すると、暖炉の向こうから缶が答えた [1-078-21~22].

◇ **nume jekliet** 狩りから: *marxil' tudegele čuöte mienunnum, tude kelulgele nume jekliet* 娘は彼をいつも待っていた、彼が狩りから帰って来るのを [2-006-24~25].

**jeklool-** 向こうの、遠くの: *jeklool ambar jorodajk* 向こうの納屋を開けろ [2-014-02~03].

**jeklude** 【副詞】さらに向こうへ、さらに遠くへ : met uguje omnii ansiidin *jeklude* xonteje  
私は明日、人々を探しにさらに遠くへ行く [1-072-24~25].

**jeklugude** 【副詞】さらに向こうへ、さらに遠くへ : tet *jeklugude* el xonlek お前はさらに  
遠くへは行くな [1-072-27].

**jel'd'e-** 【他動詞】むしる : ulegelek *jel'd'enumle*, taat kiel'efum taj ulegele (彼女は) 草  
をむしった、そしてその草を乾かした [2-038-07~08].

**jel'ood'e** 【名詞】太陽.

**jel'ood'edamlujbe** 【名詞】夕日.

**jel'ood'edigeje** 【名詞】日光.

**jel'ood'eduksiibe** 【名詞】朝日.

**jel'ood'edukjinben** 【名詞】朝日.

**jelde-** 【他動詞】むしる : keldelle, tude pugulbie *jeldemle* (そのカモは) やって来て、自  
分の羽毛をむしった [2-040-23].

**jen-** ⇒ **jed-**.

**jerčebaa** 【名詞】アヒルの一種 (ロシア語では утка-поганка と訳されている).

**jerd'ii-** 【自動詞】泳ぐ : minoge l'el end'oonpe tii-taa *jerd'iit*, jiezupki juõñile xojlpe 神々  
は筏にいた動物たちがあちこちへ泳いで流れていくのを見た [1-038-09~10].

**jerget\*** 【名詞】アブ (ロシア語で овод).

**jeril'be** 【名詞】ウスリーシロザケに似た魚 (ロシア語で чир と呼ばれる).

**jeroo-\*** 【自動詞】浅い.

**jerxoge-** 【自動詞】動く、身動きする.

**jerxozaaŋ-** 【他動詞】動かす.

**jie-** ⇒ **ejuu-**.

**jied'e** 【名詞】糞.

**jied'en-** 【自動詞】糞のついた.

**jied'et-** 【自動詞】糞をする : čereuroo poŋdele *jied'et* 銀の糞をしろ [1-064-32~33].

**jiedude** 【副詞】間違って? : *jiedude* met aa tet aŋd'e 間違っ私は作ってしまう、お前の  
目を [1-100-11].

**jiedugide** ⇒ **jedugude**.

**jiedugude, (jiedugide)** 【副詞】別の方向へ : taat leŋdool'it, motlorxojt, ejret *jiedugude*  
kebejnul'el, legul ansiit そして (彼は) お腹をすかせて、痩せて歩き、別の方向へ食べ物  
を探しに行った [1-020-17~18] / tinj lebieget *jiedugide* xontetum, xonaastem (オオシカ  
の主はオオシカを) この土地から別の場所へ運ぶだろう、移動させるだろう [2-006-09].

**jieduŋide** 【副詞】別の方向へ.

**jiel'e-** 【自動詞】煮える : *jekečan jiel'ej?* 釜は煮えたか [1-118-11].

**jiell'e** 【名詞】別のもの : *aaj jiell'e amdiigek!* また別のを捕まえろ! [1-084-17].

**jien** 【代名詞】別の : *jien legulek aadelle, tadiimele.* (彼は) 別の食べ物を作って与えた [1-042-11].

**jienben** 【名詞】別のもの : *pude nume arxaa n'eleme ojl'e losil činoolget jienben* 外の家のそばには、割られた薪のほかには何もなかった [1-072-15].

**jier** 【名詞】(川の) 分岐点 : *tij mit unuj ataxsefte jierge čomoolbenpelek l'enjil* その我々の川の二つ目の分岐点にオオシカがいる [2-004-21~22].

**jiezu-** 【自動詞】《反復》流れる, 揺れる : *ejmunde mino ajii potopke ojilmide jiezu* 筏の半分はまだ洪水の流れにしたがって流れていた [1-038-04~05] / *taat miededege, jedul xolilek meduul, numelek jiezul, lebič irkiel met aal* そうして(彼が) 待っていると, 雷の音が聞こえた, 家が揺れた, 地面も(揺れた) 自分の下で [1-094-32~33].

**jodo-** 【他動詞】巻く, 縛る, 包む : *tude jourodariigele jodom* (彼は) 自分の銃の袋を縛った [2-032-23].

▷ **jodaj-** 《完了》.

**jodod'ube** ⇒ **jodod'uube.**

**jodod'uube, (jodud'uube)** 【名詞】リス (ロシア語で белка).

**jodude-** 【自動詞】振り返る : *taa leŋdet jodudej, taasile abudaa* *xristos al'dege* そこで(ブタは) 食べて, 振り返った, そしてキリストのそばに横たわった [1-044-28~29].

**joɤaj-** 【自動詞】《完了》開く : *taat mododege, feŋpedaŋil'gi joɤajl'el* そのように(彼が) 座っていると, ドアが開いた [2-026-30~31].

**joɤo-** ⇒ **n'ovo-**.

**joɤodaj-** 【他動詞】《完了》開ける : *taat uŋzood'ele joɤodajgam* そして(彼らは) 毛布を開けた [2-046-24~25] / *omon juudes', feŋpedaŋil' joɤodajk!* とても煙たくなった, 扉を開けろ! [1-100-28].

**joɤomu-** 【自動詞】怒る : *n'ied'iitče taat aaj joɤomutček* (私は) 話すだろう, すると(お前は) 再び怒るだろう [2-040-06~07].

**joɤoɤ\*** 【名詞】傷, 怪我.

**joɤot-** ⇒ **joɤote<sup>1</sup>.**

**joɤote<sup>1</sup>, (joɤot-)** 【他動詞】開ける : *joɤotet el joɤot n'exodo* (彼女は扉を) 開けようとしたが, どうしても開けられなかった [2-028-10].

**joɤote<sup>2</sup>** ⇒ **joɤoto-**.

**joɤotii** 【名詞】矢.

**joɤoto-, (joɤote-)** 【他動詞】命中させる : *tabunge tintaj pulut n'umud'iile ajiiin'it el joɤoto*

するとその老人は斧を投げつけたが、当たらなかった [1-068-13].

**joɤudied'e\*** 【名詞】鼻水.

**joɤul** 【名詞】鼻.

◇ **joɤul aa-** ⇒ aa-.

◇ **joɤul uuji-** ⇒ uuji-.

◇ **joɤul xoxfoj-** ⇒ xoxfoj-.

**joɤurče** 【名詞】(鳥の)群れ.

**jolaa** 【後置詞】～の後ろで, ～の後ろに: met *jolaa keluk* 私の後ろを来い [1-060-07].

**jolaan** 【後置詞】1) (空間的に)～の後ろで, ～の後ろに: tabun *jolaan irkin terikiedielek nojle kelul* その後を, 1人の老婆が歩いて来た [1-088-27~28].

2) (時間的に)～の後に: *kebejɲide jolaan tintaŋ föjpegi čuul'd'ii pulutɲoon kudej* (彼女らが) 出かけた後に, あの石はおとぎの老人になった [1-082-22~23].

**jolaat** 【後置詞】1) (空間的に)～の後ろから: tet imide čomood'oon, met *jolaat juötemik* お前は首が長い, 私の後ろからでも見えるだろう [1-030-11~12].

2) (時間的に)～の後ろから: *taat monode jolaat kind'e ejuuke gudej* (彼女が) そう言う  
と, 月が近づいてきた [1-022-09~10].

**jollo** 【自動詞】泥.

**jologude** ⇒ **joloɤude**.

**joloɤu** 【名詞?】後ろ: *joloɤu laɲdet irkin foromo el farim* 後ろから1人の人も(彼に)追いつくことができなかった [2-018-06~07].

**joloɤude, (jologude)** 【副詞】元来た方へ: *joloɤude kebej'l'el* (彼は) 引き返した [1-034-24] / *tamungele joloɤude jottejdelle, pulutɲin joloɤude xontem* それを包み返して, 老人のところへ返しに運んだ [1-116-01~02].

**jolomu-** 【自動詞】残る: *irkiet jolomuj faxale terike* 1人で残った, キツネのおばあさんは [1-058-23].

**jomgediis'e** 【名詞】内臓.

**jomil** 【名詞】首.

**joɲɔodo\*** 【名詞】脳.

**jonkičil\*** ⇒ **joonkisil**.

**jonfomor\*** 【名詞】頭頂部.

**joɲis'e** 【名詞】斑点.

**joɲnii-\*** 【他動詞】開けておく.

**joɲomu-** 【自動詞】怒る: *tamunge panna jjoɲomuj, xavieɲn'e il'deɲi, taat kimd'ieɲi* するとカラスは怒って, アビと言い争った, そして喧嘩をはじめた [1-028-11~12].

- joŋ3aa-** 【自動詞】眠る。
- joŋ3aa-** 【他動詞】忘れる : *met čovojo joŋ3aal'eld'e* 私はナイフを忘れた [1-088-24~25].
- joŋ3oo-<sup>1</sup>** 【自動詞】眠っている : *meeme, čugurubie tabunget čied'eme joŋ3ooŋi* クマ, シマリスは, そのため冬に眠る [1-042-15~16].
- joŋ3oo-<sup>2</sup>** ⇒ **joŋ3u-**
- joŋ3u-, (joŋ3oo-)** 【他動詞】忘れる : *čugele joŋ3ul'elum, xadunget tudel ejroolgele* (彼は) 道を忘れた, どこから自分が来たのかを [1-098-14~15].
- joŋ3uu-** 【自動詞】眠る : *xodoot joŋ3uul'el* (彼は) 横たわりながら眠った [1-104-10].
- joo** 【名詞】頭。
- joobii** 【副詞】森で, 岸で : *tudel joobii modol'el, taŋ pulut* 彼は森に住んでいた, その老人は [1-022-27] / *jaalge joobii nodope pieriin'et pon'ool'elŋi* 木の上で, 森の鳥たちは羽毛とともに残った [1-030-19~20] / *taat joobii laŋi aasiim* そうして (彼は) 岸の方へ引っ張った [1-056-16].
- joode-<sup>1</sup>** 【自動詞】遊ぶ, 楽器を演奏する : *tamunpe joodet pod'erxo sis'kin pude juuke ŋubend'iinul'elŋi* 彼らは一日中外で, 遠くで走り回った [1-032-22~23] / *taa garmofkale joodenŋi* そこで (彼らは) アコーディオンを弾いた [1-058-07~08].
- joode-<sup>2</sup>** 【自動詞】回る, 巻きつく, 向きを変える, 戻る : *tabunget tiii l'el ŋoromo čumu čajkadienoot gudel'elŋi, taat merujiil'elŋi joodede* だからここにいる人は皆カモメになる, そして飛んでいる, 回りながら [1-108-35] / *kelid'e-apl'itaj taŋ jaalge aaj joodelle modoj* 芋虫のアプリタイは再びその木に巻きついている [1-104-11] / *tudel ataxlid'e örd'ool lebie laŋin tiit joloŋude joodaal'el* 彼は二度, 中間の土地へここから戻ろうとした [1-108-18~19].
- ▷ **joodaj-, joodej-** 《完了》 : *taat irkejelle, joloŋude joodas'tude čomoolben laŋin* そうして (彼は) 驚いて, 引き返した, 自分のオオシカの方へ [2-004-36~37].
- joodedej-** 【自動詞】《完了》戻る。
- joodeje** 【名詞】玩具。
- joodii\*** 【名詞】玩具。
- joodude-** 【自動詞】回る, 巻きつく, 向きを変える, 戻る。
- joongičil** ⇒ **joonkisil**.
- joonkisil, (jonkičil, joongičil)** 【名詞】額。
- joonokrot** 【名詞】枕。
- joor\*** 【名詞】釣針。
- joos'eraa** 【名詞】泡。
- jootej-** 【他動詞】《完了》囲む, 包む : *taŋ xaargele jaŋidelle, tude nume jootejmele* (彼



は) その皮を裁断して、自分の家を囲んだ [1-112-21~22].

**jorogood'e\*** 【名詞】(獣の) 雌.

**jotte-** 【他動詞】囲む, 包む : taat jiezut noj minogi čomood'e ileje kelut ojilge jottet bojs'e čerefum こうしてノアの筏が流れていくと, 強い風がやって来て, 流れに舞い上げて, すっかり沈めてしまった [1-038-08~09].

▷ **jottej-**《完了》 囲む, 包む : tamungele jolorude jottejdelle, pulutjin jolorude xontem それを包み返して, 老人のところへ返しに運んだ [1-116-01~02].

**jou-, (iijuu-)** 【自動詞】痛い : čomooovote joutej とても痛いだろう [1-098-34].

**jouro** 【名詞】背中.

**jourodarii** 【名詞】銃を入れるための袋.

**jouje** 【名詞】網.

**joul'e-** 【自動詞】病む : met aaj joul'eje, metul emtedejk 私も病気だ, 私を治療してくれ [1-076-17~18].

**joul'ed'e-** ⇒ joulud'e-.

**joul'el** 【名詞】病気.

**joul'eme** ⇒ jouleme.

**joul'etl'e-** 【他動詞】愛する : met joul'etl'eme marxil'gele jarxadan n'uule n'uutiel'eljaa. 私の愛する娘をヤルハダンという名で呼んだ [2-056-17~18].

**joule** 【名詞】夜.

**jouleme, (joul'eme)** 【副詞】夜に : pulundie jouleme kies' おじいさんは夜に来た [2-032-22].

**joules'penben** 【名詞】質問.

**joulos'-** ⇒ joulus'-.

**joulud'aa-** 【自動詞】尋ねる : čumut n'elejdiit, xodit taatmie n'ied'iit, monut, joulud'aat eguzunul'elji (彼らは) 皆知り合いで, なぜこのようになったのか話して, 尋ねて歩いた [2-004-15~16].

**joulud'e-, (joul'ed'e-)** 【自動詞】尋ねる : taat ejret joulud'ej ligeje pulutpeget ... そして (彼は) 行って, 年寄りたちに尋ねた ... [1-094-04].

**jouluge** 【間投詞】可哀想に! : jouluge el il'tienulek 可哀想に, (彼女を) 叱るな [1-068-34].

**joulugiel** 【名詞】肩.

**joulus'-, (joulos'-)** 【他動詞】尋ねる : esiepegi titte uörpegele joulus'jaa 彼らの父親は子供たちについて尋ねた [2-048-08] / joulus'um xojpeget (彼は) 神たちに尋ねた [1-036-23].

**jouluu-** 【自動詞】愛しい : met iiluul, jouluul marxil', xanin tetul juöteme? 私の可愛い,

- 愛しい娘よ、いつお前に会えるだろうか [2-052-17].
- joxte-**, (**jaxte-**) 【他動詞】運ぶ, 連れて行く, 届ける : meemeetaj pajpegele tude modoloode numege *joxtaal'elum* クマはその女をかつて住んでいた家に送り届けた [1-026-06].
- jömče\*** 【名詞】鈴.
- jömge-\*** 【自動詞】回る : xanil *jömget* meruuji ワシが円を描きながら飛んでいる [AG030821].
- jömgedej-** 【他動詞】《完了》囲む : “o-o, – moll'el, – mitkele kerekepul *jömgedej'eljaa*” おお, (彼は) 言った, 私たちをコリヤークたちが囲んだ [1-070-20~21].
- jömgeje\*** 【名詞】渦.
- jömgerii-** 【他動詞】回る : taj paraaget kind'eņoon gudedelle, taat me ejrej, tude jalvil *jömgeriit*, id'ii lebie *jömgeriit* その時から (彼は) 月になって, そして歩いている, 自分の湖を回り, 今度は地面を回り [1-020-21~22].
- jubege-**, (**jubuge-**) 【自動詞】満腹する : el *jubegeņide*, tetek lekte me (私は) もし満腹しなかったら, お前を食べてしまうぞ [1-090-30].
- jubuge-** ⇒ **jubege-**.
- jugi-\*** 【他動詞】キスする.
- juguzu-\*** 【自動詞】互いにキスする.
- jukele** 【名詞】魚の干物.
- jukkučie\*** 【名詞】プヨ (моска).
- jukoo-** 【自動詞】小さい : taa xodoot *jukood'e* anile legut xodoomuj (カワカマスは) そこに横たわり, 小さな魚を食べながら横たわっている [1-046-17] / metkele *jukooluge* čomparnaa uõn jajče legitel'eljaa 私は小さい頃, ワタリガラスの卵を食べさせられた [1-048-29~30].
- juooze-** 【他動詞】小さくする : tinj nodo *juoozet* (私は) この鳥を小さくしよう [1-044-18].
- jukudaņd'e\*** 【名詞】こめかみ.
- jukujoņzaa** 【名詞】雁の一種 (ロシア語では маленький гусь と訳されている).
- jukund'uge joo** 【間投詞】かわいそうに!
- jukunmuge**, (**n'ugunmuge**) 【名詞】親指.
- jukumodo** 【名詞】小さな鳥.
- juõ<sup>1</sup>** 【名詞】ベルト, 帯.
- juõ<sup>2</sup>**, (**l'uõ-**) 【他動詞】見る, 見える : tet imide čomood'oon, met jolaat *juõtemik* お前は首が長い, 私の後ろからでも見えるだろう [1-030-11~12] / tudel terike mozuu nugendeejle el *juõ*, el moj 彼は婚約者の手を見たことも握ったこともなかった [1-024-01~02] /

- foromopol tudegele *juösiit lejtejṅaa* 人々は彼を一目見ると(彼だと)分かった [1-108-08~09].
- juö**<sup>3</sup> 【他動詞】縛る : *d'e taat abudej'elum igejelek juöl'elum, ultes'ut, taat tudin moni* そうして(彼は)寝かせた, 紐で縛って, 繋いで, そうして彼に言った [1-100-04~05].
- juöde-** 【自動詞】見る : *taat alxude juödej* そして, (彼は) 下の方を見た [1-030-32].  
▷ **juödej-** (l'uödej-) 《完了》: *taa faalṅin čande juödes'* そこで(彼は) 木の上の方を見た [1-084-07].
- juöj-** 【他動詞】見させる : *uölek juöfnul'elṅaa, losilek činufnul'elṅile, ooziiṅin eguzul'el* (彼女は) 子供の面倒を見させられた, 薪を割らされた, 水汲みに行った [1-020-30~1-022-01].
- jurgud'ieje** 【名詞】星.
- jurguf-** 【他動詞】穴をあける : *xonut faxal'ej jollok nummele, tude oogele čumu jurgufum* (彼は) 行って, 黄色い泥を見つけた, (そして) 自分のズボン全体に穴をあけた [1-052-01~02].
- jurguu** 【名詞】穴, 洞穴, 巢穴.
- juteges'-** 【他動詞】突き刺す.
- juudej-** 【自動詞】《完了》煙たくなる : *omon juudes', [e]spedaṅil' jorodajk!* とても煙たくなった, 扉を開けろ! [1-100-28].
- juuke** 【副詞】遠くに, 遠くで : *iile nodo juuke l'ej, tamunpegele edies'tin kukkiik jannuṅile* 遠くにいる鳥もいた, それらを呼ぶためにアオカケスが送られた [1-026-34~1-028-01].
- juukelaṅin** 【副詞】遠くへ : *taṅnugi juukelaṅin xondelle, juödet madaanul'el* そんなとき(彼は) 遠くへ行って, 見ながら座っていた [1-020-08~09].
- juuken** 【副詞】遠くに, 遠くで.
- juuket** 【副詞】遠くから : *met juuket kies'e, igilbeje* 私は遠くから来た, 疲れた [2-028-02~03].
- juuklude** 【副詞】遠くへ.
- juul** 【名詞】煙.
- juus'e** 【名詞】息.
- juus'edej-** 【自動詞?】《完了》息をはく : *met juus'edejlukene, tudel önmele jorufaṅnum* 私が息をしたら, 彼は気を失うだろう [1-058-30].

k

**karas'** 【名詞】フナ；< карась (R) : pod'erxo ileklood'e karas'ek iksiinumle (彼は) 1 日に4匹ずつフナを捕まえた [1-082-06].

**karbas** ⇒ xarbas.

**karman** 【名詞】ポケット；< карман (R) : jukood'e čuuldielek karmange ſinſajmele (彼女は) 小さな肉をポケットに入れた [2-030-14].

**kebej-** 【自動詞】《完了》行く, 出発する, 去る : taat numejin kebes' そして (彼は) 家へ行った [1-082-13] / taat pulutki kebejdelle, irkin miestege lodaax abudaaj そして (彼女の) 夫は行き, ある場所でうつぶせに横たわった [1-076-13~14].

▷ **kebuj-~kebuji-** 《反復》.

**kebuj-~kebuji-** ⇒ kebej-.

**kej-** 【他動詞】(1, 2人称に) 与える, くれる : xaaxaa, tudaā čoomon leŋdool'it, nienułuke tet čolgoro ejmundegi kejmek おじいさん, かつて (私が) とても空腹で, 頼んだら, お前はウサギを半分 (私に) くれた [1-058-02~03].

**kejl'edej-** 【自動詞】《完了》赤くなる : taatl'et juödege – oozii kejl'edejl'el そして (彼が) 見ると, 水が赤くなった [1-108-05].

**kejl'en'-** 【自動詞】赤い.

**kejl'oo-** 【自動詞】乾いている : tabun tetin moni, kejl'ood'e omos'e n'iergele jangen 彼は お前に乾いた良い衣服を送るようにと言った [1-056-19~20].

**kel-** 【自動詞】来る : met juuket kies'e, izilbeje 私は遠くから来た, 疲れた [2-028-02~03] / titte uörpegele edies'ŋaa, uörpepki bejd'iet kelunuji (彼らは) 自分の子供たちを呼んだ, 子供たちがあちこちから来た [2-048-03].

**kelid'e** 【名詞】虫.

**kelli-\*** 【自動詞】退屈だ : metke kellič 私は退屈だ [AG970730].

**kellugii-** 【他動詞】おっくうがる : tet taatmie azuu mondin xodit el kellugijek! お前はそんな言葉を言うのがどうしておっくうでないんだ! [2-042-23~24].

**kenme** 【名詞】友人, 仲間.

**keŋde-** 【他動詞】惜しむ : met noŋoon ilukun anil keŋdem! 私はなぜ四匹の魚を惜しんだのだろうか! [2-026-23].

**kereke** 【名詞】コリャーク.

**kerelef-** 【他動詞】揉む : tet kerelefood'e xaar nukk お前は揉んで柔らかくした皮を見つける [1-098-37].

**kerilef-** 【他動詞】噛む : tabungele kerilefum (彼は) それを噛んだ [2-038-19].

**kerpe-** 【他動詞】 振る, 振り払う : taat xodoodege taŋ jaxadaas'e tude ulegele nojle *kerpet* xristoskele jedutejm そうして (キリストが干し草の中に) 横たわっていると, その馬は彼の干し草を足で振り払ってキリストが見えるようにした [1-044-24~25].

▷ **kerpej-** 《完了》 : modojek, eduön met *kerpej* jiedunjide (お前は) 座れ, それを私は脇へ振り払うから [1-104-18].

**kerpeže-\*** 【自動詞】 振る : met nugene *kerpežeje* 私は手を振っている [AG021017].

**kesii-** 【他動詞】 運んで来る : “kimd’efnjik, metin oozii *kesiinjik*, losil piedetnjik, legul *kesiinjik*”, – monut nienum 「お願いだから, 私に水を運んで来ておくれ, 火を焚いておくれ, 食べ物を運んで来ておくれ」と (彼女は) 頼んだ [1-032-24~25].

**kie kōnme** に対する呼びかけ.

**kie-** ⇒ **kel-**.

**kiegude** 【副詞】 前へ.

**kiejegudie** 【副詞】 前へ.

**kiejie**<sup>1</sup> 【名詞】 前 : *kiejiedege* madaadin moni (彼の) 前に座ろうとして言った [1-030-11].

**kiejie**<sup>2</sup> 【後置詞】 1) (空間的に) ~の前に : tetul aŋd’e *kiejie* juöt eguzuje (私は) お前を眼前に見ながら行く [2-052-08]

2) (時間的に) ~の前に : taŋ foromodie pulut monool tite uujl *kiejie* taŋ jodolbede čavatajle, uujgi kizoodege, čugoon čemerejm その人が老人の言ったように仕事の前にその包みを触ると, 仕事は簡単で, すぐに終えた [1-114-30~31].

**kiejie**<sup>3</sup> 【副詞】 (空間的に) 前に : *kiejie* xonulben jožomuj 先を行く人は怒った [2-018-07~08].

**kiejien** 【副詞】 1) 最初に : tet jaxtek *kiejien* お前は最初に歌え [1-070-07~08].

2) どうしても (~できない) : tet taa piedejtejek, *kiejien* el entejek お前はあそこで燃えてしまうだろう, どうしたって生きていられないだろう [1-112-09].

**kiejoo-** 【自動詞】 前である, 先頭である : petr berbekin *kiejooj*, tude jolaat kenmepki ピョートル・ベルベキンは先頭だった, 彼の後から仲間たち (が続いた) [1-110-34~35] / xondelle, jaxadelle, juöm – tiŋ čomoolben *kiejool* nojpegi ileklooj (彼は) 行って, 着いて, 見た, そのオオシカの前脚は4本だった [2-004-37~38].

**kiejood’e** 【名詞】 統率者.

**kiel’ef-, (kiel’f-)** 【他動詞】 乾かす : xardeejle *kiel’efum*, uneme xardeejle aaj *kiel’efum* (彼女は) その皮を乾かした, 耳の皮も乾かした [1-054-30].

**kiel’oo-** 【自動詞】 乾いている : taat ejrefut taŋ minope irkiet *kiel’ood’e* miestege madaaj そうして運ぶと, その筏の一方は乾いた場所に止まった [1-038-01].

**kiel’f-** ⇒ **kiel’ef-**.

**kiel** 【名詞】 割れ目, 裂け目 : tudel tude čovojo mindelle jaan kielgen jaxlude čulgejm 彼は自分のナイフをつかんで, 木の割れ目に突き刺した [1-108-01~02].

**kiete-** 【他動詞】 混ぜる : xaaxaa, met pojis'e lektool'njide, kietedin novo mundejk おじいさん, 私の脂を食べたいなら, (脂と) 混ぜるために砂を取って来い [1-090-34~35].

**kige-** 【他動詞】 刺す : taat jubed'e iid'ien čovojole kiget kudedem そして (彼は) 心臓を直接ナイフで刺して殺した [1-076-19~20].

**kigi-** ⇒ **kigii-**.

**kigie-** 【他動詞】 刺す : taat čuul'd'ii pulutkele joulugielmengin kigiem そして (彼は) おとぎの老人の背中を刺した [1-086-09].

**kigii-, (kigi-)** 【他動詞】 刺す : tude čovojodele met tudel jouvomejnin kigiim (彼は) 自分のナイフで彼の背中を突き刺した [2-036-31~32].

**kimd'ej-** 【自動詞】 戦う, 争う.

**kimd'ef** どうぞ, どうか (相手に対する懇願を表す) : kimd'ef, metul el kudedelek! どうか私を殺さないでくれ! [1-086-22].

**kimd'efnjik** どうぞ, どうか (相手に対する懇願を表す).

**kimd'ii-** 【自動詞】 戦う, 争う : tit nojpoon kimd'iimet? あなたたちはなぜ戦っているのか? [1-110-30~31].

**kimd'iijoolben** 【名詞】 戦士.

**kimdaan'e-** 【自動詞】 騙す, 嘘をつく : pulut, pulut, aaj kimdaan'ejek おじいさん, おじいさん, また嘘をついているね [1-064-35].

**kimdaan'erii-, (kimdaann'erii-)** 【他動詞】 ~を騙す, ~に嘘をつく : pulut, metul nojpoon kimdaan'erimek? おじいさん, 私をなぜ騙すのか [1-064-15].

**kimdaann'erii-** ⇒ **kimdaan'erii-**.

**kimer** 【名詞】 生皮.

**kimnii** 【名詞】 鞭 : tintaj kimnii terikegele taat kuödejm その鞭はおばあさんを打った [1-066-06~07].

**kin** 【疑問詞】 誰 : kintek tij minole ejretul? 誰がこの筏で行くのか? [1-036-18] / xadunget, kinget minmik, kin mitkele xamie? (お前は) どこから, 誰から (食べ物) 手に入れたのか, 誰が私たちを助けてくれたのか [1-074-09~10].

**kin'inkun'in n'aʁanbood'ebudi** 【数詞】 5 0 0.

**kind'e** 【名詞】 月.

**kis'-** 【他動詞】 教える, 慣れさせる : taj end'oonpegele, nodopegele foromojin kis'jaa その動物たち, 鳥たちを人間に慣れさせた [1-040-29] / foromo titten'e irkill'aan modot, xoron'iit legitelge kis'oogi 人間は彼らと一緒に暮らし, (彼らを) 守り, 食べ物を与える

ことを教えられた [1-040-29~30].

**kisie-** 【自動詞】覚える, 学ぶ: *čuöte nugunul'eljaa, čomoolben xaŋiŋnut kisiel'elji* (彼らはオオシカを) いつも見つけ, オオシカを追うことを覚えた [2-004-03~04].

**kisil** 【名詞】端, はずれ.

**kifefe-** ⇒ **kiffe-**.

**kifkinde** 【代名詞】誰か.

**kiffe-**, (**kifefe-**) 【他動詞】見せる: *taat id'ii lemdik kiffetul?* では, 今度は何を(私たちは) 見せようか [2-024-25~26] / *e-e, ladno, met kifefet tetin* ああ, いいだろう, 私はお前に見せよう [2-024-14].

**kizoo-** 【自動詞】軽い, 簡単だ, 容易だ: *taŋ foromodie pulut monool tite uujl kiejie taŋ jodolbede čaratajlle, uujgi kizooodege, čugoon čemerejm* その人が老人の言ったように仕事の前にその包みを触ると, 仕事は簡単で, すぐに終えた [1-114-30~31].

**köd-** 【他動詞】集める: *d'e taatl'elle erče igejepulgele ködum, taavile tude uöŋin tadii* そして悪い紐を集めて, それから自分の子供に渡した [2-030-26].

**ködiel** 【名詞】オオカミ (волк).

**ködimie-** ⇒ **ködinmie-**.

**ködin** 【副詞】丁度良く: *emilme ködin aatej basar* 夜中には(私たちは) うまく作れるかもしれない [1-024-13~14].

**ködinmej-** ⇒ **ködinmie-**.

**ködinmie-**, (**ködimie-**, **ködinmej-**) 【自動詞】丁度良い: *taŋ el ködinmiel xadmudulpele end'oonŋin, ilukun nojn'elbenpegin tadiinul'elum pon'xonodo marxil'* オオヤマネコの娘はそれらのサイズの合わない指輪を動物たちに, 四本の足を持つ者たちに与えた [1-024-05~06] / *emis'elek taa, irkin aŋd'e ködinmejtej* (あそこは) 暗闇だ, 目が一つで丁度良いだろう [1-096-15].

**köj** 【名詞】男, 青年: *taŋ köj tabun mediidelle, almelek aŋsiimele*. その青年はそれを聞いてシャマンを探した [2-022-11~12].

**köjkil'** 【名詞】(木の) 切株.

**köjl** 【名詞】男, 青年: *köjl nume jekl'ie eguzuŋ, omos'e xaŋis'e ool'el* 青年は狩りに行った, (彼は) 良い狩人だった [2-006-23~24].

**köjle\*** 【名詞】屑.

**köjpe** 【名詞】男, 青年: *d'e köjpe čumut faxal'aaji* 男たちは全員集まった [2-046-03].

**köjpeduö** 【名詞】男の子: *irkin pulut l'ej, ataxun uön'ej, irkiet pajpeduök, irkiet köjpeduök* 1人の老人がいた, 彼には子供が2人いた, 1人は女の子, 1人は男の子だった [1-078-02~03].

**kõlis'e** 【名詞】(木製の) スキー.

**kõnd'ie-** 【自動詞?】(金属を) 鍛える.

**kõpçii-** ⇒ **kõude-**.

**kõtçii-\*** 【自動詞】(客として) 訪問する : *tudel mitke kötçii* 彼は私たちのところにお客に  
来た [AG020522].

**kõude-** 【他動詞】運ぶ, 持って行く, 連れて行く.

▷ **kõudej-, kõudaj-**《完了》: *pulundiegele tude budien imdelle, taat kõudejm* (彼は) お  
じいさんを自分のの上に乗せて, そして運んだ [1-056-13~14].

▷ **kõpçii-**《反復》.

◇ **izulbe kõude-, izulbe kõpçii-** 休む : *terike, met izulbe kõudedin xond'e* おばあさん,  
私は休みに行く [1-118-07] / *izulbe kõpçiiit me madaanuje* (私は) 休みながら座ってい  
る [1-096-26].

**kõže** 【固有名詞】コジエ : *tabunge kõže monut n'uun'ej aaj xojljin xoni.* するとコジエと  
いう者は神のところへ行った [1-034-26].

**kries** 【名詞】十字架 ; < крест (R) : *xristos krieske, aas'iilooj* キリストは十字架に磔に  
された [1-042-31].

**krieste** 【副詞】十字に : *fajde, sis'kedin, krieste embej, pojnej čavatiile čavataal'elum* (彼  
は) 横に, 縦に, 十字に, 黒と白の染料で塗った [1-028-10~11].

**kudde-** ⇒ **kudede-**.

**kude-** ⇒ **gude-**.

**kudečiije** 【名詞】人殺し.

**kuded'e** 【名詞】肝臓.

**kudede-, (kudde-)** 【他動詞】殺す : *kimd'eŋ, metul el kudedelek!* どうか私を殺さないで  
くれ! [1-086-22].

▷ **kudesii-**《反復》 殺す : *terike, mit uörpe kudesiige. taŋnut ataxlood'e karas'ek leŋtel* 妻  
よ, 私たちの子供たちを殺そう, そうしたら二匹ずつフナを食べられるぞ [1-082-06~  
07].

**kudelej-\*** 【自動詞】始まる.

**kudeliere-\*** 【他動詞】始める.

**kudesii-** ⇒ **kudede-**.

**kudie-** 【他動詞】残しておく, 置いておく : *Jaafet pon'xonodo čolvorole mejnut, legut, ejret*  
*arnuujaajin legitet me kudienum amunpedeejle* 今, オオヤマネコはウサギを捕まえて,  
食べて歩き, クズりに食べさせるために, (ウサギの) 骨を残しておく [1-024-27~28].

**kudisii-** 【他動詞】《反復》 殺す.



**kuduln'e-** 【自動詞】汚い : met *kuduln'eje*, *ajletče* 私は汚い, 体を洗おう [2-018-27].  
**kukkii** 【名詞】アオカケス (ロシア語で *кукша*).  
**kukkii nodo** 【名詞】カッコウ, アオカケス (ロシア語で *кукушка*, *кукша*).  
**kukul** 【名詞】悪魔.  
**kukun nodo** 【名詞】カッコウ (ロシア語で *кукушка*).  
**kuldergii** 【名詞】シギの一種 (ロシア語では *куличок* と訳されている).  
**kun'inmololoudi** 【数詞】16.  
**kunirkil'd'ool'd'e kunil' kunirkil'd'oo-** 【数詞】99.  
**kunn'e-** 【自動詞】汚い : tet n'aas'e *kunn'egen*, *foromo tetkele en'd'egen* お前の顔を汚くしておけ, 人間がお前を育てるように [1-044-35~36].  
**kunn'ie-** 【自動詞】汚い.  
**kuntuken** 【名詞】疎林.  
**kuöde-** 【他動詞】殴る : *xavielgele jerčebaan'e parnaa kuödet laxidamundeejle čumu* *jelgef'l'elum* アビとアヒルをカラスは殴り, (彼らの) 尾の骨をすべて砕いた [1-028-13~14].  
▷ **kuödej-**《完了》 殴る : *tintaŋ kimnii terikegele taat kuödejŋ* その鞭はおばあさんを打った [1-066-06~07].  
**kuöke** 【名詞】頭.  
**kuolekee** 【名詞】臍.  
**kurčejŋ** 【名詞】ツル (ロシア語で *стерх*, *журавль*).  
**kurexatii** 【名詞】ソデグロツル (ロシア語で *стерх*).  
**kurie** 【名詞】柵.  
**kurpul'** 【名詞】肺.  
**kurul** 【名詞】納屋.  
**kusie** 【名詞】蚊.  
**kufleme** 【代名詞】何か : *kufleme nado* 何か必要だ [2-008-35].  
**kufn'eleme** 【代名詞】何か : *al'degen ejrel kies'e, xond'e foromo čumut kufn'eleme taŋ* *jaalge larxude miebege peniinunaa* そのそばを行き来する人は皆, 何かをその木の根元に置く [2-012-07~08].  
**kutie** 【名詞】(毛皮を縫って作った) 円錐形の住居の覆い.  
**kužuu** 【名詞】空.  
**kyrčeana** 【固有名詞】キルチェアナ : *kyrčeana l'ej, irkin teriken'i* キルチェアナがいた, 彼には妻が1人いた [1-060-30].

I'

**l'al-** ⇒ jad-.

**l'an-** ⇒ jad-.

**l'e-** 【自動詞】 1) いる, ある : *alxude juödege – irkin jalsil l'ej* (彼が) 下の方を見ると, 1つの湖があった [1-030-32~33] / *tudaa taatmie foromo l'el'el* かつてそのような人がいた [1-020-25~26].

2) (目的分詞形の動詞を伴って) ~しようとしている : *irkin nodope molxo monaangi: mofolupkaa terikettin l'ej, jukujongzaa marxil' mindin l'emle* ある鳥たちの間で言われはじめた, 梟が妻をもらおうとしている, 雁の娘をもらおうとしていると [1-026-26~27] / *metul jalxin'eriik. amdeljin me l'eje* 私に儀式を行なってくれ, (私は) 死にそうだ [1-060-20].

3) 適当な動詞が思い浮かばないときに, とりあえず動詞語幹として使う : *tañdjet l'em... tañdjet peffejm* そして (彼は) ああした... そして投げた [AG970727T1].

**l'ii-** 【他動詞】 (ある状態のもとに) おいておく : *kind'e, metkele eris' l'iigaa!* 月よ, (彼らは) 私をひどく扱う! [1-022-07].

◇ **önmege l'ii-** 覚えておく : *eduön önmege l'iijik* それを覚えておきなさい [1-042-19].

**l'uö-** ⇒ juö-2.

**l'uödej-** ⇒ juöde-.

I

**laaxet** 【後置詞】 ~の方に : *taskan laaxet erpejeplek l'el'elñil* タスカンの方にエウエンが住んでいた [2-046-15].

**labunraa\*** 【名詞】 流木の根.

**labut** 【名詞】 流木.

**lad'il\*** 【名詞】 魚を燻するための煙.

**lad'ite-\*** 【他動詞】 燻す : *anilek lad'iteme* (私は) 魚を燻した [AG021017].

**lanđet** 【後置詞】 ~の側で : *n'emaalugu lanđet n'ied'iinji, mofolupkaa lanđet, jukujongzaa lanđet* 両方の側で話し合いがなされた, 梟の側で, 雁の側で [1-030-08].

**lanji** 【後置詞】 1) ~の方へ : *uöñooltañ toukediexoot kudedelle, joobii lanji pögiej* 若い方(の女)は犬になって, 森の方へ駆けだした [1-068-10~11].

2) (時間的に) ~まで : *pulundie terikiedien'e tañ ponđele tettienji, tinj paraa lanji ajii modonji*

おじいさんはおばあさんとお金で金持ちになり、今でもまだ生きている [1-066-21  
~22].

**laɲide** 【後置詞】 ~の方へ : *metul min tet laɲide!* 私をお前のところへ連れて行っておくれ! [1-022-08~09].

**laɲin** 【後置詞】 1) ~の方へ : *taat irkejelle, joloɾude joodas' tude čomoolben laɲin* そうして (彼は) 驚いて、引き返した、自分のオオシカの方へ [2-004-36~37].

2) (時間的に) ~まで.

**larxul** 【名詞】 根.

**laxidamun** 【名詞】 尾の骨 : *xaxielgele jerčebaan'e parnaa kuödet laxidamundeejle čumu felgeɟ'elum* アビとアヒルをカラスは殴り、(彼らの) 尾の骨をすべて砕いた [1-028-13  
~14].

**laxidiis'e** 【名詞】 尾鰭.

**laxil** 【名詞】 尾 : *ködiel norxovaa'el, taatl'et laxilgi fel'gej'el* オオカミは動いた、すると、(その) 尾がちぎれた [1-060-32~33].

**laxinčičikie\*** 【名詞】 トンボ (стрекоза).

**laxinpieje\*** 【名詞】 尻.

**lebejdii** 【名詞】 ベリー.

**lebie** 【名詞】 1) 土地, 大地, 陸地. 2) 土.

**lebieduu\*** 【名詞】 魚卵.

**ledemie-\*** 【自動詞】 低い.

**leddude** 【副詞】 下流へ : *tan ununget leddude kebejɲi* (彼は) その川から下流へ行った [1-082-17].

**leg-** (*lej-, lek-, lem-, leu-*) 【他動詞】 食べる : *xaaxaa legum taɲ ɟoromopulgele* クマはその人間たちを食べた [2-044-21].

▷ **legej-** 《完了》 : *oɾoodelle, taɲ polzɟis'egele legejɲ* (オオシカは) 立っていて、その葉を食べた [1-116-21].

**legite-** 【他動詞】 食べさせる, 食べ物を与える : *čaačaagi ojl'elme tintan ɟuul'd'ii pulutkele ningoo legitem* (彼女の) 兄がいないときに、(彼女は) そのおとぎの老人にたらふく食べさせた [1-080-21~22].

**legul** 【名詞】 食物.

**lej-** ⇒ **leg-**.

**lejdi-** 【他動詞】 知っている, ~できる : *kukkii vosemnadtsat' nodo aзуuk lejdiimele* アオカケスは 18 の鳥の言葉を知っている [1-028-01] / *tudel lejdiim ooɟiige ejrele* 彼は水の上を行くことができる [1-036-19~20].

**lejte-** 【他動詞】分かる, 知る : tabungele pudool lebiege modol xojlpe *lejteŋaa* それを上界に住む神々は知った [1-036-11].

▷ **lejtej-**《完了》 : foromopul tudegele juösiit *lejtejŋaa* 人々は彼を一目見ると(彼だと)分かった [1-108-08~09].

**lek-** ⇒ leg-.

**lellie\*** 【後置詞】下流に, 下流で : unuŋ *lellie* modoji (彼らは)川の下流に住んでいる [AG031015].

**lellugut** 【副詞】下から.

**lem-** ⇒ leg-.

**leme** 【疑問詞】1) 何 : tuön *lemdik* uujmet tit? これは何をしているのか, お前たちは [1-034-18~19] / *lemeŋin* keluk? (お前は)何のために(お前は)来たのか [1-084-32].

2) 従属節を導く : d'e - moni, - *lemdik* anureme, čumu min aduön kurulget そら, (彼は)言った, 気に入ったものを全て取れ, あの納屋から [2-012-27~28].

**lenmune-** 【自動詞】もじゃもじゃである : majlegi *lenmunej* (彼女の)髪の毛はもじゃもじゃだった [2-026-32].

**leŋde-** 【自動詞】食べる, 食事する : *leŋdelle*, uŋzuuk 食事をして眠りなさい [1-072-32] / *leŋdool'it* amdelŋin l'el'el (彼は)空腹で死にそうだった [1-062-12~13].

**leppul** 【名詞】血 : ŋubed'egi čumut uus', *leppugi* čirčumu al'bej. (彼の)心臓は全て動いているが, 血は全て溢れ出ている [2-024-34].

**lepunčuge\*** 【名詞】血管.

**leu-** ⇒ leg-.

**lige-** 【自動詞】年老いている : *ligeje* pulundie ool'el (彼は)年老いた老人だった [2-016-03].

**ligeltaŋ** 【名詞】(何人かいるうちの)より年老いた者 : *ligeltaŋ* ŋaalge igejele met arpat amdej. uöŋpootaŋ toukedieŋpoot kudedelle, joobii laŋi pögiej 年老いた方(の女)は木に紐で首を吊って死んだ, 若い方(の女)は犬になって, 森の方へ駆けだした [1-068-10~11].

**ligumu-** 【自動詞】年をとる : tudel *ligumut* amdej 彼は年をとって死んだ [2-036-39].

**lodaax** 【副詞】うつぶせに : *lodaax* xodooj, oozej (彼は)うつ伏せに横たわっていた, (川の水を)飲んだ [1-078-09].

**lolɔo-** 【自動詞】沸く : jekečan jel'ood'e tite *lolɔoj* 釜は太陽のように沸いていた [1-118-11].

▷ **lolɔoj-**《完了》沸く : taŋ oozii *lolɔos'* その水は沸いた [1-082-31].

**lolɔof-** 【他動詞】沸かす : d'e taat *lolɔofaal'elum* mieje, uolobele, svinetse そして(彼は)沸かしはじめた, 銅を, 錫を, 鉛を [1-100-15].

**lomd'ii-** 【自動詞】羽や毛が生え変わる：tabunget nodo id'ii lomd'iinuji だから鳥は今羽が生え変わる [1-030-20].

**loŋde-** 【他動詞】はずす：tet kimmii metkele kudedem. metket loŋdek お前の鞭は私を殺してしまう、私からはずしてくれ [1-066-10~11] / pulundie tintaj tude kimmiiŋe loŋdem おじいさんはその自分の鞭をはずした [1-066-12~13].

**loŋdo-** 【自動詞】踊る：xaaxaa, mitin loŋdok! おじいさん、私たちのために踊ってくれ! [1-052-04].

**loŋdojool** 【名詞】踊り手.

**loŋdoŋ-** 【他動詞】踊らせる：pulundiegele taat loŋdoŋaŋam (彼らは) おじいさんを踊らせはじめた [1-052-04~05].

**loŋpčo** 【固有名詞】ロプチョ：jaan n'emd'edie modol'elŋi, čumut terikell'elŋi. čomooltaŋpegi n'uugi loŋpčo, örd'ooltaŋ n'uugi loŋfija, emd'ooltaŋpegi – gin 3人の兄弟が住んでいた、全員に妻がいた、一番年上の者の名はロプチョ、真ん中の者の名はロシヤ、一番年下の者の名はギンだった [1-070-02~04].

**lorxaj-** 【他動詞】できない、困難だ：uujle lorxajnu'elum (彼にとって) 仕事は困難だった [1-114-24].

**losiduufji** 【名詞】火掻き棒.

**losil** 【名詞】1) 火、焚火：losil n'umiej 火が消えた [2-044-20].

2) 薪：emejji losilek činemele (彼の) 母親は薪を割った [2-030-16].

**lostubii-** 【他動詞】祝福する：tabunge xristos egiedelle, xorobole lostubiim, monut: "čuöte pugus'ege l'ek, ..." するとキリストは立ち上がって牛を祝福した、「いつも暖かいところにいなさい、...'」と言いながら [1-044-11~12].

**loŋfija** 【固有名詞】ロシヤ：jaan n'emd'edie modol'elŋi, čumut terikell'elŋi. čomooltaŋpegi n'uugi loŋpčo, örd'ooltaŋ n'uugi loŋfija, emd'ooltaŋpegi – gin 3人の兄弟が住んでいた、全員に妻がいた、一番年上の者の名はロプチョ、真ん中の者の名はロシヤ、一番年下の者の名はギンだった [1-070-02~04].

**loŋkaraa** 【名詞】スプーン；< ложка (R).

**loŋkadabut** 【名詞】スプーンを入れる袋.

**löude-** 【他動詞】落とす、はずす、脱ぐ、脱がせる：čugge titte loŋkadabut löudel'elŋile (彼らは) 途中で自分のスプーンの袋を落とした [1-048-18] / n'ierdeejele čumu löudem (彼は彼女の) 服を全部脱がせた [2-030-32].

**löudi-** ⇒ löudu-.

**löudu-**, (löudi-) 【自動詞】落ちる：taŋ uörpe xonut ooziŋe löuduut amdaal'elŋi その子供たちは行くと、水の中に落ちて死んでしまった [1-048-19~20].

**lubede\*** 【自動詞】咳をする。  
**ludul** 【名詞】鉄。  
**lukil** 【名詞】矢。  
**lulčii-** 【自動詞】遠吠えする。  
**lunbuge** 【名詞】釜, 大鍋。  
**luusii** 【名詞】ロシア人。

### m

**maamut\*** 【名詞】投げ縄。  
**madaa-** 【自動詞】1) 座る : *madaak! čaj oozek* 座れ!, お茶を飲め [2-028-03].  
2) (鳥が枝などに) とまる : *irkin poŋzube keldelle, irkin čitnedie faal puddege madaal'el*  
1羽のキジバシオオライチョウが来て, ある高い木の上にとまった [1-030-31].  
3) 暮らしはじめる : *taŋ paraaget foromo skote, toukele, nodole n'avaa madaaj* その時から人間は家畜, 犬, 鳥と一緒に暮らしはじめた [1-040-31].  
**mavil** 【名詞】外套。  
**majle** 【名詞】髪の毛。  
**mal'd'e\*** 【名詞】キイチゴ; < малина (R).  
**malaj-\*** 【自動詞】眠り込む。  
▷ **maluuj-** 《反復》うとうとする。  
**malvan** 【数詞】6 : *malvan jajtsak peniimele* (カモは) 6つの卵を置いた [2-040-25].  
**malviilekun** 【数詞】8 : *pulut malviilekun uön'ej* 老人には8人の子供がいた [1-084-19].  
**malvijaaloo-** 【数詞】6 (である) : *malvijaalood'e nojn'eje čomoolben* 6本の足を持つオオシカ [2-003-03].  
**maluuj-\*** ⇒ malaj-.  
**martl'uö** 【名詞】(親から見た) 娘 : *čolboro poŋxonodo martl'uöle terikettin l'el'el* ウサギはオオヤマネコの娘を妻に貰いたがっていた [1-022-22].  
**marxil'** 【名詞】娘, 若い女 : *irkin marxil' jaxtaaj faal budie arpajdelle* 1人の娘が歌いだした, 木の上に登って [2-016-23].  
**mafl'uö** 【名詞】(親から見た) 娘 : *tabunge tintaŋ numen'el pulut moni tude mafl'uöŋin* するとその家を持つ老人は自分の娘に言った [1-054-15~16].  
**medej-<sup>1</sup>** 【自動詞】《完了》聞こえる : *taat tebegej xodoot juödege aas'end'e erpejeplek kelle medejgil* そうしてテベゲイが横たわりながら見ると, トナカイを連れたエウエンたちの

来るのが聞こえた [1-088-26~27].

**medej-<sup>2</sup>** 【他動詞】《完了》捕える : tabungele mofolupkaa *medejm* それをフクロウが捕えた [1-048-09~10].

**medi-** ⇒ **meduu-**.

**medii-** 【他動詞】 1) 聞く : taat tintanj irkin toukegi *mediim* tamungele するとその1匹の犬がそれを聞いた [1-080-26].

2) 分かる : tabunget met *medii* čomparnaa azuu だから私はワタリガラスの言葉が分かる [1-048-30].

**medin** 【副詞】 1) たった今, 今しがた : *medin* me *medii* xojl mond'e foromo たった今 (私は) 神と言った人 (の声) を聞いた [1-072-20].

2) ~するとすぐに : *medin* jöktege numege, tañ paj n'aasin menmeges', jaal mindelle, n'aasin jaale čolrajm (彼女が) 家に入ると, (彼は) その女の前から跳びかかり, 棒を手にとって, 棒で突いた [2-046-28~29].

**meduu-**, (**medi-**) 【自動詞】 聞こえる : toukepul ojd'epki *medis'* 犬たちの吠え声が聞こえた [2-046-06~07] / ejredege jaal iis'ege örulek *meduul* (彼が) 歩いていると, 木のてっぺんで叫ぶ声が聞こえた [1-084-05~06].

**meemee** 【名詞】 熊 (медведь).

**mej-** ⇒ **mid'-**.

**melut** 【名詞】 胸.

**memre-\*** 【自動詞】 (火の粉をあげて) 燃える.

▷ **memzej-**《完了》 : pugelbiegi *memzes'* (アオカケスの) 羽毛は燃えた [1-030-13].

**memzej-** ⇒ **memre-**.

**mend'e** 【名詞】 知らせ, 噂.

**menmege-** 【自動詞】 跳ねる : *menmegelle*, *menmegelle*, tude nojgele taat jelgedejm (彼は) 跳ねて, 跳ねて, 自分の足 (の骨) をそうして折った [1-092-17~18].

▷ **menmegej-**《完了》 : *menmegejdelle*, tude terike budie jies' (彼は) 飛び跳ねて, 自分の妻の上に乗った [2-030-31~32].

**mere-** 【自動詞】 飛ぶ : irkid'e čomparnaa *meret* xondege, joulus'um tude uörpegele ある時, ワタリガラスが飛んで行くとき, (母親は) 自分の子供たちのことを尋ねた [1-048-23].

▷ **merej-**《完了》 飛び立つ, 飛び去る : taat *meries'* nodonpoot kudedelle そうして (シャマンは) 飛び去った, 鳥に変身して [2-018-17~18].

▷ **meruj-**《反復》 : met tetul *merujiit* ejredin pugelbiek kejteme 私はお前に, 飛んで行けるように羽毛をあげよう [1-032-29~30] /taat *kebejdelle*, ooziinodo aaj *merujiengi* そしてカモは去った, 再び飛びはじめた [2-040-26].

**meref-** 【他動詞】飛ばす、飛んで運ぶ : kukul martl'uök *meref/elmele* kuzuunjin (彼は) 悪魔の娘を空にむかって飛ばした [2-010-31~32].

**merezej-** ⇒ *mezze-*.

**merief-** 【他動詞】飛ばす、飛んで運ぶ : keldelle, tintaŋ peme pulundiegele *meriefum* (風が) やって来て、その風のおじいさんをのせて運んだ [1-066-27].

**merizej-** ⇒ *mezze-*.

**meruj-** ⇒ *mere-*.

**met<sup>1</sup>** 【代名詞】私 (1人称単数).

**met<sup>2</sup>** 【前倚辞】自分を (再帰).

**mejaj-\*** 【他動詞】かき混ぜる ; < мешать (R).

**metčii-** 【自動詞】《反復?》聞こえる : oozjin xolilek *metčii* 水の音が聞こえた [1-106-37].

**mezze-** 【自動詞】聞く、耳をすます : tabunge joodajdelle, *mezzej*, xadunget medis' すると (彼は) 向き直って、どこから (音が) 聞こえるのか耳をすました [1-106-37~38] / *taat mezzet terikiedie xodooj* そうして耳をすまして、おばあさんは横たわっていた [2-044-24].

▷ **mezzej-, merezej-, merizej-** 《完了》目覚める : *keldege, terikiedie mezzes'* (おじいさんが) 来ると、おばあさんは目を覚ました [1-052-33].

**mezzej-** ⇒ *mezze-*.

**mid'-, (mej-, mil-, min-)** 【他動詞】1) 手に取る : *tude n'umud'iigele mid'um* (彼は) 自分の斧を手に取った [1-054-24].

2) 得る、手に入れる : *kudedeqide, ediŋ puŋninagi čumu mid'ut* (彼を) 殺したら、(私は) あの獣皮を全て手に入れるだろう [2-014-12~13].

3) 捕える : *jaafet pon'xonodo čolrorole mejnut, legut, ejret arnuujaanjin legitet me kudi-enum amunpedeejle* 今、オオヤマネコはウサギを捕まえて、食べて歩き、クズリに食べさせるために、(ウサギの) 骨を残しておく [1-024-27~28].

4) 連れて行く : *metul min tet laŋide!* 私をお前のところへ連れて行っておくれ! [1-022-08~09].

**mide** ⇒ *miide*.

**mided'e** 【名詞】針.

**mido-** 【自動詞】移動する、遊牧する : *taŋ foromo čuöte me midoj* その人は常に移動していた [1-076-11].

**mie-** 【他動詞】待つ : *marxil' tudegele čuöte mienunnum, tude kelulgele nume jekl'iet* 娘は彼をいつも待っていた、彼が狩りから帰って来るのを [2-006-24~25].

**miebe** ⇒ *miibe*.



**mied'ii** 【名詞】櫛.

**miede-** 【自動詞】待つ: do ugujeljin *miedeji* (彼らは)翌朝まで待った [2-008-11~12].

**miej** 【名詞】銅; < медь (R).

**mieke** 【副詞】そばに, 近くに: tude čovojogele, jowɔdariiigele *mieke* peniim (彼は)自分のナイフを, 銃の袋をそばに置いた [1-100-18~19].

**miekl'ie** 【後置詞】~のそばに, ~の近くに.

**miekloo-** 【自動詞】近い: *mieklool* n'ubojegēt aaj jaxlegude xaaxaa kebejl'el 近くの台から再び元来た方へクマは行った [2-046-05].

**mieste** 【名詞】場所; < место (R).

▷ **miestef-** 【他動詞】~に場所を与える, ~を住ませる.

**migide** 【指示詞】こちらへ: dowre, dowre, keluk, keluk *migide* ドウレ, ドウレ, 来い, 来い, こちらへ [1-084-06].

◇ **taat migide** それ以来: *taat migide* čolɔoro, čomood'e end'oon, anil, nodo titte modool *miestege* ningumul'el それ以来ウサギ, 大きな動物, 魚, 鳥は彼らの住む場所で多くなった [1-074-12~13].

**miibe, (miebe)** 【名詞】根元: tintaj faal *miibedegen* činedelle, losiljoot piedetuk その木を根元から切って, 薪のように燃やさない [1-086-16~17] / al'degen ejrel kies'e, xond'e foromo čumut kufn'eleme taj faalge lɔrxude *miebege* peniinunaa そのそばを歩き来する人は皆, 何かをその木の根元に置く [2-012-07~08].

**miide, (mide)** 【後置詞】~に沿って, ~に従って: tij pejziide, tabun *miide* xon これを投げながら, それにしたがって行け [1-098-02].

**mil-** ⇒ **mid'-**.

**milaaret** 【副詞】右側に: "pulut, - moni, - tii *milaaret* nuube ningejbedek". おじいさん, ここの右の方に根がたくさんある [2-030-11~12] / *milaaret* nugendege jukool, el n'uun'el jajxulpegi ojl'el'epil (彼の)右手には, 小指と薬指がなかった [1-096-06~07].

**milaanjide** 【副詞】右側へ: n'umud'iidegele *milaanjide*, tulugude ejuunude taat xoni (彼は)斧を右へ左へ投げつけながら行った [1-098-05~06].

**min-** ⇒ **mid'-**.

**minne** 【副詞】~のようだ, 多分: čaačaape, mit piedejtejli *minne!* 兄さんたち, 私たちはおそらく燃えてしまうだろう! [2-042-23].

**mino** 【名詞】筏.

**minoo** 【名詞】ワイン; < вино (R).

**mit** 【代名詞】私たち (1人称複数).

**mo-** ⇒ **mon-**.

**modi-** 【他動詞】 住まわせる。

**modo-**, (**modoo-**) 【自動詞】 1) 座っている : *terikiedie injd'et modoj* おばあさんは縫物をしながら座っていた [1-050-08].

2) (鳥などが木に) とまっている : *legum faalge modot* (ミサゴはネズミを) 食べた、木にとまりながら [1-048-08].

3) 住んでいる : *tetčiepelek, n'uzunood'oonpelek, poonood'oonpelek taa modol'eljiil* 金持ちたち、貧乏人たち、孤児たちがそこに暮らしていた [1-020-04~05].

**modoo-** ⇒ **modo-**.

**modot-** ⇒ **modote-**.

**modote-**, (**modot-**) 【他動詞】 座らせる : *pulundiegele taa modotem* (彼は) おじいさんをそこに座らせた [1-056-16].

**moɔo** 【名詞】 帽子。

**moj-** 【他動詞】 1) (手に) 持つ, 握る : *tudel terike mozuu nugendeejle el juö, el moj* 彼は婚約者の手を見たことも握ったこともなかった [1-024-01~02].

2) 飼う : *taatmie end'oonpele foromo mojm* そのような動物たちを人間は飼っている [1-042-03].

**mol-** ⇒ **mon-**.

**mold'aat** 【副詞】 (否定の *el* とともに用いられて) もう少しで~するところだった : *taat peffejm tude lajin, mold'aat el ejte* そして彼の方へ (斧を) 投げた, もう少しで当たるところだった [1-102-04].

**moldo** 【副詞】 ~だけ : *terikegi moldo amun xodool*. 彼女の妻の骨だけがあつた [2-032-03~04].

**molɔin** 【後置詞】 ~の中へ : *jaxadelle taɔide, febis'ege molɔin čirčeges'* (彼は) そこに着くと, ノイバラの中へ飛び込んだ [1-104-07].

**molɔis'e** 【名詞】 関節。

**molɔo**<sup>1</sup> 【名詞】 中, 間 : *örd'ool lebiegele xartaal'elɔaa ed'ulben molɔodegen* 中間の土地を生き物の間で分けた [1-034-12] / *ajinudege, n'ied'iilek nume molɔodeget meduul'elul* (彼が) 射ると, 話し声が家の中から聞こえた [1-070-29].

**molɔo**<sup>2</sup> 【後置詞】 ~の中で, ~の中に, ~の間で : *tabun molɔo uɔzuuɔjik* その中で眠りなさい [1-080-08] / *taat loɔdot lolɔol jekečan molɔo löudis'* そうして (彼は) 踊って, 沸いた釜の中に落ちた [1-118-16] / *irkin nodope molɔo monaaɔi: moɔolupkaa teriketin l'ej, jukujonɔaa marxil' mindin l'emle* ある鳥たちの間で言われはじめた, 梟が妻をもらおうとしている, 雁の娘をもらおうとしていると [1-026-26~27].

**molɔo**<sup>3</sup> 【副詞】 中に : *kurulge molɔo penii* (私は兎を) 柵の中に置いた [1-052-12].

**molvon** 【後置詞】～の中を通過して：jurguu *molvon* oozigi ilbunul'el 穴の中を水が流れていた [1-106-07].

**molvot** 【後置詞】～の中から：ill'ajdelle, puguzes' čomoolben iride *molvot* (彼は腹を) 切り裂いて、オオシカの腹の中から走り出た [1-116-24].

**molil** 【名詞】入江.

**molin** 【副詞】～だけ：numege fögi, taa juödege irkin puluttegek *molin* modol (彼は) 家に入った、見ると、1人の大きな老人だけが座っていた [1-072-16].

**molind'aa** 【副詞】～しそうだ：molind'aa jaxaj taa, apl'itaj örn'ek meduul (彼は) そこに到着しそうだった、(そのとき) アブリタイの叫び声が聞こえた [1-104-36].

**molind'aat, (molund'aat)** 【副詞】(否定辞 *el* とともに用いられて) もう少しで～するところだった：taat xonut oll'oodej čomood'e nodo merejdege, irkejt *molind'aat el* amdeji こうして (彼らが) 行く途中で、巨大な大きな鳥が飛びたつと、(彼らは) 驚いてもう少しで死にそうになった [1-044-14~15].

**molod'o** 【名詞】手袋.

**molund'aat** ⇒ *molind'aat*.

**mominaa** 【名詞】腸.

**momufaa** 【名詞】ホワイトノースサッカー (鯉に似た魚, ロシア語で *каталка*).

**mon<sup>-1</sup>, (mol-)** 【自動詞】言う：tabunge xojl tudin *moni* すると、神は彼に言った [1-034-22~23] / “foromo l'el'el”, – *monut ajaaj tij uögood'e foromo* 「人がいるようだ」と言ってこの若い人は喜んだ [1-072-14]

**mon<sup>-2</sup>** 【他動詞】～と言う：e-e, faafet lemdik *monme?* ああ、今何と言ったのか [1-098-29].

**моноро** 【名詞】山羊 (*горный баран*).

**моноровод-, (моноровот-)** 【疑問詞】何と言うのか：монороводи? (彼女は) 何と言ったのか [AGDP030809].

**моноровот-** ⇒ *моноровод-*.

**monte-** 【他動詞】住ませる.

**moominaa** 【名詞】腸.

**morie-** 【他動詞】身に付けている、着ている：tintaj čuul'd'ii pulut lunbugele joogen *moriet* jubezej そのおとぎの老人は鍋を頭にのせて走った [1-082-33].

**moro-** 【他動詞】身に付ける、着る：pon'xo n'aazube *morot* pon'xaaraadienpoot guduj (彼女は) 白いスカーフをつけて、白樺になった [2-052-26].

**morufe-** 【他動詞】着せる：faxale tabungele jaxtelle, pulundiegele *morufem* キツネはそれを運んで来ると、おじいさんに着せた [1-056-21~22].

**moruzo-\*** 【自動詞】川を遡る.

**mofolupkaa** 【名詞】 フクロウ (ロシア語で сова).

**moffe-** ⇒ **moffo-**.

**moffo-**, (**moffe-**, **moffu-**) 【他動詞】 とりつける : tude pierii amunpegen *moffom* (彼女は) 自分の羽の骨にとりつけた [1-032-33] / pulundie tude n'umud'iigele juögen *moffum* おじいさんは自分の斧をベルトに引っかけた [1-052-15].

**moffu-** ⇒ **moffo-**.

**mot-** ⇒ **modo-**.

**motlorxo-** 【自動詞】 痩せている : uŋzoodege, aaj irkin *motlorxoj* xorobo uölek kelul (彼が) 眠っていると, 再び一頭の痩せた仔牛がやって来た [1-078-36~1-080-01].

▷ **motlorxoj-** 《完了》 痩せる : taat leŋdool'it, *motlorxojt*, ejret jiedugude kebejnul'el, legul aŋsiit (そして (彼は) お腹をすかせて, 痩せて歩き, 別の方向へ食べ物を探しに行った [1-020-17~18].

**motte-** 【他動詞】 住まわせる, 置く.

**mottufkaa** 【名詞】 カモメの一種 (ロシア語では вилохвостая чайка と訳されている).

**mozuu** 【名詞】 ~となるはずのもの・こと, ~すべきもの・こと : xodimie podarok aadelle tadiik tet terike *mozuuŋin* 何か贈り物を作って渡しなさい, お前の許嫁 (妻となるはずの者) に [1-022-24] / n'exaŋide xonool *mozuu* el lejdiit taa meemeen'e abudaal'el (彼女は) どこへ行くべきかも分からず, そこでクマとともに寝た [1-024-33].

**mud'eŋ\*** 【名詞】 カワウソ (ロシア語で выдра).

**mudede-** 【自動詞】 通る, 過ぎる.

▷ **muddej-**, **mudedej-** 《完了》 : xamunde n'emolvilek *muddej'elul* 何年かが過ぎた [1-026-11].

**mudej-** 【他動詞】 《完了》 追い越す : ataxun alvaarn'eje foromopol n'ekiejjiŋi, n'exodile el *mudejnuj* 2人の裸の人が競争している, どちらも追い越すことができない [2-058-21].

**mull'e** 【名詞】 唾.

**mundej-** 【他動詞】 取って来る : xaaxaa, met poŋis'e lektool'ŋide, kietedin novo *mundejk* おじいさん, 私の脂を食べたいなら, (脂と) 混ぜるために砂を取って来い [1-090-34~35].

**murDIGEJE** 【名詞】 靴の紐.

**murduu** 【名詞】 長靴下.

**mure** 【名詞】 靴.

**muredarime\*** 【名詞】 靴の底.

**murge** 【名詞】 茂み.

**musinben** 【代名詞】 様々なもの, 様々なこと : jaxtet d'e tiŋ marxil' *musinbengele*, čumu

jaxteriim 歌ったとき、この娘は様々なことを全て歌った [2-016-25~26].

## n'

**n'aáčef-** 【他動詞】 研ぐ : *taat čovojoje n'aáčefum* そして (彼女は) ナイフを研いだ [2-030-03].

**n'aad'aje** 【名詞】 砥石.

**n'aade** 【副詞】 全部で : *berbekin ejmet – juöl'elum taq šoromoge, joonkisilde örd'ool irkin aŋd'e l'el n'aade* ベルベキンはじっと見て、その人の額の中央に全部で目が一つしかないのを見た [1-096-05~06].

**n'aademe** 【副詞】 秋に.

**n'aas'aa-** 【自動詞】 祈る : “*dorobo, pulut*”, – *mondelle, xojjin n'aas'aa* 「こんにちは、おじいさん」と (彼は) 言って、神に祈った [1-072-19].

**n'aas'adaj-**, (**n'aas'edaj-**, **n'aas'edej-**) 【自動詞】 《完了》 戻る, 帰る : *jolobude n'aas'adajk* 引き返さない [2-036-25].

**n'aas'e<sup>1</sup>** 【名詞】 1) 顔 : *n'aas'e xaardeejle moŋoŋoon aam* (彼女はウサギの) 顔の皮で帽子を作った [1-054-33].

2) 斜面 : *taq ojilge noj minodeejle pien n'aas'ege ejtem* その流れの中で、ノアは筏を山の斜面にぶつけた [1-036-33~34].

**n'aas'e-<sup>2</sup>** 【自動詞】 祈る : *met xojljin n'aas'eteje* 私は神に祈ろう [2-018-28].

**n'aas'edaj-** ⇒ **n'aas'adaj-**.

**n'aas'edej-** ⇒ **n'aas'adaj-**.

**n'aas'en'-** 【自動詞】 1) 鋭い : *tabunge met čovojo el n'aas'en'* それなら私のナイフは鋭くない [1-084-24~25].

2) けちである : *taat tiŋ omniipegele numepedegen ejret, irkin n'aas'end'e pajl numege jaxadelle, legulek nienumle* そうして (彼は) その人々の家々を歩き回り、1人のけちな女の家に着いて、食べ物頼んだ [1-020-10~11]. 3) 顔を持っている : *irkin embej n'aas'end'e motlorxoj terike šöul'elum* 1人の顔の黒い痩せた老婆が入って来た [2-026-31~32].

**n'aas'en'e-** 【自動詞】 鋭い : *joŋovot molvodege n'aas'en'eje amun čovojoj xodool* 枕の間に鋭い骨製のナイフがある [2-058-20].

**n'aas'en<sup>1</sup>** 【副詞】 ◇ **n'aas'en nug-** 会う : *tudegele čugge n'aas'en nugum* 彼に途中で会った [1-080-27].

- n'aas'en<sup>2</sup>** ⇒ n'aasin.
- n'aas'exaar** 【名詞】顔の皮.
- n'aasin** 【後置詞】～に向かって：taat pulundie n'aasin pögiej そうして（彼は）おじいさんに向かって走り出した [1-056-36] / mediidelle, tude pugil' n'aas'en kebes'（犬はそれを）聞くと，自分の主人の方へ向かって行った [1-080-26~27].
- n'aatlebie** 【名詞】ライチョウ（ロシア語で куропатка）.
- n'aazube** 【名詞】スカーフ.
- n'ačavadaĵ-** 【他動詞】《完了》突き刺す：taat pulut numeĵin xondelle, tude n'umud'iigele jaalge n'ačavadaĵm そして老人は家へ行って，自分の斧を木に突き刺した [1-088-03].
- n'ačavaj-** 【自動詞】《完了》突き刺さる.
- n'avaa** 【副詞】一緒に：taĵ paraaget foromo skote, toukele, nodole n'avaa madaaj その時から人間は家畜，犬，鳥と一緒に暮らしはじめた [1-040-31].
- n'avanboo-** 【数詞】5（である）：foromopol n'avanbood'e faxalek kudedelle, numeĵin kebeĵni 人間は5匹のキツネを殺して，家へ行った [1-058-25~26].
- n'an'ulben** 【名詞】悪魔，罪深い者.
- n'anbe-\*** 【自動詞】脂っこいものを食べ過ぎて吐きそうになる.
- n'anče** 【名詞】罪.
- n'and'e** 【名詞】罪.
- n'anme** 【名詞】サルヤナギ（ロシア語で тальник）.
- n'atn'uujaa** 【名詞】カワメンタイ（ロシア語で налим）.
- n'e<sup>1</sup>** 【前倚辞】互いに：tamunpe n'eanuraal'elĵi 彼らは愛し合っていた [2-006-23].
- n'e<sup>2</sup>** 【前倚辞】～さえ（～しない）；< не (R) : met avurpel juöde n'e ooĵii el kesiiĵemet（お前たちは）私の苦しむのを見ながら，水さえも汲んで来なかった [1-034-07].
- n'ekieĵii-** 【自動詞】競争する：ataxun alvaarn'eĵe foromopol n'ekieĵiĵi, n'exodile el mudeĵnuĵ 2人の裸の人が競争している，どちらも追い越すことができない [2-058-21].
- n'el'ii-** 【他動詞】舐める：meemee mezzeĵiĵide tude faĵxul n'el'iinumle クマは目覚めると自分の指を舐めた [1-026-01].
- n'elize-\*** 【自動詞】自分の体を舐める.
- n'elbet-** 【他動詞】皮を剥ぐ：joodegele aaj n'elbetum（オオシカの）頭（の皮）も剥いだ [2-030-07~08].
- n'eleme** 【代名詞】何も（～ない）：pude nume arxaa n'eleme oĵl'e losil činoolget ĵienben 外の家のそばには，割られた薪のほかには何もなかった [1-072-15].
- n'emaalovu, (n'emaalugu, n'emalovu)** 【名詞?】両側：jaxadelle, tude kieĵie, jolaa n'emaalovude n'ugerege egetes'um kriespegele（彼は）着くと，自分の前，後ろ，両脇

に置いた、十字架を [1-112-28~29] / *n'emaalugu laṅdet n'ied'iiji, moṣolupkaa laṅdet, jukujongṣaa laṅdet* 両方の側で話し合いがなされた、梟の側で、雁の側で [1-030-08] / *taṅ meemeegele n'emalobude unemedegēt mid'um.* (彼は) その熊の両耳をつかんだ [2-044-17~18].

**n'emaalugu** ⇒ *n'emaalovu.*

**n'emalovu** ⇒ *n'emaalovu.*

**n'emd'edie** 【名詞】兄弟.

**n'emd'eje** 【名詞】兄弟.

**n'emolvil** 【名詞】年 : *irkin alme isto n'emolvilge modoj* 1人のシャマンが100年間暮らしていた [2-018-26].

▷ **n'emolviln'e-**【自動詞】～歳の : *numeṣin xollukene, čugege ataxun n'emolviln'ej jaxadaas'ek uldoot ovootel* (あなたが) 家に行くとき、途中に2歳の馬が繋がれて立っているでしょう [1-064-20~21].

**n'emolvodegen** 【副詞】互いに : *ovool faal, n'anme, ulege n'emolvodegen ann'et, n'ied'iit ovooṅil* 立っている木、サルヤナギ、草は互いにしゃべり、話しながら立っていた [1-094-21~22].

**n'exadinge** ⇒ *n'exadunge*

**n'exadunge, (n'exadinge)** 【副詞】どこにも(～しない) : *čolvoro n'exadunge ojl'e* ウサギはどこにもいない [1-052-13] / *n'exadinge seṣrejdin ojl'e* (彼は) どこへも逃げるのができなかった [1-032-04~05].

**n'exajde** ⇒ *n'exajide.*

**n'exanin** 【副詞】決して(～しない)、一度も(～しない) : *met n'exanin oozii el juönuje* 私は一度も水を見たことがない [1-030-35~36].

**n'exajide, (n'exajde)** 【副詞】どこへも(～しない) : *tii modok, n'exajide el kellek* ここで暮らせ、どこへも行くな [1-096-22] / *tet tiit n'exajde el xonteṣek!* お前はここからどこへも行けないだろう! [2-028-14~15].

**n'exajile** 【代名詞】どちらも(～しない) : *n'exajile el pudoonu* どちらの人も勝っていない [1-110-06].

**n'exodile** 【代名詞】どちらも(～しない) : *ataxun albaarn'eje foromopol n'ekiejiiji, n'exodile el mudeṅnuj* 2人の裸の人が競争している、どちらも追い越すことができない [2-058-21].

**n'exodo** 【副詞】どうしても(～しない) : *joṣotet el joṣot n'exodo* (彼女は扉を) 開けようとしたが、どうしても開けられなかった [2-028-10].

**n'exon** 【副詞】どこにも(～しない) : *irkind'e petr berbekin juödege, n'exon ojl'e taṅ kelid'e*

- ある時、ピョートル・ベルベキンが見ると、どこにもその虫はいなかった [1-104-13].
- n'ičaas** 【副詞】少しの間：met tii *n'ičaas* uŋguuteje 私はここで少しの間眠る [1-064-06].
- n'id'ie-** 【他動詞】撫でる：tude jooge *n'id'ienum* (彼は) 自分の頭を撫でている [2-032-20~21].
- n'idej-** 【他動詞】《完了》言う：sar *n'idejm*, tabunget fejpedanil'gi, pon'xofögnubedanil'pe čumu töbieŋi (彼は) 何か言った, すると扉と窓が全て閉まった [1-094-36~37].
- n'ied'ii-** 【自動詞】話す, 話し合う：taŋnugi ladno, met *n'ied'iičče* tetin それなら, いいだろう, 私はお前に話そう [2-040-06] / xollume *n'ied'iiŋitej*, taa monŋitej, xanin svad'ba oodeejle (彼らは) もうすぐ話す, そしていつ結婚式があるかを言うだろう [1-028-03].
- n'ied'iil** 【名詞】物語.
- n'ied'iirri-** 【他動詞】～について話す：tiŋ čüöled omnii *n'ied'iilgele* mitin mit xaaxaape, epiepe *n'ied'iiriinunugaa* この昔の人々の物語を私たちに, 私たちのおじいさん, おばあさんが話した [2-006-13~14].
- n'ier** 【名詞】衣服.
- n'igeze-** 【自動詞】自分の体を温める：taat tude föftokke *n'igezet* modoj すると (彼女は) 自分の炉の台のところで温まりながら座っていた [1-052-34~1-054-01].
- n'ijieduu** 【名詞】吐瀉物.
- n'irkind'e** ひとつも (～しない)：n'*irkind'e* anil ojl'e. 一匹の魚もいなかった [2-026-22].
- n'oŋo-**, (**joŋo-**) 【自動詞】倒れる：ibiliet *n'oŋoj* (彼は) 泣いて倒れた [1-090-21] / taa juödege – čomoolben *joŋol'el* そこで (彼が) 見ると, オオシカは倒れていた [2-004-31].
- n'orol\*** 【名詞】水たまり.
- n'uboje** 【名詞】4~6本の脚のついた方形の台.
- n'ugere** 【名詞】脇, 脇腹.
- n'ugeredamun\*** 【名詞】肋骨.
- n'ugerede\*** 【副詞】横臥の状態で：tudel *n'ugerede* xodooj 彼は横臥している [AG021017].
- n'ugunmuge\*** ⇒ jukunmuge.
- n'umd'e\*** 【名詞】顎.
- n'umie-** 【自動詞】(火が) 消える：losil *n'umiej* 火が消えた [2-044-20].
- n'umud'ii** 【名詞】斧.
- n'umudi-\*** 【自動詞】苦い.
- n'umuje** 【名詞】4~6本の脚のついた方形の台.
- n'utn'e-** 【自動詞】立っている：ugujelme egiej, *n'umud'ii* aaj *n'utn'ej* 翌朝 (彼は) 起きた, 斧は (扉に突き刺さったまま) まだ立っていた [1-088-04].
- n'uu** 【名詞】名前.



**n'uun'e<sup>1</sup>** 【自動詞】呼ばれる.

**n'uun'e<sup>2</sup>** 【他動詞】呼ぶ, 名付ける.

**n'uutie-** 【他動詞】呼ぶ, 名付ける: *met joul'etl'eme marxil'gele jarxadan n'uule n'uutiel'elḡaa*  
私の愛する娘をヤルハダンという名で呼んだ [2-056-17~18].

**n'uzugood'oon** 【名詞】貧乏人.

## n

**naar** 【副詞】いつも, 始終: *kind'e pod'erxoḡin naar tudel kind'elek ejmeriinul'elum*. 月が  
明るいときには, いつも彼女は月をじっと見ていた [1-022-02].

**nado** 必要である; < *надо* (R): *xaḡsaa čičīgi nado* 煙管を掃除しなくてはならない  
[2-036-01].

**nadoḡoo-** 【自動詞】必要である; < *надо* (R), *ḡoo-* 「~である」: *jodod'ubelek nadoḡool*  
*duu?* リスが必要か [2-012-30].

**naḡaa** 【副詞】とても; < (Y): *terikee, met prodaḡil'ge naḡaa omos'e pajk jeduul* 妻よ,  
私の氷の穴にととても美しい女が現れた [2-032-26].

**nasiile** 【副詞】やっとのことで: *numege nasiile jaxaj* (彼は) 家にやっとのことで着い  
た [2-010-27].

**nelemnoe** 【固有名詞】ネレムノエ村; < (R).

**neme** 【疑問詞】何.

**nie-** 【他動詞】1) 呼ぶ: *taat uujstiigele tudin niel'elum urasaḡin, taaḡle moll'el* そして (彼  
は) 雇人を自分のところに, ウラサに呼んだ [2-036-13].

2) 頼む: *xaaxaa, tudaā čoomoon leḡdool'it, nienuḡuke tet čolworo ejmundegi keḡmek* おじ  
いさん, かつて (私が) とても空腹で, 頼んだら, お前はウサギを半分 (私に) くれた  
[1-058-02~03].

**niede-** 【他動詞】呼ぶ: *irket xojle el niede, irket niedem* 1人は神を呼ばなかった, 1人  
は呼んだ [1-110-11~12].

**niemut\*** 【名詞】角袋.

**niete-** 【他動詞】呼ぶ, 名付ける.

**nigejoo-** 【自動詞】重い, 困難である: *tudege nigejood'e uujlek aanume* 彼のところで (私  
は) 困難な仕事をしていた [2-034-24~25].

**nigeḡelme** 【副詞】昨日: *esie, nigeḡelme čuulek kesiimele* 父さん, 昨日 (彼女は) 肉を  
運んで来た [2-030-22~23].

- nigize-** 【自動詞】体を揺する : *axiduudelle, juödege, tintaj touke nigizelle, nigizelle, n'e omos'e marxil'goot kudej* (彼が) 隠れて見ると, その犬は体を揺すって, 美しい娘に変身した [1-068-26~27].
- niijxaar** 【名詞】雲.
- nilgi** 【代名詞】誰も (~しない) : *nilgi taj miestege id'ii el modo* 誰もその場所に今は住んでいない [2-028-18] / *nilgin metul el pundulek* 誰にも私のことを話すな [1-074-02].
- nille\*** 【名詞】蛆虫.
- nilledume\*** 【名詞】蠅 (муха).
- ninbaa** 【名詞】裁縫の際に皮や布を押さえるための板.
- ninge-** 【自動詞】多い : *met ningej foromok axurpejme* 私はたくさんの人を苦しめた [1-102-30~31].
- ningelid'e** 【副詞】何度も.
- ningoo** 【副詞】たくさん : *caaçaagi ojl'elme tintaj čuul'd'ii pulutkele ningoo legitem* (彼女の) 兄がいないときに, (彼女は) そのおとぎの老人にたらふく食べさせた [1-080-21~22].
- ningumu-** 【自動詞】増える : *taat migide čolxoro, čomood'e end'oon, anil, nodo titte modool miestege ningumul'el* それ以来ウサギ, 大きな動物, 魚, 鳥は彼らの住む場所で多くなった [1-074-12~13].
- ninge-** 【他動詞】倒す : *taj kimnii jaale čumu ninzetum kuödet* その鞭は木を全て毟って倒すだろう [1-066-02].
- niñje** 【名詞】1) 胸. 2) 気分.
- niñjebun** 【名詞】前掛け.
- niñjedamun** 【名詞】胸骨.
- niñjeduu\*** 【名詞】吐瀉物.
- nodo** 【名詞】鳥.
- noxi** 【名詞】指貫.
- noxo** 【名詞】砂.
- noj** 【名詞】足.
- nojdi-, (nondii-)** 【他動詞】見張る, 番をする : *pulutki aas'e nojdiit eguzuj* 彼女の夫はトナカイを見張りながら行った [1-032-20].
- noj** 【名詞】足.
- nolut** 【名詞】ヤナギの一種 (ロシア語では тополь あるいは тальник と訳されている).
- nondii-** ⇒ **nojdi-**.
- pono<sup>1</sup>** 【名詞】(ノイバラなどの) 幹 : *Jebis'e pono molxo jöktelle, taat xodooteje!* ノイバ

ラの幹の間に入って、そして横になっていよう! [1-102-38~1-104-01].

**nono<sup>2</sup>** ⇒ nonol.

**nonol**, (**nono**) 【名詞】(ウサギ, 鳥などを捕るための) 罠: *nonoldege irkin xan'ilek igiel'elul* 彼の罠に一羽の鷺がかかっていた [1-062-32].

**nonxaar** 【名詞】脚の皮: *nonxaardeejle mureņoon aam* (ウサギの) 足の皮から靴を作った [1-054-32].

**noņoon** 【疑問詞】なぜ: *pulut, metul noņoon kimdaan'eriimek?* おじいさん, (お前は) 私をなぜ騙すのか [1-064-15].

**norxovaa-** 【自動詞】動く: *ködiel norxovaa'l'el, taatl'et laxilgi fel'gejl'el* オオカミは動いた, すると, (その) 尾がちぎれた [1-060-32~33].

**norxučuf-** 【他動詞】ゆがめる.

**norxune-** 【自動詞】皺のついた, もじゃもじゃの: *muregi norxunex* 彼の靴は皺だらけだった [2-028-01].

**noxfo** 【名詞】クロテン (ロシア語で *соболь*).

**nug-**, (**nuk-**, **num-**, **nuņ-**, **nuu-**) 【他動詞】見つける: *aņsiit etergen numegele nugum* (彼は) 探して蟻の巣を見つけた [2-030-36].

**nugečii-** ⇒ *nugede-*.

**nugede-** 【他動詞】作る, 変える: *tamungele aaj legitet foromņoon nuggedenul'elņaa* それ(その人)に再び食べさせて, 人間らしく変えた [1-020-19~20].

▷ **nugečii-** 《反復》.

**nugen** 【名詞】手, 腕.

**nuk-** ⇒ *nug-*.

**num-** ⇒ *nug-*.

**nume** 【名詞】家.

**numen'ugere\*** 【名詞】壁.

**nuņ-** ⇒ *nug-*.

**nuō-** 【自動詞】笑う: *jaxalaadie nuōdelle, nuōdelle, fejres'* キツネは笑って, 笑って, 逃げた [1-060-17].

**nufel'ef-**, (**nufeļef-**) 【他動詞】(罠を) しかける: *pude tude nume pudelie čolboroņin nonolek nufel'efmele* (彼は) 自分の家の外でウサギに罠をしかけた [1-056-01].

**nufeļef-** ⇒ *nufel'ef-*.

**mutn'e-** 【自動詞】立っている.

**mutneje\*** 【名詞】臍.

**nuu-** ⇒ *nug-*.

**nuube** 【名詞】根.

**nuuzugoo-**, (**nuzugoo-**) 【自動詞】貧しい.

**nuzugoo-** ⇒ **nuuzugoo-**.

## ŋ

**ŋoo-** 【自動詞】～である : *met el tebegej ŋood'e* 私はテベゲイではない [1-088-33] / *embumul'eld'e. taat ŋoogen* (私は) 黒くなった, このままにしておけ [1-028-18].

## o

**odul** 【名詞】ユカギール (自称).

**oɔoo-** 【自動詞】立っている, (立った状態で) 置かれている : *pulut tabungele juöt oɔooj* 老人はそれを見ながら立っていた [1-088-07~08] / *čoxočoge arpajŋidege, irkin luusiin numek oɔool'elul* (彼らが) 岸壁に登ると, 一軒のロシア式 (木造) の家がたっていた [1-070-27~28].

**oɔunbe-\*** 【自動詞】濡れる.

**ojd'e-** 【自動詞】吠える : *taat ugzuuŋidege, toukeпки iŋkom me ojd'ej* そして (彼らが) 眠ったとき, (彼らの) 犬はずっと吠えていた [2-044-07].

**ojdoɔe** 【名詞】崖 : *nolutn'eje ojdoɔeŋin kebes'* (彼は) サルヤナギのはえている崖に行った [1-054-24].

**ojil** ⇒ **ojl**.

**ojl**, (**ojil**) 【名詞】(水の) 流れ : *taat jiezut noj minogi čomood'e ileje kelut ojilge jottet bojs'e čerefum* こうしてノアの筏が流れていくと, 強い風がやって来て, 流れに舞い上げて, すっかり沈めてしまった [1-038-08~09].

**ojl'e-** 【自動詞】1) ない, いない : *ostooldege n'elemie ojl'e* 彼のテーブルの上には何もなかった [1-072-17].

2) ~できない : *n'exadinge fejrejdin ojl'e* (彼は) どこへも逃げるのができなかった [1-032-04~05].

**oknodanjl'** 【名詞】窓 ; < OKHO (R), d 挿入子音, aŋil' 「(容器の) 口」.

**olbol'e** 【名詞】雌.

**oldud'aa-** 【自動詞】呪う：tabunge kukkii *oldud'aaj* するとアオカケスは呪文を唱えた [1-030-14].

**olgire-\*** 【自動詞】びっこの。

**olʁin** 【副詞】まっすぐに：taat n'umud'iidie peffejdeejne *olʁin* xonnul'el そうして（彼は）斧を投げると、（斧は）まっすぐに進んだ [1-098-18].

**olʁinmie-\*** 【自動詞】まっすぐな。

**olʁuj, (alʁuj)** 【名詞】大きな釜。

**oll'oode-** 【自動詞】巨大な：taat xonut *oll'oodej* čomood'e nodo merejdege, irkejt molind'aat el amdeji こうして（彼らが）行く途中で、巨大な大きな鳥が飛びたつと、（彼らは）驚いてもう少しで死にそうになった [1-044-14~15].

**olmon** 【副詞】始終：lonjdodege, oode xonzoget faxal'ej jollo *olmon* al'bej（彼が）踊っている間中、ズボンの穴から黄色い泥がこぼれていた [1-052-05].

**olo-** 【他動詞】盗む：ukejdelle, tintaj jaxadaas'egele aaj *olodelle*, aritem（彼女は）外へ出て、その馬を再び盗んで隠した [1-064-27].

**olunu-\*** 【自動詞】盗む。

**omdu-\*** 【自動詞】急ぐ。

**omnii** 【名詞】1) 人々。2) 家族。

**omo-** 【自動詞】良い、素晴らしい、美しい：uörpe, nemen *omos'e* xolilek meduul! 子供たちよ、なんて素晴らしい音が聞こえるんだろう! [1-058-11] / terikee, met prodanjil'ge naraa *omos'e* pajk jeduul 妻よ、私の氷の穴にとっても美しい女が現れた [2-032-26].

**omolbe-** 【自動詞】良くなる、回復する：tabunge met terike anj'e *omolbeti* そうしたら私の妻の目は良くなるだろう [1-088-07].

**omoli-\*** 【自動詞】恥ずかしい。

**omoloxii-** 【他動詞】恥ずかしがる：met terike fögöl *omoloxiit* el föu 私の妻は（家に）入るにを恥ずかしがって入って来ない [1-054-14~15].

**omolot-** 【他動詞】治療する：e-e, mond'e anj'ejde joul'benpejin, eris' juölbenpejin met *omolotnunu* ああ、目の病気の者たちを、良く見えない者たちを私は治療したものだと言ったんだ [1-098-30~31].

**omoluj-** 【自動詞】《反復?》恥ずかしがる：*omolujaaŋi*（彼らは）恥ずかしがりだした [2-026-10].

**omon** 【副詞】とても：*omon* juudes', jeŝpedanjil' jobodajk! とても煙たくなった、扉を開ける! [1-100-28].

**omos'** 【副詞】良く、うまく、素晴らしく：tudel mitket aaj *omos'* modoj 彼は私たちよりも良く暮らしている [1-114-16].

- omos'oon** 【名詞】良いこと, 良いもの: *omos'oodek aame, omos' eduön!* お前は良いことをした, それは良い! [1-116-03].
- ono-** 【他動詞】取り上げる.
- onor** 【名詞】舌.
- onorn'e-** 【自動詞】嘘をつく.
- onorn'erii-\*** 【他動詞】～を騙す, ～に嘘をつく.
- onj-\*** 【自動詞】1) 濡れている. 2) 生の.
- oo<sup>1</sup>** 【名詞】ズボン.
- oo-<sup>2</sup>** 【自動詞】1) ～である: *ijl'iis'e pajlis'e foromo ool'eld'ek* お前は恐ろしくてずるがしこい人間だ [1-104-37] / *tañ jurguuge föjl'el, tamun meemee abut ool'el* (彼女は) その穴に入った, それはクマの巣穴だった [1-024-31~32].
- 2) ある, いる: *irkin poogood'e pajpe ool'el* 1人の孤児の女の子がいた [1-020-29].
- 3) (動詞語幹 + *joon~d'oon~-s'oon* に続いて) 過去の出来事を表わす: *foromo ed'ul el'ed'ooftin kies'oon ood'ek* 人の命を滅ぼすために (お前は) 来たのだ [2-028-14].
- oo-<sup>3</sup>** 【他動詞】汲む: *d'e taat mill'elum pugese svinetse, xolaa oodelle* そして熱い錫をひしゃくで汲んで手にした [1-100-20~21].
- ooze-<sup>1</sup>** 【他動詞】飲む, (タバコを) 吸う: *pulundie oovoot ooziile oozem* 老人は立ったまま水を飲んだ [2-026-15~16] / *tabaax oozeeti* (私たちは) タバコを吸おう [2-034-35].
- ooze-<sup>2</sup>** 【自動詞】飲む: *lodaax xodooj, oozej* (彼は) うつ伏せに横たわっていた, (川の水を) 飲んだ [1-078-09].
- oozef-, (oozeje-)** 【他動詞】飲ませる: *tañ terikiedie tañ pulundiegele čajle oozefum* その老婆はその老人にお茶を飲ませた [1-064-05] / *tintañ terike čaje oozejem, legitem* その老婆は (老人に) お茶を飲ませた, 食べ物を与えた [1-064-24].
- oozeje- ⇒ oozej-**
- oozii** 【名詞】水, 水辺.
- ooziinodo** 【名詞】カモ (ロシア語で утка).
- oozintibo\*** 【名詞】雨.
- opoll'aa** 【副詞】のちに: *tañ čuul'd'ii pulutkin ejrel adil xañis'epki ool'el opoll'aa, terikettelle, uön'et, aaj omos'e omniinoot gudel'elji* おとぎの老人のところへ行ってきた若者は一流の狩人となり, のちに結婚し, 子供をもち, そして良い家族となった [1-074-13~15].
- orpe-** 【自動詞】用心する, 気をつける: *foromolek tii l'ej, orpek, juök!* 人間がここにいるぞ, 気をつけろ, 見ろ! [1-094-35~36].
- orpojd'e** 【名詞】干しもの掛け.
- orpoo-** 【自動詞】掛かっている: *orpojd'ege čuulek orpool'elul* 干しもの掛けに肉が掛かっ

ていた [2-044-23].

**orpu-** 【自動詞】掛かる : *murduule orpučii – taat orpunuŋi* (彼は) 靴下を干した, すると (その靴下は) 掛かっていた [1-108-10].

**orpučii-** ⇒ *orpure-*.

**orpure-** 【他動詞】掛ける, 干す : *pulundie tude masilgele löudelle, jaalge orpurem* 老人は自分の外套を脱いで, 木に掛けた [1-082-12~13].

▷ **orpučii-**《反復》 : *murduule orpučii – taat orpunuŋi* (彼は) 靴下を干した, すると (その靴下は) 掛かっていた [1-108-1].

**orul** 【名詞】叫び声.

**ospodi** 【間投詞】やれやれ, おやおや ; < господи (R).

**ostool** 【名詞】テーブル ; < стол (R).

**ot** 【前倚辞】~かもしれない : *taŋnuŋi anilpe čumut ot amdeŋi* すると魚は全部死んでしまふかもしれない [1-046-27~28].

**oxill'aa** 【名詞】カワズズキ ; < окунь (R) : *oxill'aa and'elek anilpeŋin* カワズズキは魚たちの首長だ [1-046-29].

**ozuu\*** 【名詞】細い根.

## ö

**öjmunn'e-** 【自動詞】甘える : *taŋ pulutkin öjmunn'eŋ* (その犬は) その老人に甘えた [1-068-12].

**ömgede\*** 【名詞】鞍.

**önče** ⇒ *önčie*.

**önčie, (önče, önd'e)** 【名詞】雄.

**önd'e** ⇒ *önčie*.

**öndie** 【名詞】小川.

**önme** 【名詞】知恵, 思考.

◇ **önme ejref-** ⇒ *ejref-*.

◇ **önmege ejte-** ⇒ *ejte-*.

◇ **önmege jaxa-** ⇒ *jaxa-*.

◇ **önmege l'ii-** ⇒ *l'ii-*.

◇ **önme uuŋii-** ⇒ *uuŋii-*.

**önmedej-** 【自動詞】《完了》気がつく、われにかえる : taat *önmedes'*, polge lodaax xodooj  
そして (彼は) 気がついた, 床にうつぶせに横たわっていた [2-014-17].

**önmen'-** 【自動詞】賢い : *önmend'e foromo ool'eld'ek!* (お前は) 賢い人間だ! [1-110-17].

**önmiemie** 【名詞】若いカラマツ (молодая лиственница).

**önrej-** ⇒ **önze-**.

**önze-** 【自動詞】降りる.

▷ **önzej-, önrej-**《完了》 : *pulundie tabunge önz'es' prolubeñin* おじいさんは, すると, 氷穴のところへ降りて行った [1-078-08].

**örçii-** ⇒ **örn'e-**.

**örd'e** 【名詞】(空間・時間的に) 真ん中, 中頃 : *met joo örd'edege peniñik* 私の頭をその中央に置きなさい [1-080-07].

**örd'ool** 【名詞】真ん中, 中心, 中央.

**örd'ooltañ** 【名詞】兄弟の中で年齢が真ん中の者.

**örl** ⇒ **örl**.

**örn'e-** 【自動詞】叫ぶ : *terikiedie örn'ej* おばあさんは叫んだ [1-066-10].

▷ **örçii-**《反復》.

▷ **örtej-**《完了》 叫ぶ : *tabunget örtejl'el:* "töbieñik čumut!" そのため, 「全員閉じろ」と (彼は) 叫んだ [1-100-29].

**örn'erii-\*** 【他動詞】～に叫ぶ : *tudel metkele örn'eriiim* 彼は私に叫んだ [AG970800].

**örtej-** ⇒ **örn'e-**.

**örl**, (**ör**) 【名詞】叫び声 : *ejredege jaal iis'ege örulek meduul* (彼が) 歩いていると, 木のでっぺんで叫ぶ声が聞こえた [1-084-05~06].

## P

**paabaa** 【名詞】姉.

**pad-**, (**pan-**, **pat-**) 【他動詞】1) (魚網を川・湖に) しかける : *taat siimele joujelek ultemle, tabungele ununge padum* そして (彼女は) 馬の毛の網を編んだ, それを川にしかけた [1-080-15~16].

2) 煮る : *ugujelme egieñi, aaj čuule padum* 翌朝 (彼らは) 起きた, 再び肉を煮た [2-038-18].

**padie-** 【他動詞】沈める, (網を) しかける.

**pañul\*** 【名詞】大型の魚網.



**parumu-**\* 【自動詞】魚網をしかける。

**padief-** 【他動詞】(網を)しかける。

**paj<sup>1</sup>** 【名詞】女：tañ xanujiit modol omniige irkin pajk joul'et xodool'elul その移動しながら暮らしている人々のところに、1人の女が病気のため横たわっていた [1-032-19~20].

**paj<sup>2</sup>** 【他動詞】殴る，叩く：taat terikiedie jaxadaas'egele jouwodemenjin pajm すると老婆は馬の背中を叩いた [1-066-20].

▷ **pajdu-**《反復》：jouwodegen pajduk (その馬の) 背中を殴れ [1-064-32].

◇ **porle paj-** 蹴る：tabunge imičume jowomut kukkiidiegele porle pajm すると白鳥は怒ってアオカケスを蹴った [1-030-12~13].

**pajaa-** 【他動詞】持ち上げる。

**pajaj-** 【他動詞】持ち上げる：paabaagi tañ föjlgele pajajm (彼女の) 姉はその石を持ち上げた [1-082-19~20].

**pajdu-** ⇒ paj<sup>2</sup>.

**pajl** 【名詞】女：taat tiñ omniipegele numepedegen ejret, irkin n'aas'end'e pajl numege jax- adelle, legulek nienumle そうして(彼は)その人々の家々を歩き回り、1人のけちな女の家に着いて、食べ物頼んだ [1-020-10~11].

**pajli-** ⇒ pajluu-.

**pajluu-**, (**pajli-**) 【自動詞】ずるがしこい：inl'iis'e pajlis'e soromo ool'eld'ek お前は恐ろしくてずるがしこい人間だ [1-104-37].

**pajp** ⇒ pajpe.

**pajpe**, (**pajp**) 【名詞】女：tude soromon'ulpedege irkin pajpege aduögi meemee ood'oodek 彼の親戚では、1人の女の息子がクマだった [1-026-19~20].

**pajpeduö** 【名詞】女の子：irkin pulut l'ej, ataxun uön'ej, irkiet pajpeduök, irkiet köjpeduök 1人の老人がいた、彼には子供が2人いた、1人は女の子、1人は男の子だった [1-078-02~03].

**palaa-** 【自動詞】助かる，逃れる：taat palaa amdelget そして(彼は)助かった，死から [1-108-07].

▷ **pollod'ii-**, **polod'ii-**《反復》：tuden'e kelul soromopol čumut ajbiinoot pollod'iiñi 彼と一緒に来た人々は皆、影になって助かった [1-110-36].

**pan-** ⇒ pad-.

**pande-** 【自動詞】煮る，食事の支度をする：n'elbettelle, pandej, leydej (彼女はオオシカの)皮を剥いで、煮た，食べた [2-030-06].

**paraa** 【名詞】時代，時；<пора (R)：d'e taat irkin paraage tudel xoni そしてあるとき，

彼は行った [1-106-10].

**parnaa** 【名詞】カラス (ロシア語で ворона).

**pasiiba**, (**pasiibe**) ありがとう ; < спасибо (R).

**pasiibe**<sup>1</sup> ⇒ **pasiiba**.

**pasiibe**-<sup>2</sup> 【自動詞】感謝する : *hojl, pasiibes'e! xristos, pasiibes'e!* 神よありがとう!, キリストよありがとう! [1-116-26~27].

**pat-** ⇒ **pad-**.

**pažili-**\* ⇒ **pažiluu-**.

**pažilii-**\* 【他動詞】くすぐる : *tudel uole hazidalbedegen pažiliim* 彼は子供の腋の下をくすぐった [AG030827].

**pažiluu-**\*, (**pažili-**) 【自動詞】痒い, くすぐりたい : *nugenpe pažiluuji* [AG030811].

**pečal'n'e-** 【自動詞】悲しい ; < печальный (R), -n'e 「~を持った」.

**ped'el** 【名詞】匂い.

**pejd'e** 【名詞】(オオシカなどの) 肩の部分.

**pejzii-** ⇒ **peffej-**.

**pelie-** 【他動詞】拭く : *pulundie aŋd'e ooziigele peliem* おじいさんは涙を拭いた [1-054-21~22].

▷ **peluuj-**《反復》.

**peluuj-**\* ⇒ **pelie-**.

**peme** 【名詞】虱.

**pemere-**\* 【自動詞】転がり落ちる.

**pen** 【代名詞】もの (天候・季節・寒暖・明暗, 健康などの漠然とした状況) : *pen pod'erxodi* 夜があける [1-076-05] / *taat pen pugedes', pooredes'* そして暖かくなった, 春になった [2-028-22] / *pengi eruulbel* (私は) 気分が悪くなった [2-050-11].

**penii-** 【他動詞】置く, 残す : *taat tintaj foromo čistonood'e tarelkage omos'e legulgele peniidelle, taj toukejin tadiim* そしてその人はきれいな皿においしい食べ物を置いて, その犬に与えた [1-068-22~23].

**peffej-** 【他動詞】《完了》 1) 投げる : *irkin unuŋdiege jaxtelle, taa ooziige pulundiegele peffejm* (キツネはおじいさんを) ある小川まで運ぶと, その水の中におじいさんを投げ込んだ [1-056-15].

2) 放す : *irkin tude toukegele prosto peffejm* (彼は) 一匹の自分の犬を放した [1-080-13].

▷ **pejzii-**《反復》 : *irkin aŋd'en'ulben fešpedaŋil' jowodajtelle, amunpek pude pejziimele* 一つ目の男は扉を開けて, 骨を外へ投げた [1-100-37~38].

**pibil\*** 【名詞】針葉.

**pičcii** 【名詞】小鳥.

**pie** 【名詞】山.

**piedalbe** 【名詞】山麓.

**piede-** 【自動詞】燃える : emd'e, piedeji. mit nume *piedel* 弟よ, (私たちは) 燃えている, 私たちの家が燃えている [2-042-16].

▷ **piedej-**《完了》: taat omol anđ'egi bojs'e *piedejl'el* すると, 彼の良い方の目はすっかり燃えてしまった [1-100-26].

**piededej-** ⇒ **piedet-**.

**piedet-** 【他動詞】燃やす : losilek *piedetjile* (彼らは) 焚火を焚いた [2-018-10].

▷ **piededej-**《完了》: met mažil *piededej* 私は外套を燃やしてしまった [1-060-25].

**piedis'e** 【名詞】人差指.

**pienjurguu** 【名詞】洞窟.

**pierii** 【名詞】羽, 羽毛.

**pierinraa\*** 【名詞】浮袋.

**pige\*** 【名詞】ほくろ.

**pod'egej-** 【自動詞】《完了》輝く : anđ'e *pod'eges'* 目が輝いた [2-038-17].

**pod'erxo** 【名詞】1) 光, 明かり : kind'e *pod'erxo ooziige pojneji* 月の光が水に (反射して) 明るかった [1-024-19~20].

2) 日 : čaaje *pod'erxo pon'ool'el, n'eleme el aatejek* わずかな日にちしか残っていない, 何も (お前は) できないだろう [1-092-27~28].

**pod'eroxod-** 【自動詞】夜が明ける : taat pen *pod'eroxodi* そして夜が明けた [2-044-33~34].

**pod'eroxome** 【副詞】日中 : d'e taat *pod'eroxome modot esiegi moni tude uöjin* そして日中に座りながら父親が子供に言った [2-030-20~21].

**pod'oro-\*** 【自動詞】光る.

**porod'aax** 【副詞】膝をついて : d'e beregke *porod'aax madaaŋi* (彼らは) 岸に膝をついて座った [2-026-05].

**pojne-** 【自動詞】1) 明るい : kind'e *pod'erxo ooziige pojneji* 月の光が水に (反射して) 明るかった [1-024-19~20].

2) 白い : poŋzube čumu *pojnej emid'e jörilen'i* キジバシオオライチョウは全体に白と黒の色がついている [1-032-11~12].

**pojnii-** 【他動詞】照らす : ataxun pon'xo *tite pojniim – kuzuuet, ooziiget* 二つの明かりのように照らした, 空から, 水辺から [1-024-20~21].

**pojre<sup>1</sup>** 【名詞】糞, 下痢.

**pojre-<sup>2</sup>** 【自動詞】排便する：delbi pojres', pojredege, met aŋd'e čumut töbiej (オオカミは私の顔にむけて) 強く糞をした, 糞をすると, 私の目は全部ふさがった [2-040-38].

▷ **pojrej-**《完了》：delbi pojres', pojredege, met aŋd'e čumut töbiej (オオカミは私の顔にむけて) 強く糞をした, 糞をすると, 私の目は全部ふさがった [2-040-38].

**polčii-** ⇒ polde-.

**polde-**, (**poldo-**) 【他動詞】 1) 引っぱり出す：taŋ paj tude legul *poldelle*, leŋdel'el その女は自分の食べ物を(鍋から)引きだして食べた [1-074-28].

2) 救う, 助ける：metul amdelget *poldemik* (お前は)私を死から救った [1-044-34].

▷ **polčii-**, **polučii-**《反復》：tude uörpepulgele esien'it aaj legulpedeejle *polučiiille*, legitem (彼女は)自分の子供たちと父親(夫)にも食べ物を引っぱりだして, 食べさせた [1-074-28~29].

**poldo-** ⇒ polde-.

**pollo-\*** 【自動詞】腐る：čuul *polloj* 肉は腐った [AG020517].

**pollod'ii-** ⇒ palaa-.

**polod'ii-** ⇒ palaa-.

**polod'iif-** 【他動詞】救う.

**polučii-** ⇒ polde-.

**polžis'e** 【名詞】葉.

**pon'aaf-** 【他動詞】残す：emej, mitul el *pon'aaflek!* お母さん, 私たちを置いていかないで! [1-034-06].

**pon'oo-** 【自動詞】残る：tintaŋ emd'egi numege *pon'ooj* その(彼の)妹は家に残った [1-080-13~14].

**pon'xaaraa** 【名詞】白樺(ロシア語で берёза).

**pon'xarxaar\*** 【名詞】白樺の樹皮.

**pon'xo** 【名詞】 1) 光, 明かり：ataxun *pon'xo* tite pojniim – kuzuugget, ooziiget 二つの明かりのように照らした, 空から, 水辺から [1-024-20~21].

2) 白：pon'xo n'aazube morot *pon'xaaraadieŋpoot gduj* (彼女は)白いスカーフをつけて, 白樺になった [2-052-26].

**pon'xonodo** 【名詞】オオヤマネコ(ロシア語で рысь).

**pon'xoŋögnubedaŋil'** 【名詞】窓.

**poŋde** 【名詞】お金.

**poŋis'e** 【名詞】溶けた脂.

**poŋis'en'-** 【自動詞】脂っこい：met kudedelben *poŋis'en'i*, *poŋis'en'i!* 私が殺したやつ(オオシカ)は脂っこい, 脂っこい! [1-068-05].

**poŋzube** 【名詞】 キジバシオオライチョウ (ロシア語で глухарь).  
**poo** 【名詞】 孤兒.  
**poŋoo-** 【自動詞】 孤兒である.  
**pooredej-** 【自動詞】 《完了》 春になる : taat pen pugedes', pooredes' そして暖かくなつた, 春になった [2-028-22].  
**pooreme** 【副詞】 春に : nume jekl'ie ejrej pooreme (彼は) 春に狩をしに行った [2-028-20 ~21].  
**porle** ◇ **porle paj-** ⇒ **paj-**.  
**porxo-** 【自動詞】 折れ曲がっている.  
**porxuči-\*** 【自動詞】 折れ曲がる.  
**porxufaj-\*** 【名詞】 《完了》 折り曲げる.  
**pög-** 【自動詞】 (動物が) 走る : faxale taat pögiej 狐はすると走りはじめた [1-056-30].  
 ▷ **pökčii-** 《反復》.  
**pökčii-** ⇒ **pög-**.  
**pölbliel** 【名詞】 (湿地・沼地に散在する, 草・苔に覆われた) 小丘, 谷地坊主.  
**pömne-** 【自動詞】 丸い.  
**pömuđu-** 【自動詞】 (橇などで) 滑る : taat pude pömuđu tude epie ninbaale すると (彼は) 外で滑った, 自分のおばあさんの裁縫用の板で [1-052-29].  
**prodanjl'** 【名詞】 氷にくり抜いた穴 ; < прорубь (R), -d- 挿入子音, aŋil' 「(容器の) 口」.  
**prolube, (prolubo, prolubu)** 【名詞】 氷にくり抜いた穴 ; < прорубь (R).  
**prolubo** ⇒ **prolube**.  
**prolubu** ⇒ **prolube**.  
**promisl'aj-** ⇒ **promuŋl'aj-**.  
**promisl'aj-** ⇒ **promuŋl'aj-**.  
**promuŋl'ajde-** 【自動詞?】 狩猟をする.  
**promuŋl'aj-, (promisl'aj-, promisl'aj-)** 【自動詞?】 狩猟をする ; < промышленять (R).  
**pubufkii\*** 【名詞】 にきび.  
**pud** ⇒ **pude**.  
**pude<sup>1</sup>, (pud)** 【名詞】 上, 上流 : numepedeejle löudem pudedeget (クマは彼らの) 家を倒した (老婆の) 上から [2-044-22] / irkin poŋzube keldelle, irkin čitnedie faal puddege madaal'el 一羽のキジバシオオライチョウが来て, 一本の高い木の上に止まった [1-030-31] / tuda, čuöled omnii saxane jasačnage pudege xodimied'e piege, piedalbegen erpejepul xonaal'elji かつて, 昔の人々の時代にヤサチナヤ川の上流の, ある山の麓をエウエンたちが移動していた [2-008-04~05].

- pude<sup>2</sup>** 【名詞】外 : *fejpedanjil' pudege ataxun toukelek ludul igejele uldool'elnji* 扉の外には二匹の犬が鉄の紐で繋がれていた [1-080-11].
- pude<sup>3</sup>** 【副詞】外で, 外へ : *tabungele ugutejdelle, pude jarxorem* (彼は) それを出して, 外で凍らせた [1-054-08~09].
- pude-<sup>4</sup>** 【自動詞】勝つ : *tet puded'ek, met albooje* お前は勝った, 私は負けた [1-102-27].
- pudebe** 【名詞】表面.
- pudelic** 【後置詞】外に, そばに : *pude tude nume pudelic čolkoronjin nonolek nufel'efmele* (彼は) 自分の家の外でウサギに罾をしかけた [1-056-01].
- puden** 【副詞】上に : *mit tii faale taq marxil' titimied'oodek aadelle, puden faalge modoti* 私たちはここで木で娘のようなものをつくって, 上に, 木の上に置こう [2-010-33~2-012-01].
- pudenmie-** 【自動詞】高い.
- pudet** 【副詞】外から : *čarčaxan pudet örn'iej* チャルチャハンは外から叫んだ [1-092-04].
- pudoo-** 【自動詞】上である, 勝つ : *tabungele pudool lebiege modol xojlpe lejtejaa* それを上界に住む神々は知った [1-036-11] / *n'exanjile el pudoonu* どちらの人も勝っていない [1-110-06].
- pudoomu-** 【自動詞】勝つ : *tabunget pudoomuj xojl n'edejlben* そのために神を呼んだものが勝った [1-110-13~14].
- puge<sup>1</sup>** 【名詞】夏.
- puge-<sup>2</sup>** 【自動詞】熱い, 暑い, 暖かい : *d'e taat mill'elum puges'e svinetse, xolaa oodelle* そして熱い錫をひしゃくで汲んで手にした [1-100-20~21].
- pugedand'e** 【名詞】皇帝, 王.
- pugedej-** 【自動詞】《完了》暖かくなる : *taat pen pugedes', pooredes'* そして暖かくなった, 春になった [2-028-22].
- puged'e\*** 【名詞】1) 暑さ. 2) 汗.
- pugelbej-** 【自動詞】《完了》暖かくなる : *terikee, - moni, - pen pugelbes', pukel'e al'oojaa* 彼は言った「妻よ, 暖かくなった, 雪は溶けはじめた」 [2-028-22~23].
- pugelbie, (pugulbie)** 【名詞】毛, 羽毛.
- pugelet-\*** 【他動詞】あたためる.
- puges'e, (pugus'e)** 【名詞】暖かい所 : *čied'ege ejret jarxedelle puges'ege jonzoot ed'iel'el* (彼女は) 寒さの中を歩いて凍え, 暖かいところで眠って生き返った [1-024-34].
- pugezej-, (pugizej-, puguzej-)** 【自動詞】《完了》走り出る : *taq el terikend'e foromo pugezejdelle, moni* その妻を持たない人は走り出て言った [2-044-12~13].
- pugil'** 【名詞】主, 主人.

**pugizej-** ⇒ **pugezej-**.

**pugulbie** ⇒ **pugelbie**.

**pugus'e** ⇒ **pugelbie**.

**puguzej-** ⇒ **pugezej-**.

**puj-** 【他動詞】吹く, 吹きつける : *noj pon'ool mino ejmunde aaj ileje pujge jedugude xoni* /  
アの残った筏の半分も, 風が吹きつけると, 反対の方向へ行った [1-036-36~1-038-01].

**pujd'e-\*** 【自動詞】吹く : *tudel pujd'ej* 彼は息を (ふうふう) 吹いている [AG020522].

**pujle\*** 【名詞】支流.

**pukel'e** 【名詞】雪.

**pukie-\*** 【自動詞】腫れる : *met nugen pukiej* 私の手は腫れた [AG970730].

**pul'd'egej-** 【自動詞】《完了》身を振り離す, (縄などから) 抜け出す : *pul'd'eges' igejeget*  
(彼は) 縄から抜け出した [1-100-29~30].

**pulerii** 【名詞】弾薬帯.

**pulgulet-** 【他動詞】注ぐ : *taat lunbugege ooziilek pulguletjile* そして (彼女らは) 鍋に水  
を注いだ [1-082-30~31].

**pulut** 【名詞】1) 老人, おじいさん : *tudel joobii modol'el, taj pulut* 彼は森に住んでいた,  
その老人は [1-022-27].

2) 夫 : *tude pulutkele, tude uön'it poldom amdelget* (彼女は) 自分の夫と自分の子供を  
死から救った [1-076-08].

**pumude-**, (**pumudu-**) 【自動詞】転がる.

**pumudu-** ⇒ **pumude-**.

**punbur\*** 【名詞】寝床.

**pundu-** 【他動詞】~を話す : *nilgin metul el pundulek* 誰にも私のことを話すな [1-074-02].

**punede-\*** 【他動詞】真似る.

**punke** 【名詞】小山.

**punnume** 【名詞】隣人, 隣家.

**purkijin** ⇒ **purkin**.

**purkijoo-** 【数詞】7 (である) : *purkijooj smerč aaj kelji* 7つの死が再びやって来た  
[2-020-21].

**purkin**, (**purkijin**) 【数詞】7 : *purkin jaale aalooj numen'ej* (彼は) 7本の木で作られた  
家を持っていた [1-054-36].

**puuzii** 【名詞】ふいご.

Г

**rasnuŋoo-** 【自動詞】さまざまである；<разный (R), ɲoo- 「～である」.

S

**saaxar\*** 【名詞】砂糖；<сахар (R).

**sam** 【後置詞】自分，自身；<сам : id'ii coxocaal laŋi ōnzejdelle, prolubuget tet sam ooʒek  
これからは岸壁の下に降りて氷穴から自分で（水を）飲んでおくれ [1-078-06~07].

**saxane** ~のときに；<(Y) : tudaa, čuöled omnii saxane jasačnage pudege xodimied'e piege,  
piedalbegin erpejepul xonaal'elŋi かつて，昔の人々の時代にヤサチナヤ川の上流の，あ  
る山の麓をエウエンたちが移動していた [2-008-04~05].

**serii** 【名詞】戦争；<(Y).

**siile** 【名詞】力；<сила (R) : l'e, siilepki ulumut abudaŋi (彼らは) 力尽きて，横た  
わった [2-038-03~04].

**siiled'e** 【副詞】力一杯 : taat siiled'e uujaal'elŋam そして (彼らは) 力一杯 (ボートを)  
漕ぎだした [1-070-24].

**siilen'-** 【自動詞】力の強い : odolpe molʒodeget irkin siilend'e foromok l'el'elul ユカギ  
ールの中に，1人の力の強い人がいた [2-034-11].

**siime** 【名詞】馬毛.

**sirxasii** 【名詞】小さなナイフ.

**sis'ke-čitne-** 【自動詞】背の高い.

**sis'kedin** 【副詞】縦に，縦方向に : fajde, sis'kedin, krieste embej, pojnej čavatiile  
čavataal'elum (彼は) 横に，縦に，十字に，黒と白の染料で塗った [1-028-10~11].

**sis'kin** 【後置詞】～の間中，～のときずっと : taat čied'e sis'kin meemeen'e xodool'elŋi  
meemee numege こうして冬中，クマといっしょに横たわっていた，クマの巣穴で  
[1-026-04].

**sol'** 【名詞】塩；<соль (R).

**sudej-** 【他動詞】裁く；<судить (R) : tetul mit sudejtej お前を私たちは裁こう [2-024-10].

**sukaŋoo-** 【自動詞】雌の；<сука (R), ɲoo- 「～である」.

**sumaa\*** 【名詞】大袋.



J

**jaal** 【名詞】木, 棒.

**jaandabut** 【名詞】棺桶.

**jaanjereme** 【名詞】木端.

**jaanraar** 【名詞】鱗.

**jaafet** 【副詞】今 : e-e, *jaafet lemdik monme?* ああ, 今何と言ったのか [1-098-29].

**jadil\*** 【名詞】霧.

**fajde** 【副詞】横に, 横方向に : *fajde, sis'kedin, krieste embej, pojnej čavatiile čavataal'elum* (彼は) 横に, 縦に, 十字に, 黒と白の染料で塗った [1-028-10~11].

**fajgude\*** 【副詞】横方向に : *fajgude juodej* (彼は) 脇を見ている [AG030821].

**jan'ejaax** 【名詞】毛皮製の上着.

**fapaxadaj-, (jobovodaj-)** 【他動詞】《完了》殴る : *tanuge met touke jaal mojt fapaxadajt kuddet* そうしたら私は犬を, 棒を持って, 殴って殺してやる [1-042-22~23] / *tintaj foromo, bogatyj foromo kruzhkale mindelle, tude foromogele n'aas'emujin jobovodajm* その人は, 金持ちの人はカップを手にとって, その(貧乏な)人の顔を殴った [2-042-04~05].

**far<sup>1</sup>** 【代名詞】何か : *far legutelben nummek?* 何か食べるものを(お前は)見つけたか?[1-118-01].

**far<sup>2</sup>** 【他動詞】押さえる, 埋める, 覆う : *tintaj pajgele farum, taa legum* (クマは) その女を押さえつけた, そして食べた [2-046-25~26] / *taat pon'xonodo juodege, arnuujaa čuule čumu pukel'ege farl'elum* そしてオオヤマネコが見ると, クズリは肉を全て雪に埋めてしまった [1-062-24].

**far<sup>3</sup>, (fari-, faj3-)** 【他動詞】追いつく : *tiŋ xajis'epul xajinut el farnul'elji* この狩人たちは追いかけたが追いつかなかった [2-004-11~12].

**fari-** ⇒ **far<sup>3</sup>**.

**fari-** 【他動詞】押さえつけつづける : *xodoon l'enin metul farieteme?* いつまで私を押さえているんだ? [1-102-26~27].

**fajavradaj-** ⇒ **fajavat-**.

**fajavraj-** ⇒ **fajaxad-**.

**fajavat-, (fajaxat-)** 【他動詞】破る, 裂く : *met tudel n'aas'egi čumu fajavatut* 私は彼を顔中, 引き裂いてやる [2-044-13].

▷ **fajavradaj-** 《完了》 : *taŋ paj iis' el l'e tude kutiegele mindelle, jajvradajm, örd'oodegen fajavradajm* その女は少しすると, 自分の住居の覆いを手にとって断った, 真ん中から裂

いた [1-032-32~33].

**fajand'e-** ⇒ **fajaxad-**.

**fajaxad-**, (**fajand'e-**) 【自動詞】破れる : *tii-taa fajaxadi, čičeges'* (紐は) あちこち破れ、ゆるんだ [1-100-07].

▷ **fajaxaj-** 《完了》.

▷ **fajand'e-** 《反復》 : *igejepki fajand'el'elji* (彼の) 紐は切れた [1-100-27].

**fajaxadaj-** ⇒ **fajaxat-**.

**fajaxat-** ⇒ **fajaxat-**.

**fajil** 【名詞】(ウサギなどを捕るための) 罟.

**fajlaafkaf-** 【他動詞】繕う : *terikiedie mavildeeje fajlaafkafum* おばあさんは (彼の) 外套を繕った [1-060-26].

**fajxul** 【名詞】指.

◇ *el n'uun'el fajxul* 薬指.

**fajxunmolod'o\*** 【名詞】5本の指に分かれた手袋.

**faxal'aa-** 【自動詞】集まる : *d'e köjpe čumut faxal'aaji* 男たちは全員集まった [2-046-03].

**faxal'af-** ⇒ **faxal'ef-**.

**faxal'e<sup>-1</sup>** 【自動詞】集まる : *taa monji faxal'et nodope* そこに鳥たちは集まって言った [1-030-16].

**faxal'e<sup>-2</sup>** ⇒ **faxale<sup>-2</sup>**.

**faxal'ef-**, (**faxal'af-**) 【他動詞】集める : *taat uõrpeptie lebejdiile faxal'efjaa* そして子供たちはベリーを集めた [1-082-11~12].

**faxale<sup>1</sup>** 【名詞】キツネ (ロシア語で *лиса*).

**faxale<sup>-2</sup>**, (**faxal'e-**) 【自動詞】黄色い : *xonut faxal'ej jollok nummele, tude oogele čumu jurgufum* (彼は) 行って、黄色い泥を見つけた、(そして) 自分のズボン全体に穴をあけた [1-052-01~02].

**faj33-** ⇒ **faj3-**.

**febis'e** 【名詞】ノイバラの木・実 (ロシア語で *шиповник*).

**febis'eben** 【名詞】ノイバラの株.

**fegefej-** 【他動詞】《完了》 逃す.

**feгуze-** 【自動詞】逃げる : *ligel eruul alme taat feгуzel'el* 年老いた悪いシャマンはそして、逃げた [2-022-18].

**fejre<sup>-1</sup>** 【自動詞】逃げる : *metket fejretček, metket jienbenpege jaxatejek* (お前は) 私から逃げて、私とは違うものところにたどり吐くだろう [1-102-10].

▷ **fejrej-** 《完了》 : *irkid'e foromoget fejrej'el taŋ meeme uõ* ある時、人間のところから

逃げた, そのクマの子供は [1-026-09~10].

**fejre**<sup>-2</sup> 【他動詞】 入れる : *met pude ukejdelle, anilek, čuulek fejretme* 私は外へ出て, 魚を, 肉を運び入れよう [2-028-03~04].

▷ **fejrej-**《完了》 : *tit kenme fejrejnik* お前たちの仲間を (家に) 入れなさい [1-054-16].

**fel'gej-**, (**felgej-**) 【自動詞】《完了》 砕ける, ちぎれる : *ködiel norxovaal'el, taatl'et laxilgi fel'gejl'el* オオカミは動いた, すると, (その) 尾がちぎれた [1-060-32~33] / *nojgi taa felges'* (彼の) 足 (の骨) は折れた [1-090-13].

**felgedej-** ⇒ **felgef-**.

**felgej-** ⇒ **fel'gej-**.

**felgef-** 【他動詞】 砕く : *xavielgele jerčebaan'e parnaa kuödet laxidamundeejle čumu felgef'elum* アビとアヒルをカラスは殴り, (彼らの) 尾の骨をすべて砕いた [1-028-13~14].

▷ **felgedej-**《完了》 : *menmegelle, menmegelle, tude nojgele taat felgedejm* (彼は) 跳ねて, 跳ねて, 自分の足 (の骨) をそうして折った [1-092-17~18].

**ferez-** 【自動詞】 刺繍をする : *juödege, terikiedie oknodañil'ge ferezet modoj* (彼が) 見ると, おばあさんは窓のところで刺繍をしながら座っていた [1-052-10~11].

**feril** 【名詞】 テントの覆い.

**fespedañil'**, (**jobodañil'**) 【名詞】 扉.

**fill'e** 【名詞】 雪が解けた後にできる雪の表面の凍った層.

**fin'el'** 【名詞】 落とし毬.

**finfaj-** 【他動詞】《完了》 突っ込む, 押し込む : *lunbuge čuulek finfaj'elmele* (彼は) 鍋に肉を押し込んだ [1-088-13~14].

**jobodañil'** ⇒ **fespedañil'**.

**joborodaj-** ⇒ **šapaxadaj-**.

**jobororaa** 【名詞】 皿.

**jobol'e-** 【自動詞】 やめる : *taat jobol'enul'elñi, n'eleme el aa čuön* こうしてやめた, 何も作らずに [1-024-11].

**jobol'ej-** 【他動詞】 やめる, やめさせる : *iile n'elegul end'oonpele jobol'efum n'elejpedeejle* 共食いをする動物たちに共食いをするのをやめさせた [1-042-10].

**fog-** ⇒ **fög-**.

**fok-** ⇒ **fög-**.

**forie-** 【自動詞】 1) 消える, なくなる.

2) 道に迷う : *čumut moll'elñi, amdej, foriedege* 皆言っていた, (彼女は) 道に迷って死んだと [1-026-07].

▷ **fovujii-**《反復》。  
**fovujii-** ⇒ **fovie-**.  
**fovunme** 【名詞】 苔。  
**fovurpe-\*** 【自動詞】 (傷が) 治る。  
**fovufe-** 【他動詞】 失う, 見失う。  
**foj-** 【他動詞】 焼く : met čuul *foj* 私は肉を焼いている [AG030811].  
**fojd'e-\*** 【自動詞】 焼く : met *fojd'eje* 私は焼いている [AG030811].  
**fojl** ⇒ **föjl'**.  
**fojl'bul** ⇒ **föjl'bul**.  
**fojnube** 【名詞】 入口。  
**foj-** ⇒ **fog-**.  
**folie\*** ⇒ **fölie**.  
**folienraa\*** 【名詞】 ハイマツ (ロシア語で кедровый стланник).  
**folnaa** 【名詞】 キツツキ (ロシア語で дятел).  
**fojd'ile** 【名詞】 春。  
**foolox\*** 【名詞】 灰。  
**foromo** 【名詞】 人, 人間。  
**foromon'ul** 【名詞】 親戚。  
**fouro** 【名詞】 皿。  
**founbe** 【名詞】 脂肪。  
**founben'-** 【自動詞】 脂っこい : met kudedel čomoolben *founben'i*, *founben'i* 私の殺した  
オオシカは脂っこい, 脂っこい [1-118-14].  
**fög-, (föj-, fök-, föŋ-, föu-, fog-, fok-)** 【自動詞】 入る : numege *fögi* (彼は) 家に入った  
[1-072-16].  
▷ **fovo-** 入っている : noviigi *fovooj iridege* 指貫が入っていた, (彼女の) 腹の中に  
[1-054-08].  
**fögi** 【名詞】 袋。  
**föguzu-** 【自動詞】 逃げる。  
**föj-** ⇒ **fög-**.  
**föjl', (föjl, fojl)** 【名詞】 石。  
**föjl'bul, (fojl'bul)** 【名詞】 ネズミ (ロシア語で мышь).  
**föjl** ⇒ **föjl'**.  
**föjnovo\*** 【名詞】 砂。  
**fök-** ⇒ **fög-**.

**fölie, (folie)** 【名詞】木の実。

**föŋ-** ⇒ **fög-**.

**förile, (fözile\*)** 【名詞】1) 花. 2) 手紙。

**förilen'-** 【自動詞】模様がついている, 色がついている, 書かれている : *pogzube čumu pojnej emid'e förilen'i* キジバシオオライチョウは全体に白と黒の模様がついている [1-032-11~12].

**förilef-** 【他動詞】色を塗る, 飾る, 書く : *jerčebaale čemedejdelle, xariel parnaagele förilefut eris' förilefum* アヒルを(色を塗り)終えて, アビはカラスに色を塗ったが, へたくそに色を塗った [1-028-09~10].

**föfstok** 【名詞】炉口の前の小さな台。

**fötkurii** 【名詞】狩人の冬用の長靴(底にトナカイや馬の蹄の上部に生える毛を貼ったもの)。

**föu-** ⇒ **fög-**.

**fözile\*** ⇒ **förile**.

**fubed'e** 【名詞】心臓。

**fubend'ii-** ⇒ **fubeze-**.

**fubeze-, (fubez3e-)** 【自動詞】走る : *uörpepki ibil'ede, fubezet, örn'et ann'aaŋi* 子供たちは泣きながら走って, 叫んで話した [1-034-05].

▷ **fubezej-** 《完了》 走り出す : *čoxočaal laŋi fubezej'elŋi* (彼らは) 岸壁の下の方へ駆け出した [1-070-23].

▷ **fubend'ii-** 《反復》 走り回る : *tamunpe joodet pod'erxo sis'kin pude juuke fubend'iinul'elŋi* 彼らは一日中外で, 遠くで走り回った [1-032-22~23].

**fubez3e-** ⇒ **fubeze-**.

**fubul** 【名詞】カラマツやサルヤナギの枝。

**fukaadie** ⇒ **fuukedie**.

**fukume** 【副詞】むだに, いたずらに, あてもなく : *taat fukume xonut irkin ununŋe jaxani* そうして(彼らは) あてもなく行って, ある川に着いた [1-082-16].

**fure** 【名詞】体。

**fuukaadie** ⇒ **fuukedie**.

**fuukedie, (fukaadie, fuukaadie)** 【名詞】カワカマス ; <муска (R), -die 指小。

t

**taa** 【指示詞】そこで, あそこで, そこに, あそこに: mit jaxil javiljin xontiili, *taa* uujaatej  
私たちは湖の岸へ行こう, そこで作ろう [1-024-14].

**taavar\*** 【後置詞】～よりも: mit *taavar* omos' lejdiiim (彼女は) 私たちよりもよく知っている [DP030809].

**taavile** ⇒ taasile.

**taajle** ⇒ taasile.

**taasile (taavile, taajle)** 【接続詞】1) そして, それから: *taa* lejdet jodudej, *taasile* abudaa;  
xristos al'dege そこで(ブタは) 食べて, 振り返った, そしてキリストのそばに横たわった [1-044-28~29].

2) それでは: met *taasile* kelteje 私はそれでは出発する [1-062-07].

3) ～と～(語の並列): *alme taasile amde* シヤマンと死 [2-018-25].

**taat<sup>1</sup>** 【指示詞】1) そこから, あそこから: *tabunge* nodope tiit, *taat* faxal'aal'elnji *taa*, *tan* svad'ba ootej miestege 鳥たちはここから, あそこから集まった, その結婚式の行なわれる場所に [1-026-27~28].

2) このように, そのように.

**taat<sup>2</sup>** 【接続詞】そして: *ulegelek jel'd'enumle, taat kiel'efum tan ulegele* (彼女は) 草をむしった, そしてその草を乾かした [2-038-07~08].

**taatl'ede** 【接続詞】それから: *taatl'ede* uqzis' それから(彼は) 眠った [2-030-10].

**taatl'egi** 【接続詞】それから: *jax, xon, lofkaraa, jobovoraa kesiik. taatl'egi* lektej そら、スプーンと皿を持ってこい, それから食べよう [1-050-05~06].

**taatl'elle** 【接続詞】それから: *d'e taatl'elle erce igejepulgele kodum* そして悪い紐を集めた [2-030-26].

**taatl'et** 【接続詞】それから: *kodiel norxovaaal'el, taatl'et laxilgi fel'gejl'el* オオカミは動いた, すると, (その) 尾がちぎれた [1-060-32~33].

**taatmie-** 【指示詞?】そのような: *irkin taatmie emilge mend'elek jaxal* あるそのような夜に知らせが届いた [1-024-22].

**tabaax** 【名詞】タバコ; < табак (R).

**tabun** 【指示詞】それ, あれ.

**tadii-** 【他動詞】与える, 渡す, 贈る: *tamunge tintan pulut ejmundegi tadiimele* すると, その老人はその半分をくれた [1-056-07] / *d'e taatl'elle erce igejepulgele kodum, taavile tude uogin tadii* そして悪い紐を集めて, それから自分の子供に渡した [2-030-26].

**tadind'araa** 【名詞】蜂.

**taɾane tit** 【接続詞】それでもやはり，結局：taat juödin erd'iet tii-taa egedennuj, *taɾane tit* n'elemele el juö このように（彼は）見たくてあちこち覗いたが，結局何も見えなかった [1-076-03~04].

**tami-** 【自動詞】服を着る.

**tamin'e-\*** 【自動詞】服を着ている.

**tamun** 【指示詞】それ，あれ：taɟ jurguuge föjl'el, *tamun* meemee abut ool'el その穴に（彼女は）入った，それはクマの巣穴だった [1-024-31~32].

**taɟ** 【指示詞】その，あの（話し手から遠く，見えない位置にあるものを指す）.

**taɟd'iet** ⇒ **taɟdjet**.

**taɟdaa** 【指示詞】あそこに，あそこで.

**taɟdet** ⇒ **taɟdjet**.

**taɟdjet**, (**taɟd'iet**, **taɟdet**) 【接続詞】そして，そうすると：pieriile uuajm, *taɟdet* meries'（彼女は）羽を振った，そして飛びたつた [1-034-03~04].

**taɟide** 【指示詞】そちらへ，あちらへ：taɟide fejres', *tiɟide* fejres'（彼は）あちらへ逃げた，こちらへ逃げた [1-032-04].

**taɟnigi** ⇒ **taɟnugi**.

**taɟnuge** ⇒ **taɟnugi**.

**taɟnugi**, (**taɟnigi**, **taɟnuge**) 【接続詞】そのとき，そうしたら，それなら：foromo *taɟnugi* ugege aatem. *taɟnugi* mit čumut ugege amdeččiili. 人間はそのとき，毘を作るだろう，そうしたら私たちは皆死んでしまうだろう [1-046-26~27].

**taɟnut** 【接続詞】そのとき，そうしたら：terike, mit uörpe kudesiige. *taɟnut* ataxlood'e karas'ek leɟtel. 妻よ，私たちの子供たちを殺そう，そうしたら二匹ずつフナを食べられるぞ [1-082-06~07].

**tedul** 【名詞】財宝：čarčaxan čuul'd'ii pulut *tedulgele* čumu mindelle, *tiɟ* paraa laɟin ajii modoj チャルチャハンはおとぎの老人の財宝を全て手に入れ，今でもまだ生きている [1-092-10~11].

**tenn'e-** 【自動詞】金持ちだ：tenn'eje foromo palatkaget ukejdelle, juöm 金持ちの人はテントから出て見た [2-026-18].

**terii** 【名詞】terike 「老婆，妻」に対する呼びかけ.

**terike** 【名詞】1) 老婆，おばあさん：taɟ *terikege* aaj jaxaj（彼は）その老婆のところに再び着いた [1-066-03].

2) 妻：terikegi el aɟd'en' 彼の妻は目が見えなかった [1-086-32].

**teril** 【名詞】財宝：metul kudedelle, met puɟnina mindin, met jodod'ube, met *teril* mindin me l'el'eld'ek（お前は）私を殺して，私の獣皮を，私のリスを，私の財宝を手に入れよ

- うとしていただろう [2-014-18~19].
- tet** 【代名詞】お前, あなた (2人称単数).
- tetče** 【名詞】財宝 : *naɾaa taat ningej tetčelek l'el'elul* とてもたくさんの財宝があった [1-080-10].
- tetčie** 【名詞】金持ち : *tetčiepelek, n'uzunood'oonpelek, poongood'oonpelek taa modol'elji* 金持ちたち, 貧乏人たち, 孤児たちがそこに暮らしていた [1-020-04~05].
- tettie-** 【自動詞】金持ちになる : *pulundie terikiedien'e taŋ poŋdele tettieŋi, tiŋ paraa laŋi ajii modoŋi* おじいさんはおばあさんとそのお金で金持ちになり, 今でもまだ生きている [1-066-21~22].
- tettil'** 【名詞】財宝 : *dubegleŋ tintaŋ čuul'd'ii pulutpe tettil'pegele čumu tudin mid'um* ドウブレシはそのおとぎの老人の財宝をすべて手に入れた [1-076-28~29].
- tibidaŋil'** 【名詞】煙穴 : *tabungele čolɔɾaadie tibidaŋil'gen egiem* それをウサギは煙穴から覗き見た [1-052-30].
- tibo<sup>1\*</sup>** 【名詞】雨.
- tibo-<sup>2\*</sup>** 【自動詞】(雨, 雪が) 降る : *pen tiboŋ* 雨が降っている [AG030809] /*ooziile tiboŋ* 雨が降っている [AG021019] /*pukel'ele tiboŋ* 雪が降っている [AG021019].
- tie-** 【他動詞】狙う : *tie'elmele meeme laŋin* (彼は) 熊に狙いをさだめた [1-026-15~16].
- tii** 【指示詞】ここで, ここに : *tet tii el lebien'ejek, xon xojlŋin* ここにお前の土地はない, 神のところへ行け [1-034-20].
- tii-taa** 【指示詞】あちこちで, あちこちへ : *taŋ alme tii-taa eguzut čuöte erčoodek uujiimele* そのシャマンはあちこちに行って, いつも悪事を働いていた [2-022-03].
- tiine** 【指示詞】最近, 近頃, 今しがた : *el mod'e tiine, touke el ultelek!* 今しがた (私は) 犬を繋ぐなど言わなかったか! [2-044-15~16].
- tiit** 【指示詞】ここから : *tiit numerŋin xon tet čugegen* ここから家へ自分の足跡にしたがって行け [1-074-01].
- tiit-taat** 【指示詞】あちこちから.
- tinlaaɾet** 【指示詞】こちら側に : *xaaxaa, tinlaaɾet lebejdii ningejbedek* おじいさん, こちら側にはベリーがたくさんある [1-060-06].
- tintaŋ** 【指示詞】その : *tintaŋ foromo mezzes'* その人は目を覚ました [2-018-19].
- tiŋ** 【指示詞】この (話し手の近くにあるもの) : *kintek tiŋ minole ejretul?* 誰がこの筏で行くのか [1-036-18].
- tiŋd'ii** 【指示詞】ここに, ここで : *tiŋd'ii l'eŋi!* ほらここに (彼らは) いる! [2-020-31].
- tiŋide** 【指示詞】こちらへ : *taŋide seŋres', tiŋide seŋres'* (彼は) あちらへ逃げた, こちら



へ逃げた [1-032-04].

**tit<sup>1</sup>** 【代名詞】お前たち, あなたたち (2人称複数).

**tit<sup>2</sup>** ⇒ *taʁane tit*.

**titaat** 【指示詞】このように: *tabun mediidelle, tintaŋ faxan terike titaat loŋdaaj* それを聞いて, そのキツネのおばあさんはこんな風に踊りはじめた [1-058-08].

**tite** 【後置詞】~のように, ~のような: *potopjoot gudedege, noj, xodo monoopede tite, aam* 洪水が起こると, ノアは(彼らの) 言ったようにした [1-036-30] / *jekečan jel'ood'e tite lolɔj* 釜は太陽のように沸いていた [1-118-11].

**titimie-** 【自動詞】1) ~のような: *todiigi čösle titimiej* (彼の) 歯は手斧のようだった [1-096-06].

2) このような: *titimied'e slučaj l'ej* このような出来事があった [2-010-08].

**tittel** 【代名詞】彼ら, 彼女ら (3人称複数).

**toboo-** 【自動詞】閉じている.

**todie\*** 【他動詞】噛みつく.

**todii** 【名詞】歯.

**todinčuul\*** 【名詞】歯茎.

**тов-, (tou-, tōk-)** 【他動詞】閉める, 閉じる: *oknole toʁum* (彼は) 窓を閉めた [2-024-15].

**товоо-\*** 【自動詞】濃い.

**товур\*** 【後置詞】~の間ずっと: *tudel pod'erxo toʁur öjl'e* 彼は一日中いなかった [AG030827].

**tol'čii-** 【他動詞】叩く: *taat taŋ terike jeʃpedaŋil'e tol'čii'elum* そしてその老婆は扉を叩いた [2-028-09].

**tolou** 【名詞】野性トナカイ (ロシア語で *дикий олень*).

**totti-** ⇒ *tottuu-*.

**totto-** 【他動詞】くっつける: *keldelle, tintaŋ peme pulundiegele merieʃum, n'anmege tottom* (その風が) やってきてその虱のおじいさんを運んで, サルヤナギにくっつけた [1-066-27~28].

▷ **tottos'-**《反復》: *čomoolben nojl xaardele ugurčelek tottos'nul'elgile* (彼らは) オオシカの足の皮をスキーに貼った [2-004-05].

**tottovoɾo-** 【他動詞】捕まえる.

**tottoo-** 【自動詞】くっついている: *ʃaafet taa tottooji, tabudek jennunujil* 今, (彼らは) そこ (月) にくっついている, それが見える [1-024-25~26].

**tottuu-, (totti-)** 【自動詞】くっつく.

**tou-** ⇒ *тов-*.

**touke** 【名詞】 犬；< собака (R).  
**töbie-** 【自動詞】 閉まる： *far n'idejm, tabunget fejpedarjil'gi, pon'xofögnubedarjil'pe čumu töbieji* (彼は) 何か言った，すると扉と窓が全て閉まった [1-094-36~37].  
**töbul'\*** 【名詞】 蓋.  
**tök-** ⇒ tog-.  
**tönbe-** 【自動詞】 強い.  
**tönbii-\*** 【他動詞】 ◇ **nijie tönbii-** 心配する： *met tetin nijie tönbii* 私はあなたのことを心配している [AG970726].  
**tuben** 【指示詞】 これ.  
**tudaa** 【指示詞】 かつて，昔： *irkin foromoge tudaa jedejl'el lebien pugil'* ある人のところに，かつて，土地の主が現れた [2-012-19].  
**tudel** 【代名詞】 彼，彼女（3人称単数）.  
**tuis** 【名詞】 蓋つきの樹皮製の籠；< тыес (R).  
**tuluget** 【副詞?】 左側に： *tuluget nugendege jukool, čomool fa[xulpegi ojl'el'enjil* (彼の) 左手には小指と親指がなかった [1-096-08].  
**tulugude** 【副詞】 左側へ： *n'umud'iidegele milaajide, tulugude ejuunude taat xoni* (彼は) 斧を右へ左へ投げつけながら行った [1-098-05~06].  
**tunmul** 【名詞】 喉.  
**tuön** 【指示詞】 これ： *tuön xamietum* これが助けてくれるだろう [1-114-28].

## u

**ubuj** 【副詞】 本当に，正しく： *ubuj mofolupkaa jukujonžaan martl'uök mintemle?* 本当にフクロウは雁の娘を(嫁に)貰うのか [1-026-30] / *terike, ubuj mod'ek* おばあさん，(お前の) 言うことは正しい [1-052-23].  
**ubun\*** 【代名詞】 他の.  
**ud'il'** 【名詞】 爪.  
**uge** 【名詞】 魚を捕るための罟.  
**uguje<sup>1</sup>** 【副詞】 明日，翌日： *met uguje omnii anšiidin jeklude xonteje* 私は明日，人々を探しにさらに遠くへ行く [1-072-24~25].  
**uguje<sup>2</sup>** 【名詞】 翌日： *ugujedege, xoni tude nonoljin* 翌日 (彼は) 行った，自分の罟のところへ [1-062-31].  
**ugujel** 【名詞】 朝： *do ugujeljin miedeni* (彼らは) 朝まで待った [2-008-11~12].

**ugujelme** 【副詞】朝に：irkin *ugujelme* titte xajis'ejjin moll'el ある朝，彼らの獵師たちに言った [2-004-20~21].

**ugurče** 【名詞】スキー.

**ugurčeraa** 【名詞】ハコヤナギ (ロシア語で *тополь*).

**ugutej-** ⇒ **ukutej-**.

**ujsii** 【名詞】雇人.

**ukčii-** ⇒ **ukej-**.

**ukeče** 【名詞】植物.

**ukej-** 【自動詞】《完了》出る：el *ukejgilek* tit numeget, d'e 出るな，お前たちの家から [2-024-16~17].

▷ **ukčii-**, **uksii-** 《反復》：piele nemdik *ukčii*, tabude legultege 山に生えるものを食べ物としなさい [1-040-24] / *taŋ xorobod uö joruldegen, aŋd'edegen losilek uksii* その仔牛の鼻と目から火が出ていた [1-086-07].

**uksii-** ⇒ **ukej-**.

**uktes'-** ⇒ **ukutej-**.

**ukutej-**, (**ugutej-**) 【他動詞】《完了》出す，運び出す，追い出す：epie, metul *ugutejk* おばあさん，私を (袋の中から外へ) 出してくれ [1-088-28].

▷ **uktes'-** 《反復》.

**ulde-** 【他動詞】縛る，繋ぐ：čuul'd'ii pulut metn'e man'iit, jin'el'e aadelle, foromole inl'iit *uldem* おとぎの老人は (私を) 畏に変えて，私と一緒に (人間を) おびき寄せて，人間を脅かして繋いだ [1-086-22~23].

**uldoo-** 【自動詞】縛られている，繋がれている：fejpedaŋil' pudege ataxun toukelek ludul igejele *uldool'elji* 扉の外には二匹の犬が鉄の紐で繋がれていた [1-080-11].

**ulege** 【名詞】草.

**ulegeraa** 【名詞】藁.

**ulgele<sup>1\*</sup>** 【名詞】小便.

**ulgele-<sup>2\*</sup>** 【自動詞】小便をする.

**ulgume\*** 【名詞】膿.

**ullum** 【副詞?】◇ **ullum l'e-** 気が狂っている.

**ulte-** 【他動詞】縛る，繋ぐ：tabun miestegen jien jaxadaas'ek *ultemle* その代わりに (彼女は) 他の馬を繋いだ [1-064-28].

▷ **ultes'-** 《反復》：d'e taat abudeŋl'elum igejelek juöl'elum, *ultes'ut*, taat tudin moni そうして (彼は) 寝かせた，紐で縛って，繋いで，そうして彼に言った [1-100-04~05].

**ultedej-** 【他動詞】《完了》満たす，一杯にする：taat posude *ultedejille*, numeŋin kebejji

- そして（彼らは）器を一杯にすると、家へ行った [1-082-15].
- ulumu-** 【自動詞】尽きる, なくなる : terikiediege siilegi *ulumuj* 老婆は力が尽きた [1-078-04~05].
- undörd'e** 【名詞】川の真ん中.
- undörd'oo** 【名詞】川の真ん中.
- uneme** 【名詞】耳.
- unii** 【名詞】串.
- unmure-** 【自動詞】祈りの言葉を唱える, 歌う : xristos taŋ tadind'aŋapele lostubiim: "titkele čuöte foromo juöt monjigen: xojded'ejeplek, *unmuret* ejreŋil ..." キリストはその蜂を祝福した : 「あなたたちを人間が見るたびに言わせよう, 聖なる者が祈りの言葉を唱えながら歩いていると...」 [1-046-09~11].
- unmuren** 【名詞】(シャマンの) 太鼓.
- unmut** 【名詞】角.
- unuŋ** 【名詞】川.
- uŋzi-** ⇒ **uŋzuu-**.
- uŋzoo-** 【自動詞】眠っている : egedejdege, *uŋzool'el* (彼が) 覗くと, (彼女は) 眠っていた [1-052-31].
- uŋzood'e** 【名詞】毛布 : taat *uŋzood'ele* jowodajŋam そして (彼らは) 毛布を開けた [2-046-24~25].
- uŋzuu-**, (**uŋzi-**) 【自動詞】眠る : terikiedie novii amladajdelle, *uŋzis'* おばあさんは指貫を飲み込んで眠った [1-052-29~30].
- uolobe** 【名詞】錫 ; < олово (R).
- uõ** 【名詞】子供.
- uõn'e-** 【自動詞】1) 子供を持っている : taŋ pajpe ataxun *uõn'el'el* その女には2人の子供がいた [1-032-22].
- 2) 子供を産む : foromo tite modot tude foromon'ulpege irkin paraage taŋ paj *uõn'el'el* 人間らしく自分の親戚のところで暮らし, ある時, その女は子供を産んだ [1-026-08].
- uõn bebie** 【名詞】ゆりかご.
- uõŋoo-** 【自動詞】若い : pulundie *uõŋood'e* adilŋoot kudej おじいさんは若者になった [1-056-22].
- uõŋooltaŋ** 【名詞】(何人かいるうちの) より若い者 : ligeltaŋ faalge igejele met arpat amdej. *uõŋooltaŋ* toukedieŋoot kudedelle, jooŋii laŋi pögiej 年老いた方(の女)は木に紐で首を吊って死んだ, 若い方(の女)は犬になって, 森の方へ駆けだした [1-068-10~11].
- uõŋoomu-** 【自動詞】若返る.

**urasaa** 【名詞】ウラサ(円錐形住居); < (Y): *urasapegi löuduunul'el uɣzoot, xodooj kerekepulge* ウラサは倒れた, 眠って横たわっているコリヤークたちの上に [2-036-08~09].

**určile** 【名詞】木切れ, 松明; < *лучина* (R).

**urun** 【名詞】寝床.

**uučax** 【名詞】トナカイ.

**uuj-<sup>1</sup>** 【自動詞】動く, 働く: *ɣubed'egi čumut uus', leppugi čirčumu al'bej* (彼の) 心臓は全て動いているが, 血は全て溢れ出ている [2-024-34] / *tamun tii-taa uujde foromopulge eguzul'el* その人はあちこちで働きながら人々のところを歩いた [1-114-23].

**uuj-<sup>2</sup>** 【自動詞】生まれる.

**uuj-<sup>3</sup>** ⇒ **uujii-**.

**uujaj-** ⇒ **uujii-**.

**uujii-**, (**uuj-**, **uujuu-**) 【他動詞】1) する, 行なう: *tuön lemdik uujmet tit?* これは, 何をしているのだ, お前たちは [1-034-18~19].

2) 作る: *unmun'elbenpejin unmupegi omos' adi uujinul'elum* (彼は) 角を持つ者たちに角を素晴らしく, 頑丈に作ってやった [1-022-20~21]. 3) 動かす.

▷ **uujaj-**《完了》: *pieriile uujajm, taŋdet meries'* (彼女は) 羽を振った, そして飛びたった [1-034-03~04].

◇ **n'aas'e uujii-** お辞儀をする: *xodit taat n'aas'ele uujim, monut, önmele ejrefum* どうして(彼は) このようにお辞儀をするのだろうかと考えた [1-026-18~19].

◇ **joɣul uujii-** 嗅ぐ.

◇ **önme uujii-** 考える: *petr berbekin önmegele uujm* ピョートル・ベルベキンは考えた [1-108-16].

**uujl** 【名詞】仕事: *tudege nigejood'e uujlek aanume* 彼のところで(私は) 困難な仕事をしていた [2-034-24~25].

**uujsii** 【名詞】雇人.

**uujuu-** ⇒ **uujii-**.

**uun'ef-**, (**uunef-**) 【他動詞】働かせる: *uörpeptiegele, odulpegele titten'e mill'elɣile tittege uun'eftin* (彼らは) 子供たちを, ユカギール人たちを連れて行った, 自分たちのところで働かせるために [2-034-09~10].

**uunef-** ⇒ **uunef-**.

**uufe-** 1) 触る: *pude xodool kimmii el uufelek* 外にある鞭に触るな [1-066-04~05].

2) 動かす: *taat siiled'e uufaal'elɣam* そして(彼らは) カ一杯(ボートを) 漕ぎだした [1-070-24].

▷ **uufej-**《完了》。  
**u300, (u3300)** 【名詞】銃；<ружьё (R)。

X

**xaar** 【名詞】毛皮。

**xaaxaa** 【名詞】1) 祖父。2) 熊。

**xad'ilbe-\*** 【自動詞】大声で笑う。

**xad'ilberii-\*** 【他動詞】～を笑う。

**xadi** 【疑問詞】どれ：**kie tebegej, xadi ismierge amdool'd'ek?** 友よ，テベゲイよ，（お前は）どんな死に方で死にたいのか？[1-088-20] / **xadik lekteme?** どれを（私は）食べようか [1-074-21]。

**xadmudul** 【名詞】指輪。

**xadun** 【疑問詞】1) どこ：**xadunge juömet mit foromo?** どこで（あなたは）私たちの仲間を見たのか？ [1-042-13] / **xadunget kies'ek?** どこから（お前は）来たのか？ [2-034-23]。  
2) 従属節を導く：**xadunget keluk, tañjide kebejk** （お前は自分が）来たところへ行け [1-062-27]。

**xaxiel** 【名詞】アビ（ロシア語で rarapa）。

**xajbis'** 【副詞】良く：**xajbis' pundumek!** （お前は）良く話した！ [1-078-24]。

**xajin** ⇒ **xanin**。

**xame-** ⇒ **xamie-**。

**xamed'e-** ⇒ **xamied'e-**。

**xamed'ie-** ⇒ **xamied'ie-**。

**xamide-** 【自動詞】助ける，手伝う。

**xamie-**, (**xame-**) 【他動詞】助ける，手伝う：**xadunget, kinget minmik, kin mitkele xamie?** どこから，誰から（お前は食べ物を）手に入れたのか，誰が私たちを助けてくれたのか [1-074-09～10]。

**xamied'e-**, (**xamed'e-**, **xamed'ie-**) 【自動詞】助ける，手伝う：**tetin met xamied'ečče** お前を私は助けよう [1-072-26]。

**xaml'ed'ede** 【副詞】何回か：**taat xaml'ed'ede aam** そのように何回かした [1-114-33]。

**xaml'ed'oode** 【副詞】何回か：**tudaa örd'ool lebie budie xaml'ed'oode potop ool'el** かつて，中間の土地で何回か洪水があった [1-036-04]。

**xamloo-** 【疑問詞】いくつ（であるか）。

**xamun** 【疑問詞】いくつの: *xamun foromok tiit kebejtél* 何人の人がここから出発するのか [1-108-14~15].

**xamunde** 【代名詞】いくつか: *xamunde n'emolɔrilek muddejl'elul* 何年かが過ぎた [1-026-11].

**xamunere** 【代名詞】いくつか: *tii foromopol xamunere pod'erxoge modorji* ここで人々は何日間か暮らした [1-110-01].

**xan'il** 【名詞】鷺.

**xanaa-**, (**xonaa-**) 【自動詞】移動する, 移住する: *tintaj foromopol čumut poselokɔjn xanaaj* その人々は皆, 村に移住した [2-048-12~13].

▷ **xanujii-**, **xonujii-** 《反復》: *taɔ xanujiiit modol omniige irkin pajk joul'et xodool'elul* その移動しながら暮らしている人々のところに, 1人の女が病気のため横たわっていた [1-032-19~20] / *tii-taa modol, xonujiiit ejrel foromopolge xajis'epul l'el'ej* あちこちに住み, 移動して歩く人々のところに狩人がいた [2-004-14].

**xaniduō** 【名詞】鷺の雛.

**xanin**, (**xajin**) 【疑問詞】(時間) いつ: *xanin svad'ba ootej* いつ結婚式があるのか [1-026-29~30].

**xaninere** 【副詞】いつか: *met xaninere kelteje!* 私はいつか来るだろう [2-020-04].

**xanujii-** ⇒ **xanaa-**.

**xajide** 【疑問詞】どこへ: *xajide me xond'ek?* どこへ (お前は) 行くのか? [1-072-22].

**xajie-** ⇒ **xajii-**.

**xajii-**, (**xajie-**) 【他動詞】追う, 追いかける: *taat terikiediegele xajiiinaam* そうして (彼は) おばあさんを追いかけはじめた [1-050-28].

**xajis'e** 【名詞】狩人.

**xajisaa** 【名詞】煙管.

**xarbas**, (**karbas**) 【名詞】荷物を運ぶための大型のボート.

**xarien** 【間投詞】かわいそうに, 哀れだ: *xarien, noɔɔon kudediél'elum met terike* かわいそうに, どうして (私は) 殺してしまったんだろう, 自分の妻を [1-050-30].

**xarte-** 【他動詞】分ける, 分け与える: *xaaxaa, čomoon leɔdool'd'e, metin tet čolɔoroget xartek* おじいさん, (私は) とてもお腹が空いている, 私にお前のウサギを分けてくれ [1-056-05~06].

**xarted'e-** 【自動詞】(地面を) 掘る.

**xod'ibe-\*** 【自動詞】(お茶などが) 薄い, 水っぽい.

**xod** ⇒ **xodo-**.

**xodimie-** 【疑問詞】どのような: *xodimie foromok?* (彼は) どのような人だろうか?

[1-094-28].

**xodit** 【疑問詞】なぜ：met uörpe xodit el'ed'oongi? 私の子供たちはなぜいなくなったのだろうか? [1-058-24].

**xodo, (xod)** 【疑問詞】1) どのように：met čaačaa xodo kudedetook? 私の兄をどのようにに殺そうか? [1-080-23].

2) なんて（感嘆を表わす）：xodo omos'e jaxte tuön! なんて素晴らしい歌だ，これは! [1-070-18].

3) 従属節を導く：tit lebie tittin xodo omo, taat aanjik お前たちの土地をお前たちの良いようにしなさい [1-034-15~16].

**xodo-** 【自動詞】横たわっている，寝ている，（横にして）置かれている。

**xodode, (xododo)** 【副詞】何とかして：örd'ool lebie end'oongi poldegi xodode nadoņooj 中間の土地に住むものたちを何とかして救わなければならない [1-036-12] / juöt xododo 見てみよう，何とかして [2-004-20].

**xododo** ⇒ xodode.

**xodon'e-, (xodoon'e-)** 【自動詞】一杯の，満杯の：olodelle, terikiedie tamun miestegen arasnoņood'e xodon'ej jögiik peniimele （袋を）盗むと，おばあさんはその代わりに他の満杯の袋を置いた [1-064-08~09].

**xodoo-** 【自動詞】横たわっている，寝ている，（横にして）置かれている：polge lodaax xodooj （彼は）床にうつぶせに横たわっていた [2-014-17] / čumut n'ierpegi pude xodool'el 全ての（彼らの）服は外にあった [1-062-09].

**xodoobe** 【名詞】寢床.

**xodoon'e-** ⇒ xodon'e-.

**xodote-** 【他動詞】詰める，一杯に入れる：taa tintanj faxal'ej jollogele tanj tude ooge xodotem そしてその黄色い泥をその自分のズボンに詰めた [1-052-02~03].

**xojded'eje** 【名詞】聖職者，司祭.

**xojl** 【名詞】神.

**xojutaan\*** 【副詞】遅く：tittel xojutaan inruunji 彼らは遅く寝た [AG030827].

**xol-** ⇒ xon<sup>-2</sup>.

**xolrut\*** 【名詞】マンモス.

**xoli-** ⇒ xolii-.

**xolii-, (xoli-)** 【他動詞】誉める：tude jolaat puge jukunodok xoliijile 彼の次に，小さな夏鳥が誉められた [1-028-32].

**xolil** 【名詞】音：taat xolilgi el'ed'ool'el すると（そのクマの）音は消えた [2-044-25].

**xoll'e-** 【疑問詞】どこにいるのか：tanj meemee xoll'e? そのクマはどこにいるのか?



[1-060-03].

**xollume** 【副詞】もうすぐ : tudel xollume tii jaxatel binne 彼はもうすぐここに到着するようだ [1-096-26].

**xon<sup>1</sup>** 【疑問詞】どこに, どこで : čarčaxan, xon l'ek? チャルチャハン, (お前は) どこにいるのか? [1-092-03~04].

**xon<sup>2</sup>**, (xol-) 【自動詞】行く : numeŋin xoni (彼は) 家へ行った [1-054-25].

**xonaa-** ⇒ xanaa-.

**xonaaŋ-** 【他動詞】移動させる : tiŋ lebieget jiedugide xontetum, xonaaŋtem (オオシカの主はオオシカを) この土地から別の場所へ運ぶだろう, 移動させるだろう [2-006-09].

**xonoŋo** 願望を表す : pooreme, fill'e paraage xaniduŋoot tetul juödin xonoŋo merujiit ejrool? 春に, 雪の溶ける頃に子鷺になってお前に会いに飛んでゆけたらどんなにか良いだろう? [2-052-20~21].

**xonte-** 【他動詞】運ぶ, 連れて行く : nuubelek numeŋin xontemle (彼女は) 根を家へ運んだ [2-030-15] / kie tebegej, metul taŋide xontek! 友よ, テベゲイよ, 私をそこへ連れて行け! [1-090-03].

▷ **xontes'-, xontos'-** 《反復》 : febis'e nonogele ŋaxal'eŋnude eksilŋin xontes'um (彼は) ノイバラの枝を集めては舟に運んだ [1-104-32~33].

**xonujii-** ⇒ xanaa-.

**xonzeŋ-** ⇒ xonzoŋ-

**xonzo** 【名詞】穴.

**xonzoŋ-**, (xonzeŋ-) 【他動詞】壊す : numepedeejle čumu xonzoŋl'elum (クマは彼女の) 家をすべて壊した [2-046-33].

**xorobo** 【名詞】牛 ; < ко́рова (R).

**xoron'ii-** 【他動詞】守る : čuöte pugus'ege l'ek, ŋoromo tetkele xoron'iigen (お前は) いつも暖かいところにいろ, 人間にお前を守らせろ [1-044-11~12].

**xorpuči-\*** 【自動詞】つまづく : xorpučit n'oŋoj (彼は) つまづいて転んだ [AG030816].

**xorpuŋaj-** 【他動詞】《完了》つまづく : taatl'et murdigejeget xorpuŋajm そして (彼女の) 靴の紐に (彼は) つまづいた [1-054-06~07].

**xot** 【疑問詞】どこから : pulundie, xot keluk? おじいさん, どこから (お前は) 来たのか? [1-068-01].

**xoton** 【名詞】牛小屋.

**xotte-** 【他動詞】詰める, 一杯に入れる : tan pulut numeŋin xondelle, tude lunbugege pukel'elek xottemle その老人は家に行くと, 自分の鍋に雪を一杯に入れた [1-088-13~14].

**xoxooren'\*** 【自動詞】曲がった：xoxoorend'e faal 曲がった木 [AG030825].

**xoxsil'** 【名詞】蹄.

**xoxfof-** 【他動詞】◇ **jovul xoxfof-** いびきをかく：uɲzɪs', jovule xoxfofum (彼は) 眠った, いびきをかいた [2-018-13].

**xozidalbe** 【名詞】脇の下.

**xristos** 【固有名詞】キリスト；<Христос (R).

### 3

**задпоџоо-** 【自動詞】欲張りな；<жадный (R), џоо- 「～である」.

## 接尾辭一覽



## 接尾辞一覧

この接尾辞一覧は、Krejnovič (1982), 遠藤 (1993), Maslova (2003) に基づいて作成した。これらの記述であがっていない形式については、編者の調査で得られた資料から補うようにした。

### 1 名詞

#### 1.1 格

- 主格 -∅
- 焦点格 -lek/-(e)k
- 対格 -gele/-kele
- 具格 -le/-e
- 所格 -ge/-ke
- 奪格 -get/-ket
- 経由格 -gen/-ken
- 与格 -ŋin
- 共格 -n'e

#### 1.2 共同形 (「～とともに」) -n'it/-n'ut

#### 1.3 転換形 (「～に (なる・する), ～として」) -ŋoot/-ŋoon

#### 1.4 所有者 (3人称) -gi/-ki (主格), -de/-te (主格以外)

\* 対格の -gele は所有者の接辞についた場合, -jle (-de-jle/-te-jle) となる。

\* 与格の -ŋin は所有者の接辞についた場合, -in (-d-in/-t-in) となる。

#### 1.5 指小 (「小さな～」) -die/-tie

#### 1.6 指大 (「大きな～」) -tege/-tke

#### 1.7 複数 -pe/-p(ul)

#### 1.8 名詞語幹を派生する接尾辞

##### 1.8.1 地域的集団 (「～の人々」) -d'ii

##### 1.8.2 場所 (「～が豊富にある所」) -čaa

##### 1.8.3 家財道具 -raa (-zaa)

##### 1.8.4 場所 (「～するところ」) -be

##### 1.8.5 道具 (「～するためのもの」) -ii

##### 1.8.6 動作の主体・道具 (「～するもの, ～するためのもの」) -l'

## 2 動詞

### 2.1. 定動詞

#### 2.1.1 直說法

##### 2.1.1.1 自動詞

	過去・現在	未来
1 単	-je/-d'e/-če (-s'e)	-teje/-tče
2 単	-jek/-d'ek/-ček (-s'ek)	-tejek/-tček
3 単	-j/-i/-č (-s')	-tej/-ti
1 複	-jiili/-jli/-d'iili/-čiili (-siili)	-tiili/-tčiili
2 複	-jemet/-jmet/-d'emet/-čemet (-s'emet)	-tejmet
3 複	-ŋi	-ŋitej

\* 未来時制 -te/-t

##### 2.1.1.2 自動詞・主語焦点

	過去・現在	未来
3 複以外	-l	-tel/-tul
3 複	-ŋil	-ŋitel

##### 2.1.1.3 他動詞

	過去・現在	未来
1 単	-∅	-t
2 単	-mik (-mek)	-temik/-tmik (-temek/-tmek)
3 単	-m	-tem/-tum
1 複	-j/-i/-č (-s')	-tej/-ti
2 複	-met	-temet
3 複	-ŋam (-ŋaa)	-teŋam (-teŋaa)

##### 2.1.1.4 他動詞・目的語焦点

	過去・現在	未来
1 単	-me	-teme/-tme
2 単	-me	-teme/-tme
3 単	-mele/-mle	-temle
1 複	-l	-tel/-tul
2 複	-met	-temet
3 複	-ŋile	-ŋitemle

### 2.1.2 否定法

3人称単数で-∅。その他の人称は直説法の自動詞の人称接辞と同じ。否定の前倚辞 el とともに用いられる。

### 2.1.3 疑問法

	過去・現在	未来
1 単	-m	-tem
2 単	-k	?
3 単	-∅	-t
1 複	-ook	-took
2 複	-met	-temet
3 複	-ŋi	-ŋit

\* 疑問詞とともに用いられるが、疑問詞を含む文で動詞が直説法の人称接辞をとる例も多い。また、自動詞文で焦点格の疑問詞が主語となる場合（「誰が、何が」という疑問文）、述語動詞は主語焦点の人称接辞をとる。他動詞文で焦点格の疑問詞が目的語となる場合（「誰を、何を」という疑問文）、動詞は目的語焦点の人称接辞をとる。

### 2.1.4 命令法

1 単	—
2 単	-k
3 単	-gen
1 複	-ge
2 複	-ŋik
3 複	-ŋigen

\* 他にも2人称単数に-gek, 2人称複数に-ŋigek という形式があり、動作がより後に行われることを表す。

### 2.1.5 禁止法

1 単	—
2 単	-lek
3 単	-gen
1 複	-ge
2 複	-ŋilek
3 複	-ŋigen

\* 否定の前倚辞 el とともに用いられる。

### 2.2 目的分詞（「～するために」） -din/-tin

## 2.3 副動詞

### 2.3.1 主節の述語動詞と同一主語の形式

「～して、～しながら、～するために」 -t

「～して」 -delle/-telle/-lle

「～しながら」 -de/-te

「～すれば」(仮定) -ŋide

「～するが」(対比) -n'it

### 2.3.2 主節の述語動詞と異主語の形式

「～するとき、～すると」

1, 2 人称 -luge/-lge/-luke

3 人称単数 -dege/-tege

3 人称複数 -ŋidege

「～すれば」(仮定)

1, 2 人称 -lugene/-lgene/-lukene

3 人称単数 -dejne/-deŋne

3 人称複数 -ŋidejne/-ŋideŋne

## 2.4 形動詞 -j(e)/-d'e/-če (-s'e)

## 2.5 動名詞 -i

## 2.6 結果名詞 (「～した結果生じたもの・こと」) -ool

## 2.7 動作の主体 (「～するもの」) -joon/-d'oon/-čoon

## 2.8 法

不確実法 (「～したようだ」) -l'el

\*-l'el の後ろで、直説法・自動詞 3 人称単数の人称接辞は -∅ となる。

願望法 (「～したい」) -ool'

推測法 (「～にちがいない、～しなければならない」) -mozii

必然法 (「～にちがいない、～しなければならない」) -biebii

## 2.7 アスペクト

不完了相 (継続, 反復, 習慣) -nu

習慣相 -nun/-nunnu

始動相 -aa/-ie

状態相 -oo (他動詞語幹に後続した場合には自動詞を派生し、もとの目的語が派生された自動詞の主語となる)

## 2.8 ヴォイス

使役態 -j, -j-čil'e/-j-čil'e



受動態 -oo

## 2.9 動詞語幹を派生する接尾辞

### 2.9.1 出名動詞

自動詞 (「～を持っている」) -n'e/-n'

自動詞 (「～を得る」) -de/-te/-d/-t

他動詞 (「～を与える」) -te/-ʃ

### 2.9.2 その他 (非生産的な接尾辞)

#### 2.9.2.1 -be 変化

eruulbe-「悪くなる」(eruu-「悪い」)

#### 2.9.2.2 -boo 状態

ijiboo-「臆病な」(ijii-「～を恐れる」)

#### 2.9.2.3 -č (-s') 反復

ultes'-「～を縛る」(ulte-「～を縛る」)

#### 2.9.2.4 -či/-čii (-s'i/-s'ii) 反復 (他動詞語幹を派生することもある)

amči-「死にかけている」(amde-「死ぬ」)

ikči-~iks'i-「～を捕える」(igie-「(畏に)かかる」, iide-「～を捕える」)

#### 2.9.2.5 -de 他動詞語幹・自動詞語幹を派生

iide-「～を捕える」(igie-「(畏に)かかる」)

amde-「死ぬ」(amči-「死にかけている」)

pande-「煮る, 食事の支度をする」(pad-「～を煮る」)

#### 2.9.2.6 -du 反復

pajdu-「叩く」(paj-「叩く」)

#### 2.9.2.7 -d' 自動詞語幹を派生

ajled'-「自分の顔, 体を洗う」(ajle-「～を洗う」)

#### 2.9.2.8 -d'e/-d'aa 自動詞語幹を派生

aldud'e-「呪う」(aldu-「～を呪う」)

#### 2.9.2.9 -d'i/-d'ii/-nd'i/-n'dii 反復

jard'i-「泳ぐ」(jara-「泳ぐ」)

egend'i-「あちこち覗く」(egede-「覗く」)

#### 2.9.2.10 -ge/-ra 自動詞語幹を派生

menmege-「跳ねる」(menmend'i-「跳ねる(何回か)」)

joɾaj-「開く(完了)」(joɾno-「開いている」)

#### 2.9.2.11 -gii/-bii 他動詞語幹を派生

kellugii-「おっくうがる」(kelli-「退屈だ」)

- omoluxii-「恥ずかしがる」(omoli-「恥ずかしい」)
- 2.9.2.12 -j 完了  
 jedej-「見える, 現れる」(jed-「見えている」)  
 menmegej-「跳ねる(1回)」(menmege-「跳ねる」)
- 2.9.2.13 -jii 反復  
 tadijii-「～を与える」(tadii-「～を与える」)
- 2.9.2.14 -ie 「～している, ～しておく」(対象のおかれた状態を含意する)  
 imie-「～に乗せている」(ime-「乗る」)  
 morie-「～を着ている」(moro-「～を着る」)
- 2.9.2.15 -ii 他動詞語幹を派生  
 čitnii-「伸ばす」(čitne-「長い」)
- 2.9.2.16 -kie/-xaa 変化  
 čejluukie-「遠くなる」(čejluu-「遠い」)  
 jowxaa-「痛くなる」
- 2.9.2.17 -l'e 変化  
 kenbel'e-「広くなる」(kenbune-「広い」)
- 2.9.2.18 -mie 状態  
 ledemie-「低い」
- 2.9.2.19 -mu 変化  
 čaamu-「減る」(čaa-「少ない」)
- 2.9.2.20 -ne 状態  
 čitne-「長い」
- 2.9.2.21 -oo 状態  
 čomoo-「大きい」
- 2.9.2.22 -re 他動詞語幹・自動詞語幹を派生  
 fjöjre-「～入れる」(fjög-「入る」)  
 egiere-「～を踏む」(egie-「立つ」)  
 ejre-「歩く」(eguzu-「歩き回る」)
- 2.9.2.23 -rii 他動詞語幹を派生  
 jaxterii-「～を歌う」(jaxte-「歌う」)
- 2.9.2.24 -je 他動詞語幹を派生  
 čeruje-「～を沈める」(čerej-「沈む」)
- 2.9.2.25 -t 他動詞語幹を派生(反復的な動作)  
 piedet-「～を燃やす」(piededej-「～を燃やす(完了)」, piede-「燃える」)

2.9.2.26 -te 他動詞語幹を派生

egete-「～を立てる」(egie-「立つ」)

2.9.2.27 -uj(i)/-uuj(i) 反復

meruji-「飛び回る」(mere-「飛ぶ」)

2.9.2.28 -uu 自動詞語幹を派生

ejuu-「命中する」(ejte-「当てる」)

2.9.2.29 -ze 自動詞語幹を派生

čineze-「割る」(čine-「～を割る」)

jubeze-「走る」(jubend'i-「走り回る」)

2.9.2.30 -ze/-zii 他動詞語幹を派生

enze-「～を育てる」(ed'-「生きている, 暮らす」)

alboozii-「～を負かす」(alboo-「負ける」)

2.9.2.31 -zii 反復

pejzii-「投げる」(pejfej-「投げる」)

2.9.2.32 -zu 反復

jiezu-「流れる, 揺れる」(jiere-「流れる」)

### 3 代名詞

#### 3.1 格

	1 単	2 単	3 単	1 複	2 複	3 複
主格	met	tet	tudel	mit	tit	tittel
焦点格	metek	tetek	—	mitek	titek	—
対格	metkele	tetkele	tudegele	mitkele	titkele	tittegele
	metul	tetul	—	mitul	titul	—
所格	metke	tetke	tudege	mitke	titke	tittege
奪格	metket	tetket	tudeget	mitket	titket	titteget
經由格	metken	tetken	tudegen	mitken	titken	tittegen
与格	metin	tetin	tudin	mitin	titin	tittin
共格	metn'e	tetn'e	tuden'e	mitn'e	titn'e	titten'e

#### 3.2 修飾形

3 人称単数 (「彼の, 彼女の」) tude

3 人称複数 (「彼らの, 彼女らの」) titte

\* 単数・複数とも、再帰的な意味 (「自分の」) をもつ。

### 3.3 所有物 (「～のもの」) -l'e

## 4 副詞, 指示詞, 後置詞, 疑問詞, 数詞

### 4.1 程度・様態 (副詞を派生する) -n, -č (-s')

čugoon 「素早く, 速く」 (čugoo- 「速い」)

omos' 「良く, 上手く」 (omo- 「良い」)

### 4.2 比較級 (「もう少し～に」, 副詞を派生する) -d'e

čeruud'e 「もう少しゆっくりと, もう少し静かに」 (čeruun 「ゆっくりと, しずかに」)

### 4.3 最上級 (「非常に」, 副詞を派生する) -vote

čomooovote 「非常に」 (čomoon 「とても」)

### 4.4 時間 (副詞を派生する) -me

čied'eme 「冬に」 (čied'e 「冬」)

emilme 「夜中に」 (emil 「夜中」)

### 4.6 場所

#### 4.6.1 起点 (副詞, 指示詞, 後置詞, 疑問詞を派生する) -t

juuket 「遠くから」 (juuke 「遠くで」)

tiit 「ここから」 (tii 「ここで」)

molvot 「～の中から」 (molvo 「～の中で」)

xot 「どこから」

#### 4.6.2 経路 (副詞, 指示詞, 後置詞を派生する) -n

juuken 「遠くを (通って)」 (juuke 「遠くで」)

adaan 「そこを (通って)」 (adaa 「そこで」)

molvon 「～の中を (通って)」 (molvo 「～の中で」)

#### 4.6.3 方向 (副詞, 指示詞, 後置詞, 疑問詞を派生する) -gude/-gide/-vude/-vhide/-vji/-vjin/-in

kiejegude 「前へ」 (kiejie 「～の前で」)

alvude 「下へ」 (aal 「～の下で」)

tajide 「あそこへ」 (taa 「あそこで」)

lanj~lanjin~lanjide 「～の方へ」 (laavet~lanjdet 「～の側で」)

molvin 「～の中へ」 (molvo 「～の中で」)

xajide 「どこへ」

### 4.7 動詞形

#### 4.7.1 様態 (指示詞, 疑問詞を派生する) -mie

taatmie- 「そのような, あのような」

xodimie-「どのような」

\* 2.9.2.18 を参照

4.7.2 基数 (疑問詞, 数詞を派生する) -oo

xamloo-「いくつ」(xamun 「いくつの」)

ataxloo-「2 (である)」(ataxun 「2つの」)

\* 2.9.2.21 を参照

4.7.3 序数 (疑問詞, 数詞を派生する) -lej/-mej/-f+ 所有者接尾辞

xamlejte 「何番目」(xamun 「いくつの」)

jaalmefki~jaalmefte 「3番目」(jaan 「3つの」)

n'aʁan'boofki 「5番目」(n'aʁanboo- 「5 (である)」)

\* 所有者接尾辞については 1.4 を参照

4.7.4 頻度 (疑問詞, 数詞, 副詞を派生する) -lid'e/-mid'e/-id'e

xamlid'e 「何度」(xamun 「いくつの」)

irkid'e 「1度」(irkin 「1つの」)

jaalmid'e 「3度」(jaan 「3つの」)

ningelid'e 「何度も」(ninge- 「多い」)

## 参考文献

- 遠藤史 1993. 『ユカギール語文法概説』 北海道大学文学部言語学研究室
- 1997. 「ユカギール語コリマ方言の非定形動詞について」 宮岡伯人・津曲敏郎 (編) 『環北太平洋の言語』 第3号, pp.93-102. 京都大学大学院文学研究科
- 2001. 「コリマ・ユカギール語における指示転換現象について」 津曲敏郎 (編) 『環北太平洋の言語』 第7号, pp.125-140. 大阪学院大学情報学部
- 2003. 「ユカギール語の現状と問題点」, 崎山理 (編) 『消滅の危機に瀕した言語の研究の現状と課題』 (国立民族学博物館調査報告39), pp.169-180. 国立民族学博物館
- 長崎郁 1997. 「ユカギール語における名詞の複数形接尾辞と音節構造の関係」 『日本語学会第115回大会予稿集』, pp.258-263.
- 2003a. 「コリマ・ユカギール語における動詞価を変更する接尾辞」 中川裕 (編) 『ユーラシア諸言語の動詞論(2)』 (千葉大学社会文化科学研究科研究プロジェクト報告書第82集), pp.10-27. 千葉大学大学院社会文化科学研究科
- 2003b. 「コリマ・ユカギール語の S=A タイプの自他対応について」 津曲敏郎 (編) 『環北太平洋の言語』 第10号, pp.33-44. 大阪学院大学情報学部
- Angere, Johannes 1957. *Jukagirisch-deutsches Wörterbuch*. Stockholm: Almqvist&Wiksell.
- Endo, Fubito 1997a. Does Yukaghir Really Have Prefixes? *Keizai Riron* (Wakayama Economic Review) 276, pp.138-149. Wakayama(Japan): The Economic Society of Wakayama University.
- 1997b. Basic Vocabulary of Kolyma Yukaghir, Osahito Miyaoka and Minoru Oshima (eds.), *Languages of the North Pacific Rim*, Volume 2, pp.147-161. Kyoto: Graduate School of Letters, Kyoto University.
- 2001. Additional Basic Vocabulary of Kolyma Yukaghir, Osahito Miyaoka and Fubito Endo (eds.), *Languages of the North Pacific Rim*, Volume 6, ELPR Publications Series A2-001, pp.9-27. Suita(Japan): Faculty of Informatics, Osaka Gakuin University.
- Jochelson, Waldemar. 1905. Essay on the Grammer of the Yukaghir Language, *American Anthropologist* new series 7(2). pp.369-424.
- 1926. *The Yukaghir and the Yukaghirized Tungus*, The Jesup North Pacific Expedition vol.9, Memoirs of the American Museum of Natural History. Leiden: E.J. Brill.
- Krejnovich, E.A. 1958. *Jukagirskij jazyk*. Moskva-Leningrad: Nauka.
- 1979. *Jukagirskij jazyk. Jazyki Azii i Afriki* III, pp.348-382. Moskva: Nauka.
- 1982. *Issledovanija i materialy po jukagirskommu jazyku*. Leningrad: Nauka.

- Kurilov, G.N. 1987. *Pravila orfografii jukagirskogo jazyka*. Yakutsk.
- 2001. *Jukagirsko-russkij slovar'*. Novosibirsk: Nauka.
- Kurilova, L.V. 2001. *Russko-jukagirskij slovar'*. Moskva: Institut natsional'nykh problem obrazovanija.
- Maslova, Elena (ed.) 2001. *Yukaghir Texts*. Tunguso-Sibirica 7. Wiesbaden: Harrassowitz Verlag.
- 2003. *A Grammar of Kolyma Yukaghir*. Berlin-New York: Mouton de Gruyter.
- Nikolaeva, I.A. (ed.) 1989. *Fol'klor jukagirov Verkhnej Kolymy*: Khrestomatija 1-2. Yakutsk.
- Nikolaeva, I.A and V.G. Shalugin 2002. *Slovar' jukagirsko-russkij i russko-jukagirskij (verkhnekolymskij dialekt), Uchebnoe posobie dlja uchashchikhsja nachal'noj shkoly*. Sankt-Peterburg: Drofa.
- Schiefner, Anton 1871. Beiträge zur Kenntniss der jukagirischen Sprache, *Mélanges Asiatiques* 6, pp.409-446. St. Petersburg.
- Spiridonov, V.K. and I.A. Nikolaeva 1993. *Bukvar' dlja 1 klassa jukagirskikh shkol (verkhnekolymskij dialekt)*. Sankt-Peterburg: Prosveshchenie.
- Vakhtin, Nikolai 1992. The Yukagir Language in Sociolinguistic Perspective, Jerzy Bańcerowski et al. (ed.), *Linguistic and Oriental Studies from Poznań*, Volume 1, pp.49-82. Poznań: Adam Mickiewicz University.





コリマ・ユカギール語例文付き語彙集  
(「環太平洋の言語」 成果報告書A2-044)

**Kolyma Yukaghir Vocabulary with Illustrative Sentences  
(ELPR Publications Series A2-044)**

発行日 平成16年 3月 25日  
刊行責任者 大阪学院大学情報学部  
文部科学省科学研究費補助金「特定領域研究『環太平洋の  
「消滅に瀕した言語」にかんする緊急調査研究』」  
領域代表 宮岡伯人  
総括班代表 崎山 理・遠藤 史 (編集担当)  
〒564-8511 大阪府吹田市岸部南2丁目36-1  
TEL: 06-6381-8434 (代表) (内線5058)  
編集 長崎 郁 (千葉大学大学院)  
遠藤 史 (和歌山大学)  
印刷 中西印刷株式会社  
〒602-8048 京都府京都市上京区下立売通小川東入  
TEL: 075-441-3155 (代表)

Published: March, 2004

Project Director: MIYAOKA, Osahito

Editorial Board: SAKIYAMA, Osamu, and ENDO, Fubito (Assistant)

Grant-in-Aid for Scientific Research on Priority Areas  
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology  
Endangered Languages of the Pacific Rim  
Faculty of Informatics, Osaka Gakuin University,  
2-36-1 Kishibe Minami, Suita, Osaka 564-8511, JAPAN  
TEL: +81-6-6381-8434 (extension: 5058)  
E-mail: elpr@utc.osaka-gu.ac.jp

Editors: NAGASAKI, Iku (Graduate School, Chiba University)

ENDO, Fubito (Wakayama University)

Printed by Nakanishi Printing Co., Ltd.

Shimotachiuri Ogawa Higashi, Kamikyoku, Kyoto 602-8048, JAPAN  
TEL: +81-75-441-3155

ISBN 4-86159-117-1

ISSN 1346-082X

Copyright is jointly held by all the authors.